

わが町の非核・平和のデータガイドブック(被爆60年版)

| | | | | | | |
|----------------------|--|--|---------------------------------------|--------------------------------|------------|--------------|
| 自治体概要 | 自治体名 | 大阪府 | 役所所在地 | 大阪市中央区大手前2 | | |
| | 人口 | 8,839,699 | 最寄駅 | 地下鉄「谷町四丁目」「天満橋」、京阪「天満橋」 | | |
| | 担当課 | 人権室 | 電話 | 06-6944-6639 | FAX | 06-6944-6616 |
| 【1】非核平和都市宣言 | 宣言主体 | 宣言年月 | 宣言名 | | | |
| | 市町村 | | | | | |
| | 議会 | 昭63.3.17 | 「国際平和都市・大阪」宣言 | | | |
| 【2】被爆者援護関係 | 被爆者人数 | 8437 | 被爆者援護施策 | 「原子爆弾被害者に対する援護に関する法律」に基づく施策の実施 | | |
| | 認定被爆者 | 109 | | | | |
| | 被爆者団体 | (財)大阪府原爆被害者団体協議会 | | ※未受給者 859人 | | |
| 【3】非核・平和に関する決議・意見書採択 | 採択主体 | 採択年月日 | 採択決議・意見書 | | | |
| | 大阪府議会 | 平10.12.18 | ロシア、アメリカの未臨界核実験に抗議し、全ての核実験の即時停止を求める決議 | | | |
| | 大阪府議会 | 平15.2.19 | イラク問題の平和的解決を求める決議 | | | |
| | 大阪府など | 平7.8.15 | 大阪平和アピール～世界へ 世代へつなぐ平和の祈り・平和の誓い～ | | | |
| 【4】非核・平和施策 | 非核都市宣言自治体連絡協議会 | | 加盟 | | 未加盟 | |
| | 非核平和市民啓蒙・広報施策 | 非核平和関連資料館(常設) | 名称 | 大阪国際平和センター(ピースおおさか) | | |
| | | | 所在地 | 大阪市中央区大阪城2番1号 | | |
| | | 非核平和視聴覚教材・図書 | | | | |
| | | 貸出料金 | 無料 | 貸出機関 | 大阪国際平和センター | |
| | | | | 貸出機関 | | |
| | 【視聴覚教材・図書】 映像コーナー・図書室を設置(ピースおおさか事業) 平和学習用フィルム・ビデオ・紙芝居・パネルの貸し出し(ピースおおさかHP参照) | | | | | |
| | 【広報施策】 HP: http://www.pref.osaka.jp/ ピースおおさかHP: http://mic.e-osaka.ne.jp/peace/ | | | | | |
| | 非核平和施策 | 【取組み・行事】 常設展示・企画展示・講演会の開催等(ピースおおさか事業) | | | | |
| 【5】国際友好施策 | 友好・姉妹都市 | 上海市(中国)、江蘇省(中国)、東ジャワ州(インドネシア)、ヴァルドワーズ県(フランス)、沿海地方(ロシア)、クイーンズランド州(オーストラリア)、カリフォルニア州(アメリカ)、ロンバルディア州(イタリア)、ドバイ市(アラブ首長国連邦) | | | | |
| | 友好・連帯取組み | | | | | |
| 【6】市民団体の非核平和の取組み | | | | | | |

※未受給者＝認定被爆者支給の医療特別手当や未認定者の健康管理手当などの支給のない被爆者、

「国際平和都市・大阪」宣言に関する決議

恒久平和の実現は、地球上のすべての人々の悲願である。しかるに人々の平和な生活は、絶えざる紛争、飢餓、災害や核兵器の存在によって脅かされている。

米ソ間において I N F 全廃条約が調印され、核軍縮への歴史的な第一歩がしるされた今、世界で唯一の核被爆国であり非核三原則を国是とする国民として、核兵器の廃絶と地球社会の平和と安全の実現を心から念願するものである。

世界に開かれた国際都市として発展を目指す大阪府は、世界の人々との相互理解と友好の一層の促進を図り、世界平和の達成と人類社会全体の繁栄に積極的に貢献していくものである。

よって大阪府議会は、核兵器の廃絶と世界の恒久平和を願い、ここに「国際平和都市・大阪」を宣言する。
以上、決議する。

1988年3月17日 大阪府議会

大阪国際空港の軍事使用、軍用機の離着陸禁止ならびに 軍事施設撤去に関する要望決議

最近大阪国際空港においては、自衛隊をはじめ、アメリカのベトナム侵略戦争に関連して、アメリカの軍用戦闘機 F9 や、核弾頭付きのホーミング魚雷が積載できるロッキード P3V「オライオン」等軍用機の発着と修理など、軍事使用が強まっていることは誠に寒心に耐えない。

これは、民間空港としての大阪国際空港の使用目的に反し、しかも民間航空機の離着陸が増加しつつある今日、その運航の安全性および騒音公害などを考えるとき、大阪府民の生命と財産は日夜危険にさらされていると言つても過言ではない。

とくに6月2日夜、福岡市においては、九州大学構内にアメリカ空軍機が墜落し、市民に多大の恐怖と損害を与えたことからみても、大阪国際空港におけるアメリカ軍用機の発着、軍事使用の問題は、大阪府民に深刻な不安を与えている。

よって政府は、大阪府民の安全と生活を守るために大阪国際空港の軍事使用、軍用機の離着陸を直ちに禁止し、軍事施設を撤去する措置を講じられるよう強く要望する。
以上決議する。

昭和43年6月9日 大阪府議会



▲大阪府・大阪市「1945年の母子像」
大阪国際平和センター前



▲大阪戦後50周年記念事業実行委員会
「戦後50周年記念タイムカプセル」
大阪国際平和センター前

わが町の非核・平和のデータガイドブック(被爆60年版)

| | | | | | | |
|--|--|---|-------------------|----------------|---------------------|--------------|
| 自治体概要 | 自治体名 | 大阪市 | 役所所在地 | 大阪市北区中之島1-3-20 | | |
| | 人口 | 2,639,725 | 最寄駅 | 地下鉄・京阪「淀屋橋」 | | |
| | 担当課 | 総務局総務課 | 電話 | 06-6208-7412 | FAX | 06-6229-1260 |
| 【1】非核平和都市宣言 | 宣言主体 | 宣言年月 | 宣言名 | | | |
| | 市町村 | 平7.12.27 | 平和都市宣言 | | | |
| | 議会 | 平7.10.19 | 平和都市宣言 | | | |
| 【2】被爆者援護関係 | 被爆者人数 | 2695 | 被爆者 | 援護施策 | ※未受給者 246人 | |
| | 認定被爆者 | 53 | | | | |
| | 被爆者団体 | | | | | |
| 【3】非核・平和に関する決議・意見書採択 | 採択主体 | 採択年月日 | 採択決議・意見書 | | | |
| | 議会 | 2003年2月20日 | イラク問題の平和的解決を求める決議 | | | |
| | | | | | | |
| 【4】非核・平和施策 | 非核都市宣言自治体連絡協議会 | | | 未加盟 | | |
| | 非核平和市民啓蒙・広報施策 | 非核平和関連資料館(常設) | | 名称 | 大阪国際平和センター(ピースおおさか) | |
| | | | | 所在地 | 大阪市中央区大阪城2番1号 | |
| | | 非核平和視聴覚教材・図書 | | | | |
| | | 貸出料金 | 無料 | | 貸出機関 | 大阪国際平和センター |
| | | | | 貸出機関 | | |
| 【視聴覚教材・図書】 映像コーナー・図書室を設置(ピースおおさか事業) 平和学習用フィルム・ビデオ・紙芝居・パネルの貸し出し(ピースおおさかHP参照) | | | | | | |
| 【広報施策】 HP: http://www.city.osaka.jp/ ピースおおさかHP: http://mic.e-osaka.ne.jp/peace/ | | | | | | |
| 非核平和施策 | 【取組み・行事】 常設展示・企画展示・講演会の開催等(ピースおおさか事業) | | | | | |
| 【5】国際友好施策 | 友好・姉妹都市 | サンフランシスコ(アメリカ)、サンパウロ(ブラジル)、シカゴ(アメリカ)、メルボルン(オーストラリア)、サンクトペテルスブルグ(ロシア)、ミラノ(イタリア)、ハンブルグ(ドイツ) | | | | |
| | 友好・連帯取組み | スポーツ・学術・文化・経済など様々な分野において、多数の市民の参加のもとに都市交流を推進している。 | | | | |
| 【6】市民団体の非核平和の取組み | 平和や国際交流に関する活動をしているNPO法人の取組み多数。 | | | | | |

※未受給者＝認定被爆者支給の医療特別手当や未認定者の健康管理手当などの支給のない被爆者 *1 平成17年8月1日現在

大阪市／平和都市宣言

1995年12月27日、大阪市長

世界の恒久平和は、人類共通の願いである。

人類にとって初めての原子爆弾が、広島・長崎に投下されて50年がたち、東西の冷戦が終結したにもかかわらず、地域紛争や核実験の実施など平和を脅かす問題が今なお存在している。

世界の平和は、すべての人の人権を尊重するとともに、国籍・民族・宗教・歴史・文化等の違いを認め合い、多彩な交流と友好のきずなを結ぶ中で築いていくものである。

戦後50年にあたり、大阪市は、日本国憲法の基本理念である恒久平和と国是である非核三原則を踏まえ、核兵器の速やかな廃絶を強く訴える国際社会の平和と発展に貢献することを誓い、ここに『平和都市』を宣言する」

大阪市 平和都市宣言

1995年10月19日議決

世界の恒久平和は、人類共通の願いである。広島・長崎に原子爆弾が投下されて50年という大きな節目に、このような悲劇を再び繰り返してはならないという決意の下、本市員においても、「世界平和を求める決議」、「大阪港の平和利用に関する決議」、「核実験に反対する決議」等幾度となく平和に関する議決を行い、あらゆる国の核兵器の廃絶と真の恒久平和の確立を願うなど、平和への祈願を内外に表明しているところである。

しかしながら、フランス及び中国の核実験再開は、平和を願う多くの人々の気持ちをも打ち砕くものであり、こうした核実験の強行に対して、我が国のみならず世界中から強い批判と抗議が巻き起こっている。

よって本市会は、戦後50年の節目の年にあたり、大阪市が、平和と民主主義を希求した日本国憲法を遵守し、あらゆる国の核兵器の廃絶を求め、真の恒久平和をめざした平和都市であることを宣言する。

大阪港の平和利用に関する決議

大阪港は、さきの大戦により潰滅的な打撃を受け、大阪市民の力と熱意により平和な商港として復興に力を注ぎ、今日では我が国有数の国際貿易港となっている。

こうした歴史的経過もあり、大阪市民は港の平和利用を強く念願しているものである。しかるに10月21日、米艦クロムリンが入港した。

我が国の核兵器に対する基本姿勢は、「作らず」「持たず」「持たせず」という非核三原則を国是としており、本市会においても、「大阪市世界連邦平和都市宣言」や核兵器を大阪湾、大阪港はもとより日本国土に持ち込むことを一切拒否するように政府に強く要望した「すべての国の核兵器持込みに反対する決議」等幾度となく平和に関する議決を行っており、平和への祈願が内外に表明されているところである。

よって本市会は、平和都市宣言及びこれらの市会での決議等の趣旨を踏まえ、大阪港が核兵器持ち込みを拒否する世界に開かれた平和な貿易港として運営されるよう強く要望するものである。

以上、決議する。

平成6年11月9日 大阪市長

わが町の非核・平和のデータガイドブック(被爆60年版)

| | | | | | | |
|---|--|---|-------------------|------------------|---------------------------|--------------|
| 自治体概要 | 自治体名 | 堺市 | 役所所在地 | 堺市堺区瓦町3-1 | | |
| | 人口 | 830,127 | 最寄駅 | 南海高野線「堺東」 | | |
| | 担当課 | 人権推進課 | 電話 | 072-228-7420 | FAX | 072-228-8070 |
| 【1】非核平和都市宣言 | 宣言主体 | 宣言年月 | 宣言名 | | | |
| | 市町村 | | | | | |
| | 議会 | 昭58.3.25 | 非核平和都市宣言に関する決議 | | | |
| 【2】被爆者援護関係 | 被爆者人数 | 771 | 被爆者援護施策 | ※未受給者 77人 | | |
| | 認定被爆者 | 6 | | | | |
| | 被爆者団体 | | | | | |
| 【3】非核・平和に関する決議・意見書採択 | 採択主体 | 採択年月日 | 採択決議・意見書 | | | |
| | 市議会 | 平15.3.25 | 平和の意見書 | | | |
| | 市長 | 平16.5.27 | アメリカ合衆国臨界前核実験中止要請 | | | |
| | 市長 | 平16.8.13 | ロシア連邦臨界前核実験中止要請 | | | |
| 【4】非核・平和施策 | 非核都市宣言自治体連絡協議会 | | | 加盟 | | |
| | 非核平和市民啓蒙・広報施策 | 非核平和関連資料館(常設) | | 名称 | 堺市立平和と人権資料館(フェニックスミュージアム) | |
| | | | | 所在地 | 堺市中区深井清水町1426堺市教育文化センター | |
| | | 非核平和視聴覚教材・図書 | | | | |
| | | 貸出料金 | 有料 | 貸出機関 | | |
| | | | 無料 | 貸出機関 堺市立平和と人権資料館 | | |
| | 【視聴覚教材・図書】 | | | | | |
| | 【貸出し】 パネル6セット 16ミリ映画3巻 スライド1セット ビデオ25本 | | | | | |
| | 【館内視聴のみ閲覧】 ビデオ 391本 図書 3058冊 | | | | | |
| | 【広報施策】 HP: http://www.city.sakai.osaka.jp/ HP上の「市政情報」に「国際交流」項あり * 平和と人権資料館報「フェニックスだより」発行 * 懸垂幕掲示 * 啓発塔の設置 | | | | | |
| 【取組み・行事】 | | | | | | |
| * 平和行進への対応 | | | | | | |
| * 核実験抗議 | | | | | | |
| * 「平和と人権展」8月 パネル展示、平和紙芝居、特別展示・漫画家「私の八月十五日展」 | | | | | | |
| * 「平和と人権資料館企画展」4月～7月 「イマジン」反戦マンガ展 | | | | | | |
| 8月～10月 「知っていますか？地雷って」 | | | | | | |
| * 「平和と人権資料館常設展示リニューアル」 | | | | | | |
| 【5】国際友好施策 | 友好・姉妹都市 | パークレー市(アメリカ)・ウエリントン市(ニュージーランド)・連雲港市(中国) | | | | |
| | 友好・連帯取組み | | | | | |
| 【6】市民団体の非核平和の取組み | | | | | | |

※未受給者＝認定被爆者支給の医療特別手当や未認定者の健康管理手当などの支給のない被爆者、

堺市 非核平和都市宣言に関する決議

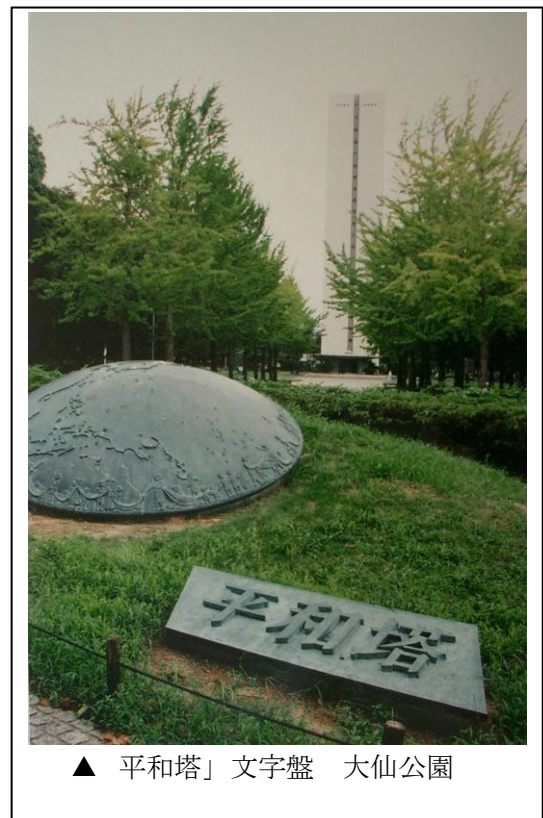
いま、世界は核保有国のはてしない核軍拡競争の中で、人類の生存そのものが脅かされている。

私たちは世界ではじめて原爆の洗礼をうけた国民として再び「広島」・「長崎」の惨禍を繰り返させてはならない責任を負っている。本市もかつての戦争で空襲による大被害をうけ焦土と化した。もし今日、戦争が起これば一瞬のうちに潰滅するであろう。

今こそ、私たちは平和憲法と市民の平和で安全な生活を守るため、世界の人びとと手をつなぎ、核兵器の完全禁止を強く訴え、とともに非核三原則の堅持を政府に約束させ、将来にわたっていかなる核兵器、核関連部隊も本市内及びその周辺に配備、貯蔵を許さず、また通過航行も認めるべきではない。

私たちは平和な社会の実現を願う全市民の声に耳を傾け、全ての核兵器が廃絶されるまで行動することを確認し、ここに本市を「非核平和都市」とすることを宣言する。

1983年3月25日 堺市議会



わが町の非核・平和のデータガイドブック(被爆60年版)

| | | | | | | |
|----------------------|---|--|--------------------------------|---------------------|-----------|--|
| 自治体概要 | 自治体名 | 岸和田市 | 役所所在地 | 岸和田市岸城町7-1 | | |
| | 人口 | 204,815 | 最寄駅 | 南海本線「岸和田」 | | |
| | 担当課 | | 電話 | 0724-23-2121 | FAX | |
| 【1】非核平和都市宣言 | 宣言主体 | 宣言年月 | 宣言名 | | | |
| | 市町村議会 | 1983年3月1日 | 核兵器廃絶・平和都市宣言 | | | |
| | 議会 | | | | | |
| 【2】被爆者援護関係 | 被爆者人数 | 150 | 被爆者援護施策 | 原爆被害者見舞金・原爆被害者の会助成金 | | |
| | 認定被爆者 | 4 | | 原爆被害者特別検診交通費 | | |
| | 被爆者団体 | 岸和田原爆被害者の会(はづき会) | | | ※未受給者 19人 | |
| 【3】非核・平和に関する決議・意見書採択 | 採択主体 | 採択年月日 | 採択決議・意見書 | | | |
| | 市議会 | H.7. 9. 5 | フランス核実験再開に反対し、中国の核実験への抗議を求める決議 | | | |
| | 市議会 | 平7. 12. 12 | フランスの核実験に抗議し、今後一切の核実験中止を求める決議 | | | |
| | 市議会 | 平8. 6. 19 | 中国の核実験に抗議し、核実験全面禁止条約締結を求める意見書 | | | |
| 【4】非核・平和施策 | 非核都市宣言自治体連絡協議会 | | | 加盟 | | |
| | 非核平和市民啓蒙・広報施策 | 非核平和関連資料館(常設) | | 名称 | | |
| | | | | 所在地 | | |
| | | 非核平和視聴覚教材・図書 | | | | |
| | | 貸出料金 | 有料 | 貸出機関 | | |
| | | | 無料 | 貸出機関 岸和田市市民生活部自治振興課 | | |
| | | 【視聴覚教材・図書】 | | | | |
| | | * 平和に関するビデオ・DVD無料貸出 | | | | |
| | | * 戦時中の現物資料無料貸出 | | | | |
| | | 【広報施策】 HP: http://www.city.kishiwada.osaka.jp/ | | | | |
| | HP上の「こんな街きしわだ」に「市民憲章・各種宣言」項あり | | | | | |
| | * 市HP公開 * 市内小学校にチラシ配付 | | | | | |
| | * 「平和はみんなのねがい」(平和啓発冊子)年一回発行 | | | | | |
| | 非核平和施策 | 【取組み・行事】 | | | | |
| | | * 巡回平和資料展(市民センター2階ロビー延べ6日間) | | | | |
| | | * 被爆地ヒロシマへの平和バス(市民派遣事業) | | | | |
| | * 平和パネル展(庁内で4日間) | | | | | |
| | * 第18回非核平和資料展(7月27日~31日 市立自泉会館 ビデオ上映会など。) | | | | | |
| | 被爆60周年のテーマのもと市内の被爆者を招き、体験講話を実施。 | | | | | |
| | 7月29日映画会「夏服の少女たち」「十六地蔵物語」「広島のパカ」「二十四の瞳」 | | | | | |
| | 「はだしのゲン」「はだしのゲン2」 | | | | | |
| | 7月30日映画会「おかあちゃんごねんめ」「日本国憲法」「はだしのゲン」など | | | | | |
| | * 第11回「巡回資料展」(8月3日~5日春木センター 7日~9日山直センター) | | | | | |
| 【5】国際友好施策 | 友好・姉妹都市 | 友好都市 汕頭市(中国広東省) <友好・交流関係 上海市楊浦区> 姉妹都市 サウスサンフランシスコ市(米国) ソウル特別市永登浦区(韓国) | | | | |
| | 友好・連帯取組み | 友好都市として文化交流、産業交流、行政交流、泉州マラソン選手受入れ。 姉妹都市として青少年(高校生)相互派遣、泉州マラソン選手受入れ、議員交流、サッカー(小学生)相互派遣など | | | | |
| 【6】市民団体の非核平和の取組み | * 「平和を考える戦争展」実行委員会が毎年7月下旬~8月上旬にかけておこなう市主催の非核平和資料展において非核平和をとりこんでいる | | | | | |

※未受給者＝認定被爆者支給の医療特別手当や未認定者の健康管理手当などの支給のない被爆者、

岸和田市 核兵器廃絶・平和都市宣言

真の恒久平和は、人類共通の念願である。

しかるに、果てしない核軍拡競争は、全世界を破滅の危機に陥れている。

平和なくしては、岸和田市のめざす「人間尊重と環境保全」を基調としたまちづくりも市民の誇りと願いをこめた「市民憲章」も保障されない。


我が国は、世界唯一の被爆国であり、この地球上に再び「広島・長崎」の惨禍を繰り返させてはならない。

よって我々は、非核三原則の法制化並びにあらゆる国の核兵器廃絶と全面軍縮を求め、ここに平和を愛する市民の決意をこめて、我が郷土と岸和田市を、「核兵器廃絶・平和都市」とすることを宣言する。

1983年3月14日 岸和田市



▲ 岸和田市 「時をこえて」
南海本線岸和田駅前

岸和田市 
核兵器廃絶平和宣言都市啓発標柱

第18回 非核平和資料展

第18回「非核平和資料展」 ◆ 春木市民センター
期 間 7月27日(水)～7月31日(日)
 10:00～18:00
 ただし、7月31日(日)は17:00まで
期 間 8月3日(水)～5日(金)
 9:00～17:15

会 場 自泉会館1階展示室及びホール
(映画会・絵巻体験講話の詳細については裏面を参照)

主 催 岸和田市、岸和田市教育委員会
協 力 岸和田「平和を考える戦争展」実行委員会

◆ 山直市民センター
期 間 8月7日(日)～9日(火)

▲ 岸和田市
 「第18回非核平和資料展」チラシ



わが町の非核・平和のデータガイドブック(被爆60年版)

| | | | | | | |
|----------------------|---|--|-------------|---|-----|--------------|
| 自治体概要 | 自治体名 | 豊中市 | 役所所在地 | 豊中市中桜塚3-1-1 | | |
| | 人口 | 388584 | 最寄駅 | 阪急宝塚線「岡町」 | | |
| | 担当課 | 文化芸術国際課 | 電話 | 06-6858-2504 | FAX | 06-6846-6003 |
| 【1】非核平和都市宣言 | 宣言主体 | 宣言年月 | 宣言名 | | | |
| | 市町村議会 | 昭和58.10.15 | 豊中市非核平和都市宣言 | | | |
| | 議会 | | | | | |
| 【2】被爆者援護関係 | 被爆者人数 | 398 | 被爆者援護施策 | 市が豊中市原爆被害者の会に委託し、啓発、相談研修会、巡回相談などの事業を行っている | | |
| | 認定被爆者 | 6 | | | | |
| | 被爆者団体 | 豊中市原爆被害者の会 | | ※未受給者 62人 | | |
| 【3】非核・平和に関する決議・意見書採択 | 採択主体 | 採択年月日 | 採択決議・意見書 | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| 【4】非核・平和施策 | 非核都市宣言自治体連絡協議会 | | | 加盟 | | |
| | 非核平和市民啓蒙・広報施策 | 非核平和関連資料館(常設) | | 名称 | | |
| | | | | 所在地 | | |
| | | 非核平和視聴覚教材・図書 | | | | |
| | | 貸出料金 | 有料 | 貸出機関 | | |
| | | | 無料 | 貸出機関 市内各図書館 | | |
| | 【視聴覚教材・図書】 * 市内各図書館にて、非核平和関係の図書を貸出 | | | | | |
| | 【広報施策】 HP: http://www.city.toyonaka.osaka.jp/toyonaka/index.html * チラシ作成、広報誌への掲載 * 啓発懸垂幕の掲出 | | | | | |
| | 非核平和施策 | 【取組み・行事】 昭和58年から8月を「平和月間」と位置づけ、毎年市内各施設で様々な啓発事業 * 映画「アニメ『風が吹くとき』(7/29千里公民館)(8/21庄内公民館) * 公演「旭堂南北一人語り『ひ・ろ・し・ま』&ミニコンサート(8/27伝統芸能館) * パネル展「大阪に残る戦争の傷あと」(7/20~25)「ヒロシマ・ナガサキ」(7/28~8/2千里公民館) * 原爆パネル展『被爆から60年～原水爆の恐怖』(8/1~4市役所) * 「語り部による被爆体験のお話」(8/8市役所) * 原爆パネル展～原子雲の下よりすべての声は訴える(8/11~16青年の家) * 講演会「原爆詩人峠三吉」(8/6) * メディアから見る戦争・平和・人権(〔講演:矢野宏氏〕8/19豊中人権まちづくりセンター) * 戦争と平和の本(市内各図書館) * 朗読「少年のひろしま」～戦後60年をむかえて(8/6庄内公民館) * 平成17年度戦没者並びに空爆犠牲者追悼式(8/19 市民会館) | | | | |
| | | | | | | |
| 【5】国際友好施策 | 友好・姉妹都市 | 姉妹都市:サンマラオ市(米国カリフォルニア州) | | | | |
| | 友好・連帯取組み | 市内任意団体が中心となって、少年野球チームの交流、高校生英語弁論大会など | | | | |
| 【6】市民団体の非核平和の取組み | * 豊中平和映画祭実行委員会による「豊中平和映画祭」の開催 | | | | | |

※未受給者＝認定被爆者支給の医療特別手当や未認定者の健康管理手当などの支給のない被爆者、

豊中市非核平和都市宣言

真の恒久平和と安全の願いは人類共通のものである。

しかしながら、核軍備競争は依然として続き、今や人類は自らを破滅させる危機に直面している。

我が国は世界で唯一の被爆国として、平和を望む全世界の人びととともに、人類の安全と生存のため、核兵器廃絶に向けて積極的な役割を果たさなければならない。

豊中市は日本国憲法にうたわれている平和の理念を基調に、非核三原則の厳守を求め、核兵器廃絶を訴え、平和と安全のために貢献する決意と共に、市内での核兵器の生産、貯蔵、配備はもちろん、その通過を許さないことを表明し、ここに非核平和都市となることを宣言する。

1983年10月15日 豊中市



▲ 豊中市 「平和の呼び笛」
阪急曽根駅前



▲ 豊中市 「三つの願い」
阪急庄内駅前



☞ 豊中市 「峠三吉詩碑」
岡町図書館前

わが町の非核・平和のデータガイドブック(被爆60年版)

| | | | | | |
|---|----------------|--|----------|-------------------------------|--|
| 自治体概要 | 自治体名 | 池田市 | 役所所在地 | 池田市城南1-1-1 | |
| | 人口 | 100,581 | 最寄駅 | 阪急電鉄「池田」駅 | |
| | 担当課 | 危機管理課 | 電話 | 072-754-6263 FAX 072-752-1495 | |
| 【1】非核平和都市宣言 | 宣言主体 | 宣言年月 | 宣言名 | | |
| | 市町村 | | | | |
| | 議会 | 1985年3月28日 | 非核平和都市宣言 | | |
| 【2】被爆者援護関係 | 被爆者人数 | 95 | 被爆者援護施策 | 原爆被害者保健手当 | |
| | 認定被爆者 | 4 | | 水道料金減免(上下水道) | |
| | 被爆者団体 | 池田市原爆被害者の会 | | ※未受給者 14人 | |
| 【3】非核・平和に関する決議・意見書採択 | 採択主体 | 採択年月日 | 採択決議・意見書 | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 【4】非核・平和施策 | 非核都市宣言自治体連絡協議会 | | | 未加盟 | |
| | 非核平和市民啓蒙・広報施策 | 非核平和関連資料館(常設) | | 名称 | |
| | | | | 所在地 | |
| | | 非核平和視聴覚教材・図書 | | | |
| | | 貸出料金 | 有料 | 貸出機関 | |
| | | | 無料 | 貸出機関 | |
| | | 【視聴覚教材・図書】 | | | |
| 【広報施策】 HP: http://www.city.ikeda.osaka.jp/ HP上の「くらしの窓口」に「国際交流・スポーツ」項あり * 平和パネル設置(池田市立図書館、歴史民族資料館) | | | | | |
| 非核平和施策 | 【取組み・行事】 | | | | |
| | * 平和行進団体へメッセージ | | | | |
| 【5】国際友好施策 | 友好・姉妹都市 | 友好都市 蘇州市(中国) 姉妹都市 ローゼンストン市(オーストラリア) | | | |
| | 友好・連帯取組み | * 市長相互訪問・市民相互訪問、青少年相互派遣 | | | |
| 【6】市民団体の非核平和の取組み | | | | | |

※未受給者＝認定被爆者支給の医療特別手当や未認定者の健康管理手当などの支給のない被爆者、

池田市 非核平和都市宣言に関する決議

世界の恒久平和は、人類共通の願いである。

しかるに、近年世界において核軍備競争は依然として続けられ、世界平和、人類生存に深刻な脅威を与えている。

わが国は、世界唯一の被爆国として、ふたたび広島・長崎のあの惨禍を繰り返させてはならず、被害の実相を世界に向けて訴え、核兵器廃絶に積極的な役割を果たさなければならない。

よって、池田市は、被爆40周年を機に平和を愛する市民の総意のもと、平和憲法の理念を基調に世界のすべての国が、「持たず、作らず、持ち込ませず」の非核三原則を厳守し、地球上から核兵器の廃絶を強く願い、ここに非核平和都市であることを宣言する。

以上、決議する。

1985年3月28日 池田市議会



▲池田市 「池田市民の願い核兵器のない世界」 市役所前・池田駅前



▲ 池田市 十二神社境内防空壕跡
豊島1丁目



△ 池田市 HP より掲載

わが町の非核・平和のデータガイドブック(被爆60年版)

| | | | | | | |
|---------------------------------------|---|-----------------------------------|----------|--|------------------|--------------|
| 自治体概要 | 自治体名 | 吹田市 | 役所所在地 | 吹田市泉町1-3-40 | | |
| | 人口 | 351,168 | 最寄駅 | 阪急電鉄「吹田」駅 | | |
| | 担当課 | 人権平和室 | 電話 | 06-6384-1231 | FAX | 06-6368-7345 |
| 【1】非核平和都市宣言 | 宣言主体 | 宣言年月 | 宣言名 | | | |
| | 市町村議会 | 昭58年8月1日 | 非核平和都市宣言 | | | |
| | 議会 | | | | | |
| 【2】被爆者援護関係 | 被爆者人数 | 382 | 被爆者援護施策 | ①原子爆弾被害者相談活動への援助 ②原爆被爆者支援活動補助金 ③原子爆弾被爆者に対する療養旅費補助金 ④原爆被爆者二世健康管理手帳の交付、二世健康調査 ⑤被爆者二世に対する医療費助成 ※未受給者54人 | | |
| | 認定被爆者 | 1 | | | | |
| | 被爆者団体 | 吹田閃会 | | | | |
| 【3】非核・平和に関する決議・意見書採択 | 採択主体 | 採択年月日 | 採択決議・意見書 | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| 【4】非核・平和施策 | 非核都市宣言自治体連絡協議会 | | | 加盟 | | |
| | 非核平和市民啓蒙・広報施策 | 非核平和関連資料館(常設) | | 名称 | 平和祈念資料室 | |
| | | | | 所在地 | 吹田市出口町4-1 市民会館6階 | |
| | | 非核平和視聴覚教材・図書 | | | | |
| | | 貸出料金 | 有料 | 貸出機関 | | |
| | | | 無料 | 貸出機関 平和祈念資料室 | | |
| | 【視聴覚教材・図書】 | | | | | |
| | * 図書[大人の本2588冊 こどもの本329冊] | | | | | |
| | * ビデオ[アニメ16本 平和啓発運動関係31本 劇映画6本] | | | | | |
| | 【広報施策】 HP: http://www.city.suita.osaka.jp/ | | | | | |
| * 市報、市封筒へ平和標語の刷込みや市ホームページに逐次、イベントなど広報 | | | | | | |
| 非核平和施策 | 【取組み・行事】 | | | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> * 市民平和のつどい(8/3~9メシアター 非核平和資料展・戦争体験語り芝居) * 平和映画会(毎月第二・第四土曜日・日曜日) * 平和祈念黙祷(8/6・9・15)・「平和のバラ」苗木配付・「平和祈念資料室だより発行」 * 企画展「絵手紙が伝える戦争」 □戦後60周年記念事業「永遠の平和まち人つながりを求めて」シンポ2005 <ul style="list-style-type: none"> * 講演「終戦の原点に戻って、今思うこと」(鳥越俊太郎氏7/23) & シンポジウム □平和講演会「太平洋の墓標をたずねて」(坪本公一氏水中写真家) 「白衣の戦場」(語り部・上田照子氏8/5) □平和の語り部「戦地での体験談」「幼き日の空爆の恐怖」「戦時下の吹田を探る」 「ビルマ・インパール作戦の体験談」「大阪大空襲、学童疎開。食糧難」(9/29) □カウントダウンコンサート(「第9」演奏会市民参加12/31) | | | | | |
| 【5】国際友好施策 | 友好・姉妹都市 | モラトワ市(スリランカ) バンクスタウン市(オーストラリア) | | | | |
| | 友好・連帯取組み | 青少年研修、訪問団受入れなどの交流事業 | | | | |
| 【6】市民団体の非核平和の取組み | | | | | | |

※未受給者＝認定被爆者支給の医療特別手当や未認定者の健康管理手当などの支給のない被爆者、

吹田市 非核平和都市宣言

真の恒久平和は、人類共通の願いである。

しかるに、近年、世界において軍備の拡張は依然として続けられ、世界平和に深刻な脅威をもたらしていることは、全人類のひとしく憂えるところである。

わが国は、世界最初の被爆国として、また、平和憲法の本質からも再びあの広島・長崎の惨禍を絶対に繰り返させてはならない。

吹田市は、日本国憲法にうたわれている平和の理念を基調に、市民の健康で文化的な生活の向上をめざし“すこやかで心ふれあう文化のまち”づくりをすすめており、平和なくしては、その実現はありえない。

よって、吹田市は、平和を希求する市民の総意のもとに、わが国の非核三原則が完全に実施されることを願うとともに、核兵器の廃絶を訴え、ここに非核平和都市であることを宣言する。

1983年8月1日 吹田市



▲ 吹田市 「非核平和モニュメント」
メイシアター前いずみの園公園



▲ 吹田市 「非核平和都市宣言碑」
市役所前



吹田市
「平和の塔」と「非核平和都市宣言」碑

わが町の非核・平和のデータガイドブック(被爆60年版)

| | | | | | | | |
|--|---|--------------------------|----------|--------------|-----|--------------|--|
| 自治体概要 | 自治体名 | 泉大津市 | 役所所在地 | 泉大津市東雲町9-12 | | | |
| | 人口 | 78190 | 最寄駅 | 南海本線「泉大津」駅 | | | |
| | 担当課 | 秘書広報課 | 電話 | 0725-33-1131 | FAX | 0725-21-0412 | |
| 【1】非核平和都市宣言 | 宣言主体 | 宣言年月 | 宣言名 | | | | |
| | 市町村 | 昭59年7月 | 非核平和都市宣言 | | | | |
| | 議会 | | | | | | |
| 【2】被爆者援護関係 | 被爆者人数 | 41 | 被爆者援護施策 | ※未受給者 2人 | | | |
| | 認定被爆者 | 0 | | | | | |
| | 被爆者団体 | | | | | | |
| 【3】非核・平和に関する決議・意見書採択 | 採択主体 | 採択年月日 | 採択決議・意見書 | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 【4】非核・平和施策 | 非核都市宣言自治体連絡協議会 | | | 未加盟 | | | |
| | 非核平和市民啓蒙・広報施策 | 非核平和関連資料館(常設) | | 名称 | | | |
| | | | | 所在地 | | | |
| | | 非核平和視聴覚教材・図書 | | | | | |
| | | 貸出料金 | 有料 | 貸出機関 | | | |
| | | | 無料 | 貸出機関 | | | |
| 【視聴覚教材・図書】 * 非核平和ビデオ貸出 | | | | | | | |
| 【広報施策】 HP: http://www.city.izumiotsu.osaka.jp/ | | | | | | | |
| 非核平和施策 | 【取組み・行事】 | | | | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> * 平和メッセージ展(市立織編館ギャラリー 7/7~11) * 平和バス見学会(舞鶴引揚記念館&赤レンガ博物館 8・2) * 平和パネル展(「大阪空襲・市民生活」市役所1階ロビー 8/5~11) * サイレン吹鳴(8/6・8/9・8/15) * 平和行進メッセージ * 「非核平和啓発横断幕」掲出 | | | | | | |
| 【5】国際友好施策 | 友好・姉妹都市 | 友好都市: グレータージロン市(オーストラリア) | | | | | |
| | 友好・連帯取組み | 中学生親善訪問団の相互派遣などの交流 | | | | | |
| 【6】市民団体の非核平和の取組み | | | | | | | |

※未受給者＝認定被爆者支給の医療特別手当や未認定者の健康管理手当などの支給のない被爆者、 *人口 平成17年11月1日 現在

泉大津市 非核平和都市宣言

世界の恒久平和は、人類共通の念願である。しかるに、核軍備拡大競争ははてしなく続けられ、人類の生存に脅威をあたえている。

平和なくしては、市民の誇りと願いをこめた「市民憲章」のめざす明るく豊かな生活とよりよき社会環境はのぞめない。

よって、わが国の非核三原則が完全に実施されることを願い、すべての核保有国に対し核兵器の廃絶と軍縮を求め、平和を愛する私達のまちとして、泉大津市を「非核平和都市」とすることを宣言する。

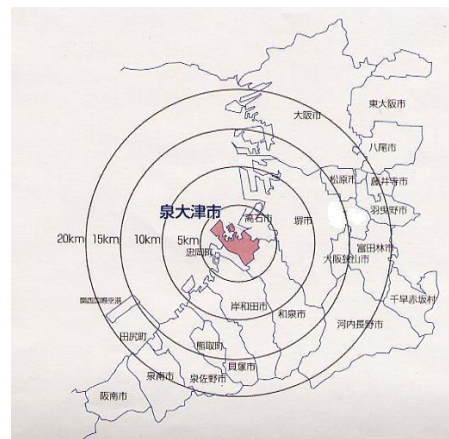
1984年7月30日 泉大津市



▲ 泉大津市 「非核平和都市宣言」標柱
市役所前（東雲公園）



▲ 泉大津市「各種宣言モニュメント」
市役所前（東雲公園）



泉大津市の位置
泉大津市HP
より掲載

わが町の非核・平和のデータガイドブック(被爆60年版)

| | | | | | | |
|--|--|-----------------------------|--------------------------------------|------------------------|-----|--------------|
| 自治体概要 | 自治体名 | 高槻市 | 役所所在地 | 高槻市桃園町2番1号 | | |
| | 人口 | 356971 | 最寄駅 | JR東海道線「高槻」駅・阪急京都線「高槻」駅 | | |
| | 担当課 | 人権室 | 電話 | 072-674-7458 | FAX | 072-674-7577 |
| 【1】非核平和都市宣言 | 宣言主体 | 宣言年月 | 宣言名 | | | |
| | 市町村 | S58年3月22日 | 非核平和都市宣言 | | | |
| | 議会 | | | | | |
| 【2】被爆者援護関係 | 被爆者人数 | 447 | 被爆者援護施策 | 原爆被害者市バス無料乗車補助 | | |
| | 認定被爆者 | 3 | | | | |
| | 被爆者団体 | 高槻市原爆被害者の会 | | ※未受給者 21人 | | |
| 【3】非核・平和に関する決議・意見書採択 | 採択主体 | 採択年月日 | 採択決議・意見書 | | | |
| | 市議会 | 平15. 3. 14 | イラク問題の平和的解決を求める決議 | | | |
| | 市議会 | 平14. 12. 19 | イラクの大量破壊兵器問題の平和的解決と劣化ウラン弾使用反対を求める意見書 | | | |
| | 市議会 | 平14. 6. 27 | 核兵器使用が危惧されるインド・パキスタン問題の平和的解決を求める意見書 | | | |
| 【4】非核・平和施策 | 非核都市宣言自治体連絡協議会 | | | 加盟 | | |
| | 非核平和関連資料館(常設) | 名称 | | 人権・文化啓発コーナー | | |
| | | 所在地 | | 高槻市総合センター8階(フロア) | | |
| | | 非核平和視聴覚教材・図書 | | | | |
| | 貸出料金 | 有料 | 貸出機関 | | | |
| | | 無料 | 貸出機関 | | | |
| | 非核平和市民啓蒙・広報施策 | 【視聴覚教材・図書】 | | | | |
| | | * ビデオ 69本(目録完備) | | | | |
| | | * 図書 259冊(目録完備) | | | | |
| | * 人権・文化啓発コーナーにおいて、ビデオ・図書の設置及び市民から寄贈された戦争遺品等を常設展示 | | | | | |
| 【広報施策】 HP: http://www.city.takatsuki.osaka.jp/ | | | | | | |
| * 非核平和に関する各イベントの実施時に「広報たかつき」に掲載 | | | | | | |
| * 非核平和の取り組みなど市のホームページに常時掲載 | | | | | | |
| 非核平和施策 | 【取組み・行事】 | | | | | |
| | □戦後60周年「平和展」(8/10~12) | | | | | |
| | * 資料展示・特別展(特別写真展「戦前戦後のわが町高槻」・豊田直巳写真展「イラク戦争の子どもたち」・「広島市民が描いた原爆の絵」展) | | | | | |
| | * 常設展(「旧広島市役所庁舎の被爆石」展示・リトルボーイ模型展示・「タチソ」高槻地下倉庫跡紹介) | | | | | |
| | * 催し物コーナー(被爆体験者による「語り部」・「折り鶴、一言絵皿」・「戦中食試食」・学童保育作品展示) | | | | | |
| | □「平和を考えるつどい」(8/17) | | | | | |
| * 講演・海老名香葉子氏「戦禍に残された一つの命」 | | | | | | |
| □「みらいフェスタ」(10/30) * 平和コンサート・パネル展・原爆展 | | | | | | |
| □その他 * 非核平和都市宣言旗の作成 * 核実験中止要請文及び抗議文 | | | | | | |
| * 黙祷・市内小学校に被爆アオギリ2世植樹 * 平和行進メッセージなど | | | | | | |
| 【5】国際友好施策 | 友好・姉妹都市 | マニラ市(フィリピン) | 常州市(中国) | | | |
| | | トゥーンバ市(オーストラリア) | | | | |
| | 取組み | 市民親善訪問団を派遣し、各都市との交流(毎年相互訪問) | | | | |
| 【6】市民団体の非核平和の取組み | * 平和展実行委員会 市内の人権市民団体等で構成した実行委員会を組織し、「平和展」開催 | | | | | |
| | * みらいフェスタ実行委員会 | | | | | |
| | 「核のない緑の地球を子どもたちに」「環境・人権・平和を守って未来を切り拓こう」 | | | | | |
| | メインテーマにフェスタ開催 | | | | | |

※未受給者＝認定被爆者支給の医療特別手当や未認定者の健康管理手当などの支給のない被爆者、

* 人口は平成17年10月末現在

高槻市 非核平和都市宣言

世界の恒久平和は、人類共通の願いである。

この当然の願いに反して、核兵器の保有、増強が続けられ、人類の生存に深刻な脅威を与えている。

わが国は、世界唯一の核被爆国として、その被害の恐ろしさ、被爆者の苦しみを世界に向けて訴え、核兵器の完全廃絶に積極的な役割を果たさなければならない。

高槻市は、平和を愛する文化都市として、世界のすべての国が「持たず 作らず 持ち込ませず」の非核三原則を厳守し、地球上から核兵器が廃絶することを願い、ここに「非核平和都市」となることを宣言する。

1983年3月22日 高槻市



▲ 高槻市 「未来のゆりかご」
城跡公園



▲ 高槻市 広島旧市庁舎「被爆石」
芥川公園



☞
「非核平和宣言都市」看板
城跡公園

わが町の非核・平和のデータガイドブック(被爆60年版)

| | | | | | | |
|--|--|--|---------------------------------------|--------------|-----|--------------|
| 自治体概要 | 自治体名 | 貝塚市 | 役所所在地 | 貝塚市畠中1-17-1 | | |
| | 人口 | 90308 | 最寄駅 | 南海本線「貝塚」駅 | | |
| | 担当課 | 人権推進課 | 電話 | 0724-33-7160 | FAX | 0724-33-7511 |
| 【1】非核平和都市宣言 | 宣言主体 | 宣言年月 | 宣言名 | | | |
| | 市町村 | 昭58. 12. | 核兵器廃絶・平和都市宣言 | | | |
| | 議会 | | | | | |
| 【2】被爆者援護関係 | 被爆者人数 | 74 | 被爆者援護施策 | 被爆者見舞金 | | |
| | 認定被爆者 | 0 | | | | |
| | 被爆者団体 | 貝塚市原爆被害者の会 | | ※未受給者 3人 | | |
| 【3】非核・平和に関する決議・意見書採択 | 採択主体 | 採択年月日 | 採択決議・意見書 | | | |
| | 議会 | 平7. 9. 11 | 中国及びフランスの核実験に対する嚴重抗議並びに一切の核実験中止を求める決議 | | | |
| | | | | | | |
| 【4】非核・平和施策 | 非核都市宣言自治体連絡協議会 | | | 未加盟 | | |
| | 非核平和市民啓蒙・広報施策 | 非核平和関連資料館(常設) | | 名称 | | |
| | | | | 所在地 | | |
| | | 非核平和視聴覚教材・図書 | | | | |
| | | 貸出料金 | 有料 | 貸出機関 | | |
| | | | 無料 | 貸出機関 | | |
| | | 【視聴覚教材・図書】 | | | | |
| 【広報施策】 HP: http://www.city.kaizuka.lg.jp/ | | | | | | |
| 非核平和施策 | 【取組み・行事】 | | | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> * 平和行進の受け入れ * 原爆死没者の慰霊・平和祈念黙祷 | | | | | |
| 【5】国際友好施策 | 友好・姉妹都市 | カルバーシティ市(米国) | | | | |
| | 友好・連帯取組み | マラソン選手の相互派遣、中学生の相互親善訪問 かいつか国際交流協会を中心に様々な国からの訪問の受け入れ交流 | | | | |
| 【6】市民団体の非核平和の取組み | * 戦争と平和、人権を考えるつどい | | | | | |

※未受給者＝認定被爆者支給の医療特別手当や未認定者の健康管理手当などの支給のない被爆者、

貝塚市 核兵器廃絶・平和都市宣言

真の恒久的な平和は、人類共通の願いである。

しかるに果てしない軍拡競争が世界の平和に深刻な脅威をもたらしていることは、全人類のひとしく憂えるところである。

わが国は、世界で最初の核被爆国であり、再び「広島や長崎」の惨禍を繰り返させてならない。

貝塚市は、差別をなくし、人権を守ることこそが平和に通じるものであることを認識し活力ある住みよいまちづくりをすすめている。

平和を愛する私達のまちとして、市民総意のもと、非核三原則の堅持と軍縮を訴え、ここに貝塚市は、核兵器廃絶・平和都市であることを宣言する。

1983年12月2日 貝塚市



▲貝塚市 平和祈念像「はばたき」市役所前



▲ 貝塚市 「平和のともしび」
市役所前



貝塚市
「核兵器廃絶平和宣言」碑



わが町の非核・平和のデータガイドブック(被爆60年版)

| | | | | | | | |
|---|--|--|------------|--------------|-----|--------------|--|
| 自治体概要 | 自治体名 | 守口市 | 役所所在地 | 守口市京阪本通2-2-5 | | | |
| | 人口 | 148816 | 最寄駅 | 地下鉄谷町線「守口」駅 | | | |
| | 担当課 | 人権室 | 電話 | 06-6992-1221 | FAX | 06-6994-1691 | |
| 【1】非核平和都市宣言 | 宣言主体 | 宣言年月 | 宣言名 | | | | |
| | 市町村 | | | | | | |
| | 議会 | | | | | | |
| 【2】被爆者援護関係 | 被爆者人数 | 140 | 被爆者援護施策 | ※未受給者 6人 | | | |
| | 認定被爆者 | 0 | | | | | |
| | 被爆者団体 | 守口市原爆被害者の会 | | | | | |
| 【3】非核・平和に関する決議・意見書採択 | 採択主体 | 採択年月日 | 採択決議・意見書 | | | | |
| | 議会 | 昭58.3.28 | 「非核都市宣言」決議 | | | | |
| | | | | | | | |
| 【4】非核・平和施策 | 非核都市宣言自治体連絡協議会 | | | 未加盟 | | | |
| | 非核平和市民啓蒙・広報施策 | 非核平和関連資料館(常設) | | 名称 | | | |
| | | | | 所在地 | | | |
| | | 非核平和視聴覚教材・図書 | | | | | |
| | | 貸出料金 | 有料 | 貸出機関 | | | |
| | | | 無料 | 貸出機関 | | | |
| | | 【視聴覚教材・図書】 | | | | | |
| 【広報施策】 HP: http://www.city.moriguchi.osaka.jp/contents/index.html HP上に「友好の輪」項あり | | | | | | | |
| 非核平和施策 | 【取組み・行事】 | | | | | | |
| | □「平和のつどい～戦後60年、語りつぐ平和への願い～」(8/26 中央公民館) * 原画展「大阪大空襲の体験」・パネル展「原爆と人間」・戦時下の物品展示 * 紙芝居「あおよ、かえってこい」「かわいそうなぞう」 * アニメ映画「クロがいら夏」 * ビデオ「大阪に残る戦争の傷あと」 * 「大阪大空襲の体験者の語り部」 * 「すいとん」試食 | | | | | | |
| 【5】国際友好施策 | 友好・姉妹都市 | 姉妹都市: ニューウエストミンスター市(カナダ) 友好都市: 中山市(中国) | | | | | |
| | 友好・連帯取組み | * 小学生や民間、行政レベルでの交流 * 市民を「夏期英語研修講座」(約7週間)に特別留学生として派遣 | | | | | |
| 【6】市民団体の非核平和の取組み | | | | | | | |

※未受給者＝認定被爆者支給の医療特別手当や未認定者の健康管理手当などの支給のない被爆者、

守口市 「非核平和都市宣言」決議

真の平和安全は、人類共通の願望である。

しかるに、近年、世界において軍備の拡張は依然として続けられ、世界平和に深刻な脅威をもたらしていることは、全人類のひとしく憂えるところである。

我が国は、世界唯一の核被爆国として、また日本国憲法の本質からも、再びあの広島・長崎の惨禍を絶対に繰り返させてはならない。

わが守口市は、日本国憲法の前文による恒久平和主義の理念を市政に生かし、継承していくことが、地方自治の基本条件である。

したがって、わが守口市は、非核三原則（作らず、持たず、持ち込ませず）の厳守を政府に要望するとともに、あらゆる国のあらゆる核兵器もわが守口市内に入り、製造・貯蔵配備・空中輸送・核部隊の通過を拒否するとともに、核保有国に対し核兵器の廃絶を全世界に向かって訴え、非核平和都市を宣言するものである。

右決議する。

1983年3月28日 守口市議会



▲ 守口市 「非核平和宣言都市」啓発板
市役所壁面



▲ 守口市 「SPRING-創生」
大枝公園

わが町の非核・平和のデータガイドブック(被爆60年版)

| | | | | | | | |
|----------------------|--|--|-------------------|---------------|-----------------|--------------|--|
| 自治体概要 | 自治体名 | 枚方市 | 役所所在地 | 枚方市大垣内町2-1-20 | | | |
| | 人口 | 408035 | 最寄駅 | 京阪「枚方市」駅 | | | |
| | 担当課 | 人権政策室 | 電話 | 072-841-1221 | FAX | 072-841-1700 | |
| 【1】非核平和都市宣言 | 宣言主体 | 宣言年月 | 宣言名 | | | | |
| | 市町村 | 1982. 12.21 | 非核平和都市宣言 | | | | |
| | 議会 | 1982. 12.21 | 非核平和都市宣言 可決 | | | | |
| 【2】被爆者援護関係 | 被爆者人数 | 387 | 被爆者援護施策 | ※未受給者 46人 | | | |
| | 認定被爆者 | 3 | | | | | |
| | 被爆者団体 | 枚方市原爆被害の会 | | | | | |
| 【3】非核・平和に関する決議・意見書採択 | 採択主体 | 採択年月日 | 採択決議・意見書 | | | | |
| | 議会 | 2003. 3. 25 | 即時停戦と平和解決を求める要請 | | | | |
| | 議会 | 2003. 3. 11 | イラク問題の平和解決を求める意見書 | | | | |
| | | | | | | | |
| 【4】非核・平和施策 | 非核都市宣言自治体連絡協議会 | | | 加盟 | | | |
| | 非核平和市民啓蒙・広報施策 | 非核平和関連資料館(常設) | | 名称 | 平和資料室(枚方市立図書館内) | | |
| | | | | 所在地 | 枚方市車塚2-1-1 | | |
| | | 非核平和視聴覚教材・図書 | | | | | |
| | | 貸出料金 | 有料 | 貸出機関 | | | |
| | | | 無料 | 貸出機関 枚方市 | | | |
| | | 【視聴覚教材・図書】 *ビデオ・16ミリフィルム・映写機・プロジェクター | | | | | |
| | 【広報施策】 HP: http://www.city.hirakata.osaka.jp/ HP上の「枚方市の紹介」に「都市交流」項あり | | | | | | |
| | 非核平和施策 | 【取組み・行事】 | | | | | |
| | | * 枚方市「平和の日」記念事業 コンサート、講演会など 子どもと親の非核平和映画会 アニメ平和映画会「アンゼラスの鐘」(3/3市民会館) 平和を語り継ぐ(エフエムひらかた平和番組 2/26) 企画展「黒澤明が描いた<夢>」(3/10~22) 第五福竜丸展(枚方市民ギャラリー 2/24~3/8) | | | | | |
| 【5】国際友好施策 | 友好・姉妹都市 | * 友好都市: 上海市長寧区(中国) * ローガン市(オーストラリア) | | | | | |
| | 友好・連帯取組み | * 教育の分野を中心に、文化・スポーツ面の交流 * コアラ像の寄贈をうける、日本庭園を寄贈 | | | | | |
| 【6】市民団体の非核平和の取組み | | | | | | | |

※未受給者＝認定被爆者支給の医療特別手当や未認定者の健康管理手当などの支給のない被爆者、

枚方市 非核平和都市宣言

1982年12月21日 枚方市

全世界の平和と安全は、全人類共通の念願であり、よりよい生活を築き、守り、維持していくための基本理念であります。

しかるにそれらの念願、理念に反して、究極戦争の道具である核兵器は、以前として拡充、拡散され、人類の生存に深刻な脅威を与えています。


私たちは、世界唯一の被爆国民であり、平和を希求する誇り得る憲法を持ち、戦争の放棄を誓っています。


地球上から戦争と核兵器をなくすことは、日本国民の責務であります。平和を求め、核兵器廃絶を叫ぶ大衆の声は、ここ数年、時を追って大きくなってきています。

枚方市は、平和を愛する人達の住む町として核兵器の廃絶、製造設備及び手段の廃棄を訴えて、ここに非核平和都市となることを宣言します。



▲ 枚方市 「語らい」 香里支所前

右上 「語らい」 正面 

右下 「非核平和都市宣言」 碑 



▲枚方市 「非核平和都市」 宣言ボード
市役所玄関前

わが町の非核・平和のデータガイドブック(被爆60年版)

| | | | | | | |
|---|--|----------------------------------|-----------|--------------------|-----|--------------|
| 自治体概要 | 自治体名 | 茨木市 | 役所所在地 | 茨木市駅前3-8-13 | | |
| | 人口 | 267,094 | 最寄駅 | 阪急電鉄「茨木市」駅 JR「茨木」駅 | | |
| | 担当課 | 人権同和室 | 電話 | 072-620-1640 | FAX | 072-620-1725 |
| 【1】非核平和都市宣言 | 宣言主体 | 宣言年月 | 宣言名 | | | |
| | 市町村 | | | | | |
| | 議会 | 昭59. 12 | 非核平和都市宣言 | | | |
| 【2】被爆者援護関係 | 被爆者人数 | 269 | 被爆者援護施策 | 茨木市原爆被害者の会に補助金 | | |
| | 認定被爆者 | 6 | | | | |
| | 被爆者団体 | 茨木市原爆被害者の会 | ※未受給者 29人 | | | |
| 【3】非核・平和に関する決議・意見書採択 | 採択主体 | 採択年月日 | 採択決議・意見書 | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| 【4】非核・平和施策 | 非核都市宣言自治体連絡協議会 | | | 加盟 | | |
| | 非核平和市民啓蒙・広報施策 | 非核平和関連資料館(常設) | | 名称 | | |
| | | | | 所在地 | | |
| | | 非核平和視聴覚教材・図書 | | | | |
| | | 貸出料金 | 有料 | 貸出機関 | | |
| | | | 無料 | 貸出機関 茨木市立中央図書館 | | |
| | 【視聴覚教材・図書】 | | | | | |
| | * 啓発ビデオ 74本 「核戦争後の地球」「戦争—こどもたちの遺言—」「もし、この地球を愛するなら」「予言」「ヒロシマ・ナガサキ—核戦争のもたらすもの—」「夏服の少女たち」「はだしのゲン」「黒い雨にうたれて」「ぼくのいる街」「かよこ桜の咲く日」「歴史—核狂乱の時代」「海—今、トマホークが」「なっちゃんの赤いてぶくろ」「増大する放射能」「非核平和都市マンチェスター」「ビキニの海は忘れない」 | | | | | |
| | 【広報施策】 HP: http://www.city.ibaraki.osaka.jp/ * 広報紙「いばらき」に非核平和関連記事掲載、本庁舎壁面に懸垂幕掲出 | | | | | |
| | 非核平和施策 | 【取組み・行事】 | | | | |
| * 被爆石の設置(中央公園) * 公用封筒に非核平和啓発標語を印刷 * 市内各公共施設に非核平和都市宣言パネルを設置 * 地区公民館で巡回非核パネル展を開催(9月・2月) * 駅前にて非核平和街頭啓発を実施(8/9) □戦後60年・被爆60年記念事業 非核平和展開催(中央図書館など8/3~7) * 「戦争を知らない世代へのメッセージ」映画会「父と暮らせば」 | | | | | | |
| 【5】国際友好施策 | 友好・姉妹都市 | 姉妹都市 ミネアポリス市(米国) 友好都市 安慶市(中国) | | | | |
| | 友好・連帯取組み | | | | | |
| 【6】市民団体の非核平和の取組み | | | | | | |

※未受給者＝認定被爆者支給の医療特別手当や未認定者の健康管理手当などの支給のない被爆者、

茨木市 非核平和都市宣言

世界の平和と安全は全人類の願望であります。にもかかわらず、核軍拡競争はとめどなく拡大しており、私どもは生存の危機に立たされています。

日本は世界ではじめて広島・長崎に原爆の被災を受け、今もなお数十万の人びとがその後遺に苦しんでいます。再びその惨禍を繰り返させず、人類を滅亡から救うために、核兵器の使用を許してはなりません。

私たちは太平洋戦争の苦しみの中から世界に誇るべき平和憲法を制定しました。その精神に基づき、核兵器の廃絶を世界の人びとと共に強く主張し、「核兵器を作らず、持たず、持ち込ませず」という非核三原則の厳守を政府に求めます。

更に市民に向けて平和のための諸施策を推進することを誓い、ここに「非核平和都市」とすることを宣言します。

1984年12月17日 茨木市

この宣言は、茨木市議会が決議し、議決されたものであります。



▲茨木市 「希望の泉」 市民会館前



茨木市
広島旧市庁舎「被爆石」
市民会館前



わが町の非核・平和のデータガイドブック(被爆60年版)

| | | | | | | |
|----------------------|--|---|-----------|--------------|-----|--------------|
| 自治体概要 | 自治体名 | 八尾市 | 役所所在地 | 八尾市本町1-1-1 | | |
| | 人口 | 273,894 | 最寄駅 | 近鉄大阪線「八尾」駅 | | |
| | 担当課 | 人権国際課 | 電話 | 0729-24-3943 | FAX | 0729-24-0175 |
| 【1】非核平和都市宣言 | 宣言主体 | 宣言年月 | 宣言名 | | | |
| | 市町村 | 昭58.10 | 非核・平和都市宣言 | | | |
| | 議会 | | | | | |
| 【2】被爆者援護関係 | 被爆者人数 | 204 | 被爆者援護施策 | ※未受給者 21人 | | |
| | 認定被爆者 | 2 | | | | |
| | 被爆者団体 | | | | | |
| 【3】非核・平和に関する決議・意見書採択 | 採択主体 | 採択年月日 | 採択決議・意見書 | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| 【4】非核・平和施策 | 非核都市宣言自治体連絡協議会 | | | 加盟 | | |
| | 非核平和市民啓蒙・広報施策 | 非核平和関連資料館(常設) | | 名称 | | |
| | | | | 所在地 | | |
| | | 非核平和視聴覚教材・図書 | | | | |
| | | 貸出料金 | 有料 | 貸出機関 | | |
| | | | 無料 | 貸出機関 | | |
| | 【視聴覚教材・図書】 * ホームページで図書館検索可能 図書628件 | | | | | |
| | 【広報施策】 HP: http://www.city.yao.osaka.jp/cgi-bin/odb-get.exe?WIT_template=AM010000 * 平和モニュメント(「光の道しるべ」)設置 * 非核・平和都市宣言20周年記念リーフレットの配架 * 懸垂幕の設置(8月) * 黙祷の実施(8/6・8/9) | | | | | |
| | 非核平和施策 | 【取組み・行事】 <input type="checkbox"/> ピースウィークin八尾「いま平和を考える 未来に伝えるメッセージ」(八尾文化会館 7/4~8) * 「長崎被爆体験講話～未来へ届けよう歌声とともに」 * 講演「太平洋の墓標を訪ねて 海底に眠る日本船・撮り続けた戦争の傷跡」(水中写真家 坪本公一氏) * トーク&ライブ「浪曲と歌で綴る戦争と平和 黒船来航から原爆の悲劇まで」 * 写真パネル展「太平洋の墓標を訪ねて」(市役所 8/12~25) | | | | |
| | | | | | | |
| 【5】国際友好施策 | 友好・姉妹都市 | 友好都市 上海市嘉定区(中国) 姉妹都市 ベルビュー市(米国) | | | | |
| | 友好・連帯取組み | 嘉定区: 青少年交流団派遣・受入、友好訪問団派遣、医療訪問団派遣、幹部訪問団派遣、分野別訪問団受入、中堅職員派遣・受入 ベルビュー市: 親善訪問団派遣、教育視察団受入、交換職員受入 | | | | |
| 【6】市民団体の非核平和の取組み | | | | | | |

※未受給者＝認定被爆者支給の医療特別手当や未認定者の健康管理手当などの支給のない被爆者、

八尾市 非核・平和都市宣言

1983年10月4日 八尾市

世界の恒久平和は、全人類の願いである。

しかるに、近年の核軍拡競争はとどまるところを知らず、ひとたび核戦争が勃発すれば人類を滅亡させる危機にあることは、世界の人びとの等しく憂えるところである。

世界最初の核被爆国となった我が国は、ヒロシマ・ナガサキの惨禍を絶対に繰り返してはならず、その決意と行動を世界に示さなければならない。

日本国憲法に掲げる恒久平和の原則に則り、それを市民生活の中に育み、継承させていくことが、人間尊重の精神につながり、八尾の自然と文化を守ることとなる。

したがって、八尾市は、国是である「非核三原則」が完全に実施されることを求めるとともに、あらゆる国のあらゆる核兵器を拒否し、廃絶することを全世界に訴えるものである。以上宣言する。



▲ 八尾市 「光の道しるべ」
市役所前

戦後60年

いま平和を考える

未来に伝えるメッセージ

とき
平成17年7月8日(金) 午後1時30分から(午後1時開場)

13:30~

■ 第1部 講演「太平洋の墓標を訪ねて」
海底に眠る日本船…振りつけた戦争の“傷跡”
水中写真家 坪本公一さん

14:40~

■ 第2部 トーク&ライブ「浪曲と歌で綴る戦争と平和」
黒船来航から原爆の悲劇まで。激動の100年を生きた日本人! 総合演出 芦川淳平

「長崎の鐘」

川本佐江子

■ 幕末維新の動乱に命を賭けた普通人のドラマ

■ 開国の影に哀話あり

岸川淳平

■ 唐人お吉

「玉碎! 硫黄島」

京山彦吉

■ 社説戦史の裏に国境を超えた真の友情

● ところ/八尾市文化会館(プリズムホール) 小ホール

● 一時保育/1歳以上就学時前児童を対象に一時保育を実施します。6月30日までに入権国際課に申込み下さい。一時保育利用料500円必要です。

● 手話通訳あります。

とき
平成17年7月5日(火)

被爆体験講話&合唱
「長崎被爆体験講話~未来へ届けよう歌声とともに」

■ 1部 八尾児童合唱団 童謡メドレー 他
■ 2部 (財)長崎平和推進協会継承部会員による 被爆体験講話

● 午後7時から(午後6時45分開場)
● ところ/八尾市文化会館(プリズムホール) 5Fレセプションホール
● 手話通訳あります。

● 主 催/八尾市
● 問い合わせ先/八尾市人権国際課
TEL (0729)24-3843
FAX (0729)24-0175

入場無料

▲ 「いま平和を考える~未来に伝える
メッセージ~」チラシ
7月8日 八尾市文化会館

わが町の非核・平和のデータガイドブック(被爆60年版)

| | | | | | | | |
|----------------------|---|--|----------|--------------------|-----|--------------|--|
| 自治体概要 | 自治体名 | 泉佐野市 | 役所所在地 | 泉佐野市市場東1丁目295番地の3 | | | |
| | 人口 | 101161 | 最寄駅 | 南海本線「佐野」駅 JR「日根野」駅 | | | |
| | 担当課 | 人権推進課 | 電話 | 072-463-1212 | FAX | 072-464-9314 | |
| 【1】非核平和都市宣言 | 宣言主体 | 宣言年月 | 宣言名 | | | | |
| | 市町村 | 1985.3 | 非核平和宣言 | | | | |
| | 議会 | | | | | | |
| 【2】被爆者援護関係 | 被爆者人数 | 52 | 被爆者 | ※未受給者 7人 | | | |
| | 認定被爆者 | 1 | 援護施策 | | | | |
| | 被爆者団体 | | | | | | |
| 【3】非核・平和に関する決議・意見書採択 | 採択主体 | 採択年月日 | 採択決議・意見書 | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 【4】非核・平和施策 | 非核都市宣言自治体連絡協議会 | | | 未加盟 | | | |
| | 非核平和市民啓蒙・広報施策 | 非核平和関連資料館(常設) | | 名称 | | | |
| | | | | 所在地 | | | |
| | | 非核平和視聴覚教材・図書 | | | | | |
| | | 貸出料金 | 有料 | 貸出機関 | | | |
| | | | 無料 | 貸出機関 人権推進課 | | | |
| | | 【視聴覚教材・図書】 *ビデオ「太平洋戦争史1～23」「十六地蔵物語」 「映像の世紀1～22」「つるのつる」など | | | | | |
| | 【広報施策】 HP: http://www.city.izumisano.osaka.jp/ 市報7月号「人権の広場」特集 | | | | | | |
| | 非核平和施策 | 【取組み・行事】 | | | | | |
| | | *「平和を考える集い」(8/18) 朗読「被爆体験記」 映画「十六地蔵物語」 *ミニ展示「戦争・平和資料展」(7/27～8/21) *黙祷呼びかけ(8/15) *戦没者追悼式(10/14) | | | | | |
| 【5】国際友好施策 | 友好・姉妹都市 | 上海市徐匯区・宝山区(中国) | | | | | |
| | 友好・連帯取組み | 友好都市交流の推進 | | | | | |
| 【6】市民団体の非核平和の取組み | * 第六回戦争展 映画「ガラスのうさぎ」(8/12) パネル展示(8/17～19) 「子どもたちの犠牲はいつまでいつまで続くのか～イラクの子どもたちは今～」 * 下瓦屋支部納涼大会 反戦平和人権環境の尊さ(8/6) * 人権・平和のつどい 朗読劇、人権メッセージ、手話歌の発表、沖縄平和学習の発表(8/9) * 鶴原地区タベのつどい 反差別・反戦のつどい(8/13) * パネル展 「広島・長崎被爆写真」及び「毎日新聞(原爆ルポ)」(8/7～12) * 第25回反核・平和のつどい 反核・平和コンサート パネル展「原爆と人間」 「泉佐野にも飛行場があった」 | | | | | | |

※未受給者＝認定被爆者支給の医療特別手当や未認定者の健康管理手当などの支給のない被爆者、

泉佐野市 非核平和都市宣言

1985年3月28日 泉佐野市

真の恒久平和と安全は、人類共通の願望である。

しかしながら、近年世界における軍備の拡張は依然として続けられ、世界平和に深刻な脅威をもたらしていることは、全人類の等しく憂えるところである。

我が国は、世界で唯一の核被爆国として、全世界から永久に核兵器を追求するため全力を注ぎ、再びその惨禍を絶対に繰り返させてはならない。

わが泉佐野市においても日本国憲法に掲げられた恒久平和の理念を市民生活の中に生かし、継続させていくことが地方自治の基本条件の一つであり、またこれがなくては豊かな自然環境と歴史と文化を誇りとするこの優れた環境で健全な心身をお養い、幸せと繁栄を願う泉佐野市民憲章のめざすより良い社会環境は望めない。

よって、泉佐野市は、非核三原則が完全に実施されることを願いつつ、あらゆる国のあらゆる核兵器も拒否し、全世界に核兵器の廃絶を強く訴え、ここに非核平和都市を宣言する。



▲ 泉佐野市「都市宣言モニュメント」
市役所内



▲ 「非核平和都市宣言」パネル
市役所前

わが町の非核・平和のデータガイドブック(被爆60年版)

| | | | | | | | |
|----------------------|--|--|-----------------------|--------------------------------------|-----|--------------|--|
| 自治体概要 | 自治体名 | 富田林市 | 役所所在地 | 大阪府富田林市常盤町1番1号 | | | |
| | 人口 | 124,399 | 最寄駅 | 近鉄長野線「富田林西口駅」 | | | |
| | 担当課 | 人権政策課 | 電話 | 0721-25-1000(472) | FAX | 0721-25-9037 | |
| 【1】非核平和都市宣言 | 宣言主体 | 宣言年月 | 宣言名 | | | | |
| | 市町村 | | | | | | |
| | 議会 | S.59年12月 | 富田林市非核平和都市宣言 | | | | |
| 【2】被爆者援護関係 | 被爆者人数 | 111 | 被爆者援護施策 | * 見舞金の支給 | | | |
| | 認定被爆者 | 1 | | * 団体補助金 | | | |
| | 被爆者団体 | 富田林原爆被害者の会 | | ※未受給者 14人 | | | |
| 【3】非核・平和に関する決議・意見書採択 | 採択主体 | 採択年月日 | 採択決議・意見書 | | | | |
| | 市議会 | H.15年3月14日 | 「イラク問題の平和的解決を求める議会決議」 | | | | |
| | | H.13年9月26日 | 「米国における同時多発テロに関する決議」 | | | | |
| 【4】非核・平和施策 | 日本非核宣言自治体協議会 | | | 加盟 | | | |
| | 非核平和市民啓蒙・広報施策 | 非核平和関連資料館(常設) | | 名称 | | | |
| | | | | 所在地 | | | |
| | | 非核平和視聴覚教材・図書 | | | | | |
| | | 貸出料金 | 有料 | 貸出機関 | | | |
| | | | 無料 | 貸出機関 * 人権文化部人権政策課 * 富田林市人権教育推進協議会 | | | |
| | 【視聴覚教材・図書】 | | | | | | |
| | 『啓発ビデオ』28本 「青い目の人形物語」「青葉学園物語」 「核兵器のない地球を この街その海あの大地」「風が吹くとき」「さとうきび畑」 「はだしのゲン」「はとよひろしまの空を」「ヒロシマの証言」「クロがいた夏」など 『映画フィルム』「戦場ぬ童」「おこりじぞう」「つるにのって とも子の冒険」 「ながさきの子うま」「夏服の少女たち」「ピカドン」「核戦争」 「100ばんめサル」ひろしまのエノキ 「うしろの正面だあれ」 | | | | | | |
| | 【広報施策】 HP: http://www.city.tondabayashi.osaka.jp/ HP上の「市役所のご案内」に「国際化・姉妹都市」項あり * 市広報誌、啓発パンフレットなど | | | | | | |
| | 非核平和施策 | 【取組み・行事】 * 平和を考える戦争展 * 戦争体験記の冊子(作成中) * 広島親子平和の旅 | | | | | |
| 【5】国際友好施策 | 姉妹都市友好都市 | ベスレヘム市(米国) 彭州市(中国) | | | | | |
| | 友好・連帯取組み | * アメリカ国ベスレヘム市とは、富田林ベスレヘム協会が隔年で交換学生の相互派遣 * 英語弁論大会を実施 | | | | | |
| 【6】市民団体の非核平和の取組み | * 平和マラソン(核戦争阻止、核兵器廃絶、富田林から広島へ平和マラソン実行委員会) * 河南平和行進(国民平和行進大阪実行委員会、大阪いずみ市民生活協同組合) | | | | | | |

※未受給者＝認定被爆者支給の医療特別手当や未認定者の健康管理手当などの支給のない被爆者、

富田林市 「非核平和都市宣言」に関する決議

真の恒久平和と安全は、人類共通の願望である。しかしながら、近年世界において軍備の拡張は依然として続けられ、人類を滅亡させる核戦争の危機に深刻な脅威を与えている。

我が国は、世界で唯一の核被爆国として、全世界から永久に核兵器を追求するために全力を注ぎ、再びその惨禍を繰り返させてはならない。

わが富田林市においても日本国憲法に掲げられた恒久平和主義の理念を市民生活の中に生かし、継承させていくことが、地方自治の基本条件の一つである。これなくしては緑と太陽にめぐまれた美しい自然を市民の生活基盤として保全した環境水準の高い教育文化都市づくりは望めない。

よって、富田林市は市民総意のもと、政府に対し国是である非核三原則（作らず、持たず、持ち込ませず）の厳守を求める。また、富田林市はあらゆる国のあらゆる核兵器のある部隊の通過、滞留を拒否し、全世界に核兵器の廃絶を強く訴え、ここに非核平和都市を宣言する。

以上決議する。

1984年12月26日 富田林市議会



▲富田林市「昂」近鉄富田林駅前



▲ 富田林市
「平和の番人」
金剛団地・津々山公園



わが町の非核・平和のデータガイドブック(被爆60年版)

| | | | | | | |
|---|-----------------------------------|----------------------------------|--------------------------|-----------------------|-----|--------------|
| 自治体概要 | 自治体名 | 寝屋川市 | 役所所在地 | 寝屋川市本町1-1 | | |
| | 人口 | 246343 | 最寄駅 | 京阪「寝屋川市」駅 | | |
| | 担当課 | 人権文化課 | 電話 | 072-824-1181 | FAX | 072-825-2637 |
| 【1】非核平和都市宣言 | 宣言主体 | 宣言年月 | 宣言名 | | | |
| | 市町村 | 昭58. 3. 25 | 非核平和宣言 | | | |
| | 議会 | | | | | |
| 【2】被爆者援護関係 | 被爆者人数 | 248 | 被爆者 | ※未受給者 23人 | | |
| | 認定被爆者 | 2 | 援護施策 | | | |
| | 被爆者団体 | 寝屋川市原爆被害者の会 | | | | |
| 【3】非核・平和に関する決議・意見書採択 | 採択主体 | 採択年月日 | 採択決議・意見書 | | | |
| | 議会 | 平14. 9. 20 | 日朝首脳会議における日本人拉致事件に関する意見書 | | | |
| | | | | | | |
| 【4】非核・平和施策 | 非核都市宣言自治体連絡協議会 | | | 加盟 | | |
| | 非核平和市民啓蒙・広報施策 | 非核平和関連資料館(常設) | | 名称 | | |
| | | | | 所在地 | | |
| | | 非核平和視聴覚教材・図書 | | | | |
| | | 貸出料金 | 有料 | 貸出機関 | | |
| | | | 無料 | 貸出機関 寝屋川市人・ふれあい部人権文化部 | | |
| | | 【視聴覚教材・図書】 | | | | |
| | * パネル展 「原爆と人間」展・太平洋戦争など | | | | | |
| | * 平和関係啓発ビデオ 「第五福竜丸」など 他14本 | | | | | |
| | * 平和関連図書 広島原爆他多数 | | | | | |
| 【広報施策】 HP: http://www.city.neyagawa.osaka.jp/ 市民活動支援の項あり | | | | | | |
| * 市広報紙に平和啓発記事を掲載 | | | | | | |
| 非核平和施策 | 【取組み・行事】 | | | | | |
| | * 憲法週間行事 広報紙及び街頭における啓発物配布による啓発 | | | | | |
| * 非核平和都市宣言行事 | | | | | | |
| □戦後60年平和祈念行事(中央公民館 7/15~16) | | | | | | |
| 「平和を考える市民のつどい」映画会「YOMORROW明日」「美しい夏キリシマ」 | | | | | | |
| 「父と暮らせば」 | | | | | | |
| * 平和祈念戦争資料常設展示 * 平和祈念パネル展 | | | | | | |
| * 広報紙による啓発 * 親と子の平和バスツアー | | | | | | |
| 【5】国際友好施策 | 友好・姉妹都市 | 姉妹都市:ニューポートニューズ市(米国) オークビル市(カナダ) | | | | |
| | 友好・連帯取組み | 友好都市:上海市盧湾区(中国) | | | | |
| 【6】市民団体の非核平和の取組み | * 行政・市民・青少年レベルで相互訪問 高校生での留学事業なども | | | | | |
| | * 寝屋川市原爆被害者の会のとりのくみ | | | | | |

※未受給者＝認定被爆者支給の医療特別手当や未認定者の健康管理手当などの支給のない被爆者、

寝屋川市 非核平和都市宣言

1983年3月25日 寝屋川市

全世界の恒久平和は、人類共通の願望であり、市民の誇りと願いをこめた「寝屋川市民憲章」では、日本国憲法に精神にしたがい、その崇高な理想のもとに、恒久の平和を念願している。

我が国は、世界唯一の核被爆国として、核兵器廃絶と全面軍縮に積極的な役割を果たすべきであり、平和なくしては、自治の精神の下、明るく豊かに生きがいのあるまちづくりは保障されない。

よって、寝屋川市は、市民憲章の誇りと責任をもって恒久の平和を愛する人びとの住みまちとして、あらゆる国の戦争と核兵器廃絶を求め、ここに「非核平和都市」を宣言する。



▲寝屋川市 「平和の塔」 初本町公園



▲ 寝屋川市「被爆 50 周年植樹記念碑」
初本町公園（桜）

寝屋川市
「広報ねやがわ」で戦後 60 年平和
祈念事業「平和を考える市民のつどい」
を市民に広報しています

3 第1098号 広報ねやがわ

戦後60年平和祈念事業
平和を考える市民のつどい

○日時 ①7月15日(金) (1)午前10時
(2)午後2時②16日(土) (3)午
後2時(4)午後8時(別冊は各
30分まで)

○場所 市立中央公民館講堂(社田西
町28番22号市立総合センター)

○映画 (1)TOMORROW明日(2)美
しい夏キリシマ(3)父と暮ら
せば

※(2)(3)(4)…字幕あります。
○定員 各430人(申込順)
○参加費 無料
○一時保育く1歳～就学まえの子ども
10人(申込順、7月1日(金)ま
でに予約を)。
申込 6月20日(月)から電話または
ファクス(希望映画、氏名、電話番号
を書く、1件につき3人まで可)で入
権文化課(ファクス825・2637)
問合せ 入権文化課

**戦争レクイエム
3部作上映会**

7月16日(土)

7月15日(金)

7月16日(土)

7月17日(日)

7月18日(月)

7月19日(火)

7月20日(水)

7月21日(木)

7月22日(金)

7月23日(土)

7月24日(日)

7月25日(月)

7月26日(火)

7月27日(水)

7月28日(木)

7月29日(金)

7月30日(土)

7月31日(日)

8月1日(月)

8月2日(火)

8月3日(水)

8月4日(木)

8月5日(金)

8月6日(土)

8月7日(日)

8月8日(月)

8月9日(火)

8月10日(水)

8月11日(木)

8月12日(金)

8月13日(土)

8月14日(日)

8月15日(月)

8月16日(火)

8月17日(水)

8月18日(木)

8月19日(金)

8月20日(土)

8月21日(日)

8月22日(月)

8月23日(火)

8月24日(水)

8月25日(木)

8月26日(金)

8月27日(土)

8月28日(日)

8月29日(月)

8月30日(火)

8月31日(水)

9月1日(木)

9月2日(金)

9月3日(土)

9月4日(日)

9月5日(月)

9月6日(火)

9月7日(水)

9月8日(木)

9月9日(金)

9月10日(土)

9月11日(日)

9月12日(月)

9月13日(火)

9月14日(水)

9月15日(木)

9月16日(金)

9月17日(土)

9月18日(日)

9月19日(月)

9月20日(火)

9月21日(水)

9月22日(木)

9月23日(金)

9月24日(土)

9月25日(日)

9月26日(月)

9月27日(火)

9月28日(水)

9月29日(木)

9月30日(金)

10月1日(土)

10月2日(日)

10月3日(月)

10月4日(火)

10月5日(水)

10月6日(木)

10月7日(金)

10月8日(土)

10月9日(日)

10月10日(月)

10月11日(火)

10月12日(水)

10月13日(木)

10月14日(金)

10月15日(土)

10月16日(日)

10月17日(月)

10月18日(火)

10月19日(水)

10月20日(木)

10月21日(金)

10月22日(土)

10月23日(日)

10月24日(月)

10月25日(火)

10月26日(水)

10月27日(木)

10月28日(金)

10月29日(土)

10月30日(日)

10月31日(月)

11月1日(火)

11月2日(水)

11月3日(木)

11月4日(金)

11月5日(土)

11月6日(日)

11月7日(月)

11月8日(火)

11月9日(水)

11月10日(木)

11月11日(金)

11月12日(土)

11月13日(日)

11月14日(月)

11月15日(火)

11月16日(水)

11月17日(木)

11月18日(金)

11月19日(土)

11月20日(日)

11月21日(月)

11月22日(火)

11月23日(水)

11月24日(木)

11月25日(金)

11月26日(土)

11月27日(日)

11月28日(月)

11月29日(火)

11月30日(水)

12月1日(木)

12月2日(金)

12月3日(土)

12月4日(日)

12月5日(月)

12月6日(火)

12月7日(水)

12月8日(木)

12月9日(金)

12月10日(土)

12月11日(日)

12月12日(月)

12月13日(火)

12月14日(水)

12月15日(木)

12月16日(金)

12月17日(土)

12月18日(日)

12月19日(月)

12月20日(火)

12月21日(水)

12月22日(木)

12月23日(金)

12月24日(土)

12月25日(日)

12月26日(月)

12月27日(火)

12月28日(水)

12月29日(木)

12月30日(金)

12月31日(土)

1月1日(日)

1月2日(月)

1月3日(火)

1月4日(水)

1月5日(木)

1月6日(金)

1月7日(土)

1月8日(日)

1月9日(月)

1月10日(火)

1月11日(水)

1月12日(木)

1月13日(金)

1月14日(土)

1月15日(日)

1月16日(月)

1月17日(火)

1月18日(水)

1月19日(木)

1月20日(金)

1月21日(土)

1月22日(日)

1月23日(月)

1月24日(火)

1月25日(水)

1月26日(木)

1月27日(金)

1月28日(土)

1月29日(日)

1月30日(月)

1月31日(火)

2月1日(水)

2月2日(木)

2月3日(金)

2月4日(土)

2月5日(日)

2月6日(月)

2月7日(火)

2月8日(水)

2月9日(木)

2月10日(金)

2月11日(土)

2月12日(日)

2月13日(月)

2月14日(火)

2月15日(水)

2月16日(木)

2月17日(金)

2月18日(土)

2月19日(日)

2月20日(月)

2月21日(火)

2月22日(水)

2月23日(木)

2月24日(金)

2月25日(土)

2月26日(日)

2月27日(月)

2月28日(火)

2月29日(水)

3月1日(木)

3月2日(金)

3月3日(土)

3月4日(日)

3月5日(月)

3月6日(火)

3月7日(水)

3月8日(木)

3月9日(金)

3月10日(土)

3月11日(日)

3月12日(月)

3月13日(火)

3月14日(水)

3月15日(木)

3月16日(金)

3月17日(土)

3月18日(日)

3月19日(月)

3月20日(火)

3月21日(水)

3月22日(木)

3月23日(金)

3月24日(土)

3月25日(日)

3月26日(月)

3月27日(火)

3月28日(水)

3月29日(木)

3月30日(金)

3月31日(土)

4月1日(日)

4月2日(月)

4月3日(火)

4月4日(水)

4月5日(木)

4月6日(金)

4月7日(土)

4月8日(日)

4月9日(月)

4月10日(火)

4月11日(水)

4月12日(木)

4月13日(金)

4月14日(土)

4月15日(日)

4月16日(月)

4月17日(火)

4月18日(水)

4月19日(木)

4月20日(金)

4月21日(土)

4月22日(日)

4月23日(月)

4月24日(火)

4月25日(水)

4月26日(木)

4月27日(金)

4月28日(土)

4月29日(日)

4月30日(月)

5月1日(火)

5月2日(水)

5月3日(木)

5月4日(金)

5月5日(土)

5月6日(日)

5月7日(月)

5月8日(火)

5月9日(水)

5月10日(木)

5月11日(金)

5月12日(土)

5月13日(日)

5月14日(月)

5月15日(火)

5月16日(水)

5月17日(木)

5月18日(金)

5月19日(土)

5月20日(日)

5月21日(月)

5月22日(火)

5月23日(水)

5月24日(木)

5月25日(金)

5月26日(土)

5月27日(日)

5月28日(月)

5月29日(火)

5月30日(水)

5月31日(木)

6月1日(金)

6月2日(土)

6月3日(日)

6月4日(月)

6月5日(火)

6月6日(水)

6月7日(木)

6月8日(金)

6月9日(土)

6月10日(日)

6月11日(月)

6月12日(火)

6月13日(水)

6月14日(木)

6月15日(金)

6月16日(土)

6月17日(日)

6月18日(月)

6月19日(火)

6月20日(水)

6月21日(木)

6月22日(金)

6月23日(土)

6月24日(日)

6月25日(月)

6月26日(火)

6月27日(水)

6月28日(木)

6月29日(金)

6月30日(土)

7月1日(日)

7月2日(月)

7月3日(火)

7月4日(水)

7月5日(木)

7月6日(金)

7月7日(土)

7月8日(日)

7月9日(月)

7月10日(火)

7月11日(水)

7月12日(木)

7月13日(金)

7月14日(土)

7月15日(日)

7月16日(月)

7月17日(火)

7月18日(水)

7月19日(木)

7月20日(金)

7月21日(土)

7月22日(日)

7月23日(月)

7月24日(火)

7月25日(水)

7月26日(木)

7月27日(金)

7月28日(土)

7月29日(日)

7月30日(月)

7月31日(火)

8月1日(水)

8月2日(木)

8月3日(金)

8月4日(土)

8月5日(日)

8月6日(月)

8月7日(火)

8月8日(水)

8月9日(木)

8月10日(金)

8月11日(土)

8月12日(日)

8月13日(月)

8月14日(火)

8月15日(水)

8月16日(木)

8月17日(金)

8月18日(土)

8月19日(日)

8月20日(月)

8月21日(火)

8月22日(水)

8月23日(木)

8月24日(金)

8月25日(土)

8月26日(日)

8月27日(月)

8月28日(火)

8月29日(水)

8月30日(木)

8月31日(金)

9月1日(土)

9月2日(日)

9月3日(月)

9月4日(火)

9月5日(水)

9月6日(木)

9月7日(金)

9月8日(土)

9月9日(日)

9月10日(月)

9月11日(火)

9月12日(水)

9月13日(木)

9月14日(金)

9月15日(土)

9月16日(日)

9月17日(月)

9月18日(火)

9月19日(水)

9月20日(木)

9月21日(金)

9月22日(土)

9月23日(日)

9月24日(月)

9月25日(火)

9月26日(水)

9月27日(木)

9月28日(金)

9月29日(土)

9月30日(日)

10月1日(月)

10月2日(火)

10月3日(水)

10月4日(木)

10月5日(金)

10月6日(土)

10月7日(日)

10月8日(月)

10月9日(火)

10月10日(水)

10月11日(木)

10月12日(金)

10月13日(土)

10月14日(日)

10月15日(月)

10月16日(火)

10月17日(水)

10月18日(木)

10月19日(金)

10月20日(土)

10月21日(日)

10月22日(月)

10月23日(火)

10月24日(水)

10月25日(木)

10月26日(金)

10月27日(土)

10月28日(日)

10月29日(月)

10月30日(火)

10月31日(水)

11月1日(木)

11月2日(金)

11月3日(土)

11月4日(日)

11月5日(月)

11月6日(火)

11月7日(水)

11月8日(木)

11月9日(金)

11月10日(土)

11月11日(日)

11月12日(月)

11月13日(火)

11月14日(水)

11月15日(木)

11月16日(金)

11月17日(土)

11月18日(日)

11月19日(月)

11月20日(火)

11月21日(水)

11月22日(木)

11月23日(金)

11月24日(土)

11月25日(日)

11月26日(月)

11月27日(火)

11月28日(水)

11月29日(木)

11月30日(金)

12月1日(土)

12月2日(日)

12月3日(月)

12月4日(火)

12月5日(水)

12月6日(木)

12月7日(金)

12月8日(土)

12月9日(日)

12月10日(月)

12月11日(火)

12月12日(水)

12月13日(木)

12月14日(金)

12月15日(土)

12月16日(日)

12月17日(月)

12月18日(火)

12月19日(水)

12月20日(木)

12月21日(金)

12月22日(土)

12月23日(日)

12月24日(月)

12月25日(火)

12月26日(水)

12月27日(木)

12月28日(金)

12月29日(土)

12月30日(日)

12月31日(月)

1月1日(火)

1月2日(水)

1月3日(木)

1月4日(金)

1月5日(土)

1月6日(日)

1月7日(月)

1月8日(火)

1月9日(水)

1月10日(木)

1月11日(金)

1月12日(土)

1月13日(日)

1月14日(月)

1月15日(火)

1月16日(水)

1月17日(木)

1月18日(金)

1月19日(土)

1月20日(日)

1月21日(月)

1月22日(火)

1月23日(水)

1月24日(木)

1月25日(金)

1月26日(土)

1月27日(日)

1月28日(月)

1月29日(火)

1月30日(水)

1月31日(木)

2月1日(金)

2月2日(土)

2月3日(日)

2月4日(月)

2月5日(火)

2月6日(水)

2月7日(木)

2月8日(金)

2月9日(土)

2月10日(日)

2月11日(月)

2月12日(火)

2月13日(水)

2月14日(木)

2月15日(金)

2月16日(土)

2月17日(日)

2月18日(月)

2月19日(火)

2月20日(水)

2月21日(木)

2月22日(金)

2月23日(土)

2月24日(日)

2月25日(月)

2月26日(火)

2月27日(水)

2月28日(木)

2月29日(金)

3月1日(土)

3月2日(日)

3月3日(月)

3月4日(火)

3月5日(水)

3月6日(木)

3月7日(金)

3月8日(土)

3月9日(日)

3月10日(月)

3月11日(火)

3月12日(水)

3月13日(木)

3月14日(金)

3月15日(土)

3月16日(日)

3月17日(月)

3月18日(火)

3月19日(水)

3月20日(木)

3月21日(金)

3月22日(土)

3月23日(日)

3月24日(月)

3月25日(火)

3月26日(水)

3月27日(木)

3月28日(金)

3月29日(土)

3月30日(日)

3月31日(月)

4月1日(火)

4月2日(水)

4月3日(木)

4月4日(金)

4月5日(土)

4月6日(日)

4月7日(月)

4月8日(火)

4月9日(水)

4月10日(木)

4月11日(金)

4月12日(土)

4月13日(日)

4月14日(月)

4月15日(火)

4月16日(水)

4月17日(木)

4月18日(金)

4月19日(土)

4月20日(日)

4月21日(月)

4月22日(火)

4月23日(水)

4月24日(木)

4月25日(金)

4月26日(土)

4月27日(日)

4月28日(月)

4月29日(火)

4月30日(水)

4月31日(木)

5月1日(金)

5月2日(土)

5月3日(日)

5月4日(月)

5月5日(火)

5月6日(水)

5月7日(木)

5月8日(金)

5月9日(土)

5月10日(日)

5月11日(月)

5月12日(火)

5月13日(水)

5月14日(木)

5月15日(金)

5月16日(土)

5月17日(日)

5月18日(月)

5月19日(火)

5月20日(水)

5月21日(木)

5月22日(金)

5月23日(土)

5月24日(日)

5月25日(月)

5月26日(火)

5月27日(水)

5月28日(木)

5月29日(金)

5月30日(土)

5月31日(日)

6月1日(月)

6月2日(火)

6月3日(水)

6月4日(木)

6月5日(金)

6月6日(土)

6月7日(日)

6月8日(月)

6月9日(火)

6月10日(水)

6月11日(木)

6月12日(金)

6月13日(土)

6月14日(日)

6月15日(月)

6月16日(火)

6月17日(水)

6月18日(木)

6月19日(金)

6月20日(土)

6月21日(日)

6月22日(月)

6月23日(火)

6月24日(水)

6月25日(木)

6月26日(金)

6月27日(土)

6月28日(日)

6月29日(月)

6月30日(火)

6月31日(水)

7月1日(木)

7月2日(金)

7月3日(土)

7月4日(日)

7月5日(月)

7月6日(火)

7月7日(水)

7月8日(木)

7月9日(金)

7月10日(土)

7月11日(日)

7月12日(月)

7月13日(火)

7月14日(水)

7月15日(木)

7月16日(金)

7月17日(土)

7月18日(日)

7月19日(月)

7月20日(火)

7月21日(水)

7月22日(木)

7月23日(金)

7月24日(土)

7月25日(日)

7月26日(月)

7月27日(火)

7月28日(水)

7月29日(木)

7月30日(金)

7月31日(土)

8月1日(日)

8月2日(月)

8月3日(火)

8月4日(水)

8月5日(木)

8月6日(金)

8月7日(土)

8月8日(日)

8月9日(月)

8月10日(火)

8月11日(水)

8月12日(木)

8月13日(金)

8月14日(土)

8月15日(日)

8月16日(月)

8月17日(火)

8月18日(水)

8月19日(木)

8月20日(金)

8月21日(土)

8月22日(日)

8月23日(月)

8月24日(火)

8月25日(水)

8月26日(木)

8月27日(金)

8月28日(土)

8月29日(日)

8月30日(月)

8月31日(火)

9月1日(水)

9月2日(木)

9月3日(金)

9月4日(土)

9月5日(日)

9月6日(月)

9月7日(火)

9月8日(水)

9月9日(木)

9月10日(金)

9月11日(土)

9月12日(日)

9月13日(月)

9月14日(火)

9月15日(水)

9月16日(木)

9月17日(金)

9月18日(土)

9月19日(日)

9月20日(月)

9月21日(火)

9月22日(水)

9月23日(木)

9月24日(金)

9月25日(土)

9月26日(日)

9月27日(月)

9月28日(火)

9月29日(水)

9月30日(木)

9月31日(金)

10月1日(土)

10月2日(日)

10月3日(月)

10月4日(火)

10月5日(水)

10月6日(木)

10月7日(金)

10月8日(土)

10月9日(日)

10月10日(月)

10月11日(火)

10月12日(水)

10月13日(木)

10月14日(金)

10月15日(土)

10月16日(日)

10月17日(月)

10月18日(火)

10月19日(水)

10月20日(木)

10月21日(金)

10月22日(土)

10月23日(日)

10月24日(月)

10月25日(火)

10月26日(水)

10月27日(木)

10月28日(金)

10月29日(土)

10月30日(日)

10月31日(月)

11月1日(火)

11月2日(水)

11月3日(木)

11月4日(金)

11月5日(土)

11月6日(日)

11月7日(月)

11月8日(火)

11月9日(水)

11月10日(木)

11月11日(金)

11月12日(土)

11月13日(日)

11月14日(月)

11月15日(火)

11月16日(水)

11月17日(木)

11月18日(金)

11月19日(土)

11月20日(日)

11月21日(

わが町の非核・平和のデータガイドブック(被爆60年版)

| | | | | | | | |
|--|--|-----------------|------------------|------------------------|-----|--------------|--|
| 自治体概要 | 自治体名 | 河内長野市 | 役所所在地 | 河内長野市原町一丁目1番1号 | | | |
| | 人口 | 120125 | 最寄駅 | 南海高野線「河内長野」駅 近鉄「河内長野」駅 | | | |
| | 担当課 | 人権推進室 | 電話 | 0721-53-1111 | FAX | 0721-55-1435 | |
| 【1】非核平和都市宣言 | 宣言主体 | 宣言年月 | 宣言名 | | | | |
| | 市町村 | | | | | | |
| | 議会 | 1984.9 | 非核平和都市宣言 | | | | |
| 【2】被爆者援護関係 | 被爆者人数 | 109 | 被爆者 | ※未受給者 7人 | | | |
| | 認定被爆者 | 1 | 援護施策 | | | | |
| | 被爆者団体 | | | | | | |
| 【3】非核・平和に関する決議・意見書採択 | 採択主体 | 採択年月日 | 採択決議・意見書 | | | | |
| | 議会 | 1984. 9. 28 | 「非核平和都市宣言」に関する決議 | | | | |
| | | | | | | | |
| 【4】非核・平和施策 | 非核都市宣言自治体連絡協議会 | | | 未加盟 | | | |
| | 非核平和市民啓蒙・広報施策 | 非核平和関連資料館(常設) | | 名称 | | | |
| | | | | 所在地 | | | |
| | | 非核平和視聴覚教材・図書 | | | | | |
| | | 貸出料金 | 有料 | 貸出機関 | | | |
| | | | 無料 | 貸出機関 河内長野市・河内長野人権協会 | | | |
| | 【視聴覚教材・図書】 | | | | | | |
| *ビデオ「戦争の傷あと」外21本 | | | | | | | |
| *図書「被爆の証言」「広島・長崎」外16冊 | | | | | | | |
| 【広報施策】 HP: http://www.city.kawachinagano.osaka.jp/ | | | | | | | |
| *広報8月号に非核平和特集 | | | | | | | |
| 非核平和施策 | 【取組み・行事】 | | | | | | |
| | □2005年河内長野市「愛・いのち・平和展」(ラブリホール 7/25~8/4) 私の戦争体験談~戦後60年 永久の平和を願って~ 「戦時中の生活展」 戦後60年企画「市民の戦時品と私の戦争体験記」 ビデオ上映「体験者が語る空襲の証言」 平和図書コーナー フィルム「映像で見る昭和の歴史シリーズ 太平洋戦争の記録」 *市民まつり(5/8) 展示啓発ブース・広島長崎パネル展示など *夏休み子ども平和施設見学(ピースおおさか 8/23) | | | | | | |
| 【5】国際友好施策 | 友好・姉妹都市 | カメル市(米国) | | | | | |
| | 友好・連帯取組み | 訪問団の受入、派遣及び交流事業 | | | | | |
| 【6】市民団体の非核平和の取組み | | | | | | | |

※未受給者＝認定被爆者支給の医療特別手当や未認定者の健康管理手当などの支給のない被爆者、

河内長野市「非核平和都市宣言」に関する決議

真の恒久平和と安全は、人類共通の願望である。

しかしながら、近年世界において軍備の拡張は依然として続けられ、地球を滅亡させる核戦争の危機に深刻な脅威を与えている。

我が国は、世界で唯一の核被爆国として、全世界から永久に核兵器を追放するために全力を注ぎ、再びその惨禍を絶対に繰り返させてはならない。

わが河内長野市においても日本国憲法に掲げられた恒久平和主義の理念を市民生活の中に生かし、継承させていくことが、地方自治の基本条件の一つであり、これがなくては緑の健康都市を標榜し、河内長野市民憲章のめざすよりよき社会環境は望めない。

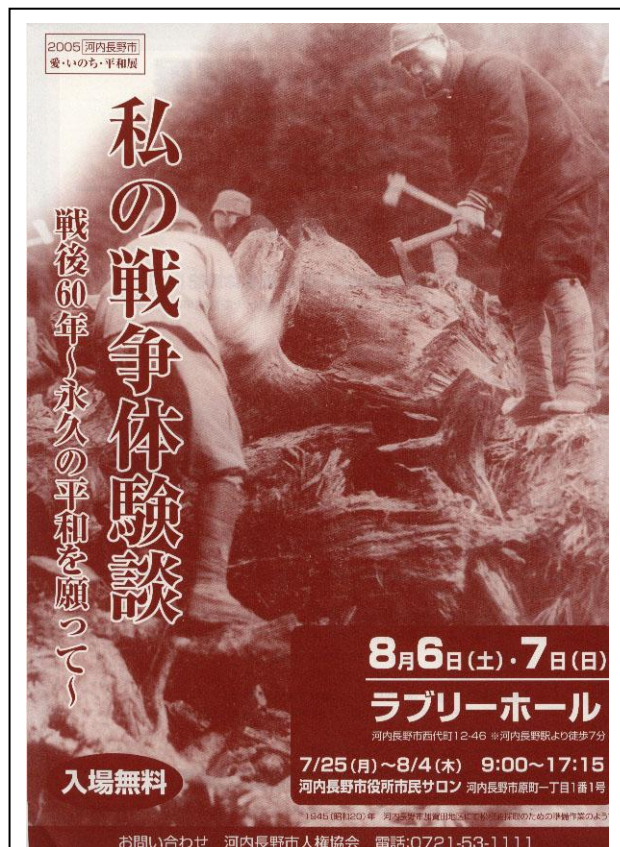
よって、河内長野市は市民総意のもと、政府に対し国是である非核三原則（作らず、持たず、持ち込ませず）の厳守を求めるとともに、あらゆる国のあらゆる核兵器も拒否し、全世界に核兵器の廃絶を強く訴え、ここに非核平和都市となることを宣言する。

以上決議する。

1984年9月28日 河内長野市議会



▲河内長野市「非核平和宣言都市」標柱
市役所前



▲河内長野市 「戦後60年〜永久の平和を願って〜」をテーマに「2005 愛・いのち・平和展」のチラシ

わが町の非核・平和のデータガイドブック(被爆60年版)

| | | | | | | | |
|---|---|---------------|--------------------|---------------|-----|--------------|--|
| 自治体概要 | 自治体名 | 松原市 | 役所所在地 | 松原市阿保1-1-1 | | | |
| | 人口 | 129493 | 最寄駅 | 近鉄南大阪線「河内松原」駅 | | | |
| | 担当課 | 総務課 | 電話 | 072-337-3128 | FAX | 072-334-7870 | |
| 【1】非核平和都市宣言 | 宣言主体 | 宣言年月 | 宣言名 | | | | |
| | 市町村 | 昭60. 8. 15 | 非核平和都市宣言 | | | | |
| | 議会 | | | | | | |
| 【2】被爆者援護関係 | 被爆者人数 | 112 | 被爆者援護施策 | ※未受給者 19人 | | | |
| | 認定被爆者 | 1 | | | | | |
| | 被爆者団体 | | | | | | |
| 【3】非核・平和に関する決議・意見書採択 | 採択主体 | 採択年月日 | 採択決議・意見書 | | | | |
| | 議会 | 昭59. 6. 28 | 「非核平和都市宣言」に関する議会決議 | | | | |
| | | | | | | | |
| 【4】非核・平和施策 | 非核都市宣言自治体連絡協議会 | | | 未加盟 | | | |
| | 非核平和市民啓蒙・広報施策 | 非核平和関連資料館(常設) | | 名称 | | | |
| | | | | 所在地 | | | |
| | | 非核平和視聴覚教材・図書 | | | | | |
| | | 貸出料金 | 有料 | 貸出機関 | | | |
| | | | 無料 | 貸出機関 | | | |
| | | 【視聴覚教材・図書】 | | | | | |
| 【広報施策】 HP: http://www.city.matsubara.osaka.jp/index.cfm * 市内公共施設に「非核平和都市宣言」看板設置 | | | | | | | |
| 非核平和施策 | 【取組み・行事】 | | | | | | |
| | * 市庁舎1階ロビー「非核平和展」(8/6前後1週間) 「戦時下の小さな働き手たち」展示 学童疎開のパネル展示 「市民が描いた原爆の絵」パネル展示 | | | | | | |
| 【5】国際友好施策 | 友好・姉妹都市 | | | | | | |
| | 友好・連帯取組み | | | | | | |
| 【6】市民団体の非核平和の取組み | | | | | | | |

※未受給者＝認定被爆者支給の医療特別手当や未認定者の健康管理手当などの支給のない被爆者、

松原市 「非核平和都市宣言」に関する決議

世界の恒久平和は、全人類の願望である。

しかるに近年の世界における核軍拡は、とどまるところを知らず、世界平和に深刻な脅威をもたらしていることは、全人類の等しく憂えるところである。

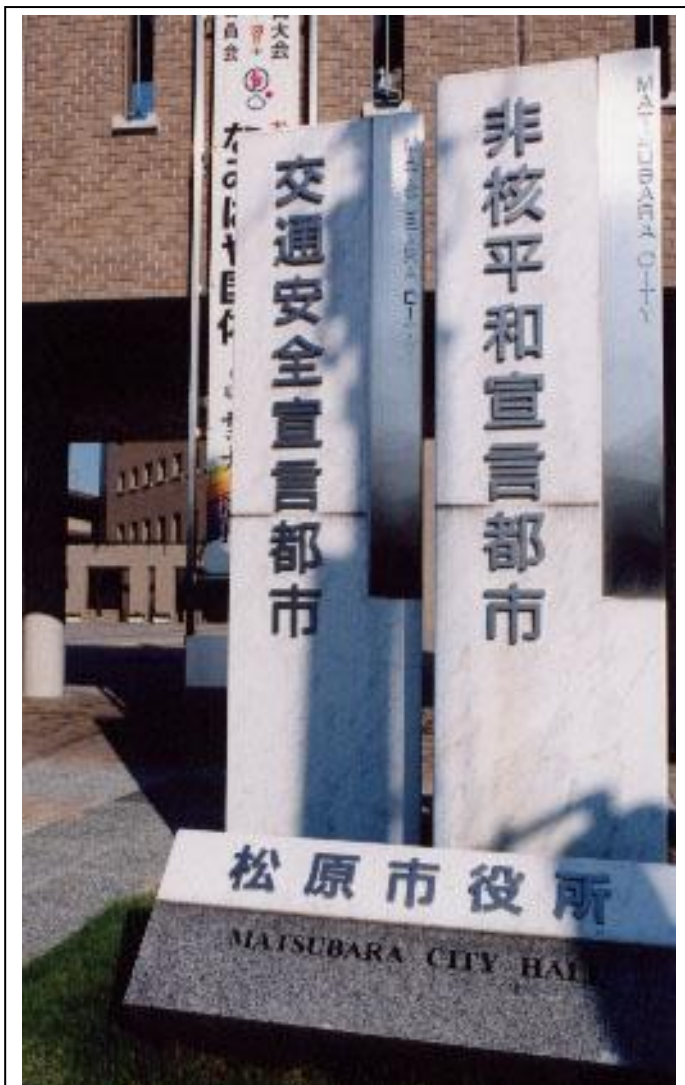
とくに、我が国は世界最初の核被爆国として、再びその惨禍を絶対に繰り返させてはならない。

わが松原市は、日本国憲法に掲げる恒久平和主義の理念を、松原市民生活の中に、はぐくみ継承させていくことが地方自治の基本条件の一つである。

したがって、松原市は「非核三原則」（作らず・持たず・持ち込ませず）の厳守を政府に強く要望するとともに、市民に対し核兵器廃絶の啓蒙活動を行いつつ、核兵器の廃絶を全世界に向かって訴え、ここに本市を「非核平和都市」とすることを宣言する。

以上決議する。

1984年6月28日 松原市議会



▲ 松原市 「非核平和宣言都市」標柱
市役所前



▲ 「少女像」 中央公園

わが町の非核・平和のデータガイドブック(被爆60年版)

| | | | | | | | |
|---|--|---------------|-------------|----------------|-----|--------------|--|
| 自治体概要 | 自治体名 | 大東市 | 役所所在地 | 大東市谷川1-1-1 | | | |
| | 人口 | 128867 | 最寄駅 | JR学研都市線「住道」駅 | | | |
| | 担当課 | 啓発推進課 | 電話 | 072-870-9061 | FAX | 072-870-0907 | |
| 【1】非核平和都市宣言 | 宣言主体 | 宣言年月 | 宣言名 | | | | |
| | 市町村 | 1983年 | 大東市非核平和都市宣言 | | | | |
| | 議会 | | | | | | |
| 【2】被爆者援護関係 | 被爆者人数 | 129 | 被爆者援護施策 | 大東市原爆被害者の会への補助 | | | |
| | 認定被爆者 | 0 | | | | | |
| | 被爆者団体 | 大東市原爆被害者の会 | | ※未受給者 12人 | | | |
| 【3】非核・平和に関する決議・意見書採択 | 採択主体 | 採択年月日 | 採択決議・意見書 | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 【4】非核・平和施策 | 非核都市宣言自治体連絡協議会 | | | 加盟 | | | |
| | 非核平和市民啓蒙・広報施策 | 非核平和関連資料館(常設) | | 名称 | | | |
| | | | | 所在地 | | | |
| | | 非核平和視聴覚教材・図書 | | | | | |
| | | 貸出料金 | 有料 | 貸出機関 | | | |
| | | | 無料 | 貸出機関 啓発推進課 | | | |
| | 【視聴覚教材・図書】 *「広島長崎からの伝言」他多数 | | | | | | |
| 【広報施策】 HP: http://www.city.daito.osaka.jp/ * 広報誌による非核平和に関する記事掲載 * 原爆死没者の慰霊ならびに平和祈念の黙祷呼びかけ | | | | | | | |
| 非核平和施策 | 【取組み・行事】 * 市内小学校を中心に被爆体験の語り部を実施 * 「忘れない伝えたいヒロシマ平和バスツアー」(8/5~6) 平和バスツアー向けの「折り鶴」コーナーを市内各施設に設置 * 「親と子で平和を考えるつどい」アニメ映画「ガラスのうさぎ」(8/14) * 平和パネル展(9/22~28)「イラク・アフガン・パレスチナ自分たちで創る100ヶ所リレー展」 | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 【5】国際友好施策 | 友好・姉妹都市 | | | | | | |
| | 友好・連帯取組み | | | | | | |
| 【6】市民団体の非核平和の取組み | | | | | | | |

※未受給者＝認定被爆者支給の医療特別手当や未認定者の健康管理手当などの支給のない被爆者、

大東市 非核平和都市宣言

1983年9月28日 大東市

恒久の平和と安全は、人類共通の願いである。

しかるに、核軍備の拡張は依然として行われ、人類の生存に深刻な脅威を与えている。

私たちは、世界唯一の被爆国民として平和を希求する日本国憲法の精神に則り、全人類が戦争の恐怖と経済的欠乏を免れ、平和のうちに生存する権利を有することを自覚し、あらゆる国の戦争と核兵器の廃絶を強く訴えるとともに、この人類普遍の大義に向かって不断の努力を続けることを決議する。

よって、大東市は、ここに「非核平和都市」となることを宣言する。



▲大東市 「非核平和都市宣言」標柱
市民会館前



▲「和」広島旧市庁舎被爆石と長崎浦上天
主堂被爆レンガ 市民文化会館前



大東市
「非核平和都市宣言」
パネル 市役所前

わが町の非核・平和のデータガイドブック(被爆60年版)

| | | | | | | |
|---|--|-------------------------|--------------|----------------|-------|--------------|
| 自治体概要 | 自治体名 | 和泉市 | 役所所在地 | 和泉市府中町二丁目7番5号 | | |
| | 人口 | 182061 | 最寄駅 | JR阪和線「和泉府中」駅 | | |
| | 担当課 | 人権国際課 | 電話 | 0725-41-1551 | FAX | 0725-45-3128 |
| 【1】非核平和都市宣言 | 宣言主体 | 宣言年月 | 宣言名 | | | |
| | 市町村議会 | 昭58年12月 | 核兵器廃絶・平和都市宣言 | | | |
| | | | | | | |
| 【2】被爆者援護関係 | 被爆者人数 | 109 | 被爆者援護施策 | 和泉市原爆被害者の会への補助 | | |
| | 認定被爆者 | 2 | | | | |
| | 被爆者団体 | 和泉市原爆被害者の会 | | ※未受給者 10人 | | |
| 【3】非核・平和に関する決議・意見書採択 | 採択主体 | 採択年月日 | 採択決議・意見書 | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| 【4】非核・平和施策 | 非核都市宣言自治体連絡協議会 | | | 未加盟 | | |
| | 非核平和市民啓蒙・広報施策 | 非核平和関連資料館(常設) | | 名称 | | |
| | | | | 所在地 | | |
| | | 非核平和視聴覚教材・図書 | | | | |
| | | 貸出料金 | 有料 | 貸出機関 | | |
| | | | 無料 | 貸出機関 | 人権国際課 | |
| | 【視聴覚教材・図書】 *「戦争の傷あと」など45本 目録が作成 | | | | | |
| 【広報施策】 HP: http://www.city.izumi.osaka.jp/ 広報紙「いずみ」随時掲載 とくに「8月号」には「広島・長崎の原爆、終戦記念日」を掲載 | | | | | | |
| 非核平和施策 | 【取組み・行事】 * 平和のシンボル「アンネのバラ」植樹 * 平和千羽鶴展 * 人権平和展 * 平和と人権を考える市民研修会 * 平和映画会 * 市民平和バスツアー | | | | | |
| 【5】国際友好施策 | 友好・姉妹都市 | 南通市(中国) ブル・ミントン市(米国) | | | | |
| | 友好・連帯取組み | 教育・文化・スポーツなど幅広い分野で交流 | | | | |
| 【6】市民団体の非核平和の取組み | 市の人権平和事業に賛同する個人(公募及び委員の推薦)で構成し、人権平和に関するさまざまな事業の実施を通じ市民啓蒙を図る。(実行委員20名、人権課長が入り副会長を務める) | | | | | |

※未受給者＝認定被爆者支給の医療特別手当や未認定者の健康管理手当などの支給のない被爆者、

和泉市 核兵器廃絶・平和都市宣言

1983年12月21日 和泉市

真の恒久的な平和は、人類共通の願いである。

しかるに、果てしない軍備拡張競争が世界の平和に深刻な脅威をもたらしていることは全人類のひとしく憂えるところである。

わが国は、世界で最初の核被爆国であり、再び「広島や長崎」の惨禍を繰り返させてはならない。

和泉市は、差別をなくし人権を守ることこそが平和に通じるものであることを認識し、人権を尊び心のふれあいを広めるまちづくりをすすめている。

平和を愛する私達のまちとして市民総意のもと、非核三原則の堅持と軍備縮小を訴え、ここに和泉市は全世界から核兵器廃絶を願う平和都市であることを宣言する。



▲ 和泉市 「核兵器廃絶・平和宣言都市」標柱
市役所前



和泉市 市役所前
「平和祈念像」と
被爆石

わが町の非核・平和のデータガイドブック(被爆60年版)

| | | | | | | | |
|--|--|---|-------------|---|-----|--------------|--|
| 自治体概要 | 自治体名 | 箕面市 | 役所所在地 | 箕面市西小路4-6-1 | | | |
| | 人口 | 125239 | 最寄駅 | 阪急箕面線「牧落」駅 | | | |
| | 担当課 | 人権政策課 | 電話 | 072-724-6768 | FAX | 072-721-9907 | |
| 【1】非核平和都市宣言 | 宣言主体 | 宣言年月 | 宣言名 | | | | |
| | 市町村 | 昭60年3月 | 箕面市非核平和都市宣言 | | | | |
| | 議会 | | | | | | |
| 【2】被爆者 援護関係 | 被爆者人数 | 155 | 被爆者 援護施策 | 大阪府が年2回実施する健康診断を受信する 市内在住の被爆者への奨励金支給 | | | |
| | 認定被爆者 | 1 | | | | | |
| | 被爆者団体 | 箕面市原爆被害者の会 | | ※未受給者 16人 | | | |
| 【3】非核・ 平和に関する 決議・意見書採択 | 採択主体 | 採択年月日 | 採択決議・意見書 | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 【4】非核・ 平和施策 | 非核都市宣言自治体連絡協議会 | | | 加盟 | | | |
| | 非核平和 市民啓蒙・ 広報施策 | 非核平和関連資料館(常設) | | 名称 | | | |
| | | | | 所在地 | | | |
| | | 非核平和視聴覚教材・図書 | | | | | |
| | | 貸出料金 | 有料 | 貸出機関 | | | |
| | | | 無料 | 貸出機関 | | | |
| | | 【視聴覚教材・図書】 | | | | | |
| 【広報施策】 HP: http://www.city.minoh.osaka.jp/ HP上に「人権・市民活動」のなかに「平和施策」項あり | | | | | | | |
| 非核平和施 策 | 【取組み・行事】 | | | | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> * 反核平和の火リレー、原水爆禁止国民平和大行進、非核・平和行進の受入 * 平和に関する庁内放送(8/6・9、8/15) * 核実験に対する抗議 <input type="checkbox"/> 戦後60周年平和推進事業 戦時生活資料展、公開講座「軍国少年だった日々～中学生の戦時体験と大阪大空襲～」 ”戦後60年を考える”へいわ21パネル展 「戦争と平和」パネル展 | | | | | | |
| 【5】国際友 好施策 | 友好・姉妹都市 | 国際交流都市:ハット市(ニュージーランド) 友好都市:クエルナバカ市(メキシコ) | | | | | |
| | 友好・連帯 取組み | <ul style="list-style-type: none"> * 中高校生の訪問派遣 * 学生を受入、日本語・日本文化の修得を支援し、市民との交流を通じて友好親善促進 | | | | | |
| 【6】市民団 体の非核平 和の取組み | <ul style="list-style-type: none"> * ピースサイクリング実行委員会 * ピーストレイン実行委員会 * みのお9条の会 * 平和市実行委員会 | | | | | | |

※未受給者＝認定被爆者支給の医療特別手当や未認定者の健康管理手当などの支給のない被爆者、

箕面市 箕面市非核平和都市宣言

1985年3月28日 箕面市

真の恒久平和は、人類共通の願いである。

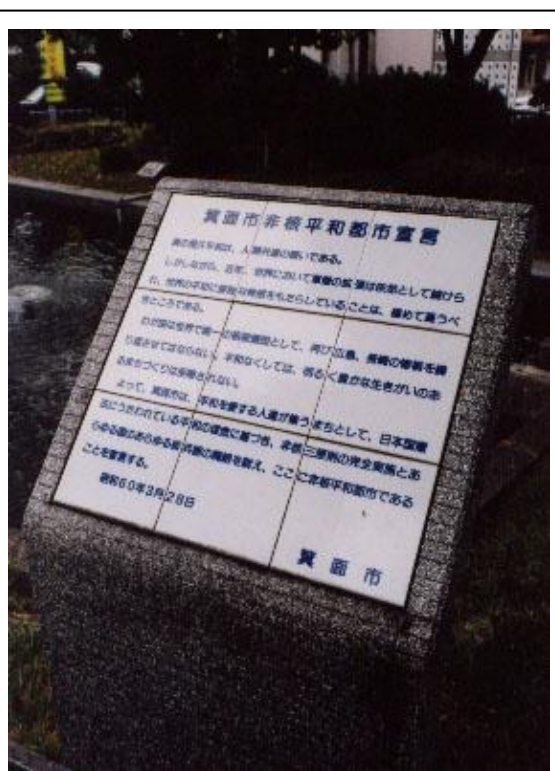
しかしながら、近年、世界において軍備の拡張は依然として続けられ、世界の平和に深刻な脅威をもたらしていることは、極めて憂うべきところである。

我が国は世界で唯一の核被爆国として、再び広島、長崎の惨禍を繰り返させてはならない。平和なくしては、明るく豊かな生きがいのあるまちづくりは保障されない。

よって箕面市は、平和を愛する人たちが集うまちとして、日本国憲法にうたわれている平和の理念に基づき、非核三原則の完全実施とあらゆる国のあらゆる核兵器の廃絶を訴え、ここに非核平和都市であることを宣言する。



▲箕面市 「青い地球」箕面駅前



▲「箕面市非核平和都市宣言」石版市役所前



市制施行 50 周年 記念シンボルマーク
箕面の滝やもみじがレイアウトされている
箕面市 HP より掲載

わが町の非核・平和のデータガイドブック(被爆60年版)

| | | | | | | | |
|--|--|--------------------------|----------------|--------------------|-----|--------------|--|
| 自治体概要 | 自治体名 | 柏原市 | 役所所在地 | 柏原市安堂町1番55号 | | | |
| | 人口 | 76912 | 最寄駅 | JR「柏原」駅 近鉄大阪線「安堂」駅 | | | |
| | 担当課 | 人権推進課 | 電話 | 0729-72-1501 | FAX | 0729-72-2131 | |
| 【1】非核平和都市宣言 | 宣言主体 | 宣言年月 | 宣言名 | | | | |
| | 市町村 | | | | | | |
| | 議会 | 昭60年10月30日 | 「平和都市宣言」に関する決議 | | | | |
| 【2】被爆者援護関係 | 被爆者人数 | 53 | 被爆者援護施策 | 柏原原爆被害者の会への運営補助 | | | |
| | 認定被爆者 | 0 | | | | | |
| | 被爆者団体 | 柏原原爆被害者の会 | | ※未受給者 9人 | | | |
| 【3】非核・平和に関する決議・意見書採択 | 採択主体 | 採択年月日 | 採択決議・意見書 | | | | |
| | 議会 | 平8年6月28日 | 中国の核実験に反対する決議 | | | | |
| | | | | | | | |
| 【4】非核・平和施策 | 非核都市宣言自治体連絡協議会 | | | 未加盟 | | | |
| | 非核平和市民啓蒙・広報施策 | 非核平和関連資料館(常設) | | 名称 | | | |
| | | | | 所在地 | | | |
| | | 非核平和視聴覚教材・図書 | | | | | |
| | | 貸出料金 | 有料 | 貸出機関 | | | |
| | | | 無料 | 貸出機関 | | | |
| | | 【視聴覚教材・図書】 | | | | | |
| 【広報施策】 HP: http://www.city.kashiwara.osaka.jp/ HP上の「まちづくり」のなかに「国際交流」項あり | | | | | | | |
| 非核平和施策 | 【取組み・行事】 | | | | | | |
| | □「柏原市平和展」「戦後60年～日本の戦争～」(リビエルホール8/19～21) 戦時下の市民生活、大阪大空襲の展示 1945.8ヒロシマ・ナガサキ 平和のメッセージなど 映画「ガラスのうさぎ」 | | | | | | |
| 【5】国際友好施策 | 友好・姉妹都市 | 新郷市(中国) ゴロツセート市(イタリア) | | | | | |
| | 友好・連帯取組み | 市民友好訪問団の参加募集 | | | | | |
| 【6】市民団体の非核平和の取組み | | | | | | | |

※未受給者＝認定被爆者支給の医療特別手当や未認定者の健康管理手当などの支給のない被爆者、

柏原市 「平和都市宣言」に関する決議

私たちは、憲法で戦争を放棄し、世界の恒久平和の実現に貢献することを誓っています。

しかしながら、世界各地では武力紛争が絶えず、近年の核兵器の発達は核戦争の起きる危険性を高め、人類の平和と共存に深刻な脅威を与えています。

国際社会の新たな秩序と安定が求められている今日、平和のうちに生存する権利並びに人間としての尊厳及び幸福追求の権利が尊重されることが全人類の切実な願いになっている。

ここに、柏原市は国内外の平和を愛する人たちとともに豊かで明るく住みよい社会の建設に積極的に推し進めることを決意し、憲法を守り、人間を尊重するための平和都市になることを宣言します。

1985年10月30日 柏原市議会

内 容

展示 〈レセプションホール〉

- 戦時下の市民生活、大阪大空襲
(実物資料やレプリカによる興味深い戦時生活の再現)
- 1945.8ヒロシマ・ナガサキ
- 平和のメッセージほか

8月19日(金)～8月21日(日)

午前9時30分～午後4時30分 (21日は午後1時まで)

VIVIERE HALL 入場無料
柏原市民文化会館

今年第二次世界大戦が終わってから60年を経過した節目の年に当たります。時の流れとともに、戦争の惨禍やその傷も稀薄になりつつあり、今日の繁栄した社会の中では平和の尊さの意識は薄れがちになります。しかし、過去の体験・戦争の空しさを次の世代を担う若い人たちに正しく語り継いでいくことは平和を願う私たちの責務です。

戦後60年
～日本の戦争～

平成17年度
柏原市平和展

主 催 / 柏 原 市

共 催 / 人権啓発活動東大阪地域ネットワーク協議会

協 賛 / 柏原市人権啓発推進協議会 柏原市企業人権連絡協議会
柏原市人権啓発委員会
世界人権宣言柏原市連絡会

お 問 合 せ / 柏原市人権推進課 (0729-72-4501)

VIVIERE HALL 柏原市民文化会館

 ① 近鉄 大塚線 文楽駅下車3分
 ② 近鉄 大塚線 柏原駅下車3分
 ③ JR 大塚線 柏原駅下車5分

内 容

映 画

8月20日(土)〈小ホール〉

映画「ガラスのうさぎ」を上映

上映時間
① 午前11時～
② 午後1時30分～

※ 210万部を超えるベストセラーのアニメーション映画化。12歳の少女の戦時体験を通して戦争の悲惨さ恐ろしさを知り、平和を願う感動の映画です。(84分)
定員(①②各277席)になり次第締め切ります。

※ 車及び自転車によるご来場はご遠慮ください。

▲ 柏原市 「戦後 60年～日本の戦争～」を
テーマにした柏原市平和展のチラシ



▲母子像「平和」市民文化センター



柏原市の位置
柏原市 HP
より掲載

わが町の非核・平和のデータガイドブック(被爆60年版)

| | | | | | | | |
|--|--|---------------------------|------------------------------------|--------------|-----|--------------|--|
| 自治体概要 | 自治体名 | 羽曳野市 | 役所所在地 | 羽曳野市誉田4-1-1 | | | |
| | 人口 | 120631 | 最寄駅 | 近鉄南大阪線「古市」駅 | | | |
| | 担当課 | 自治振興課 | 電話 | 0729-58-1111 | FAX | 0729-58-0397 | |
| 【1】非核平和都市宣言 | 宣言主体 | 宣言年月 | 宣言名 | | | | |
| | 市町村 | 昭58年9月24日 | 非核平和都市宣言 | | | | |
| | 議会 | 昭58年9月24日 | 非核平和都市宣言 | | | | |
| 【2】被爆者援護関係 | 被爆者人数 | 98 | 被爆者援護施策 | ※未受給者 11人 | | | |
| | 認定被爆者 | 0 | | | | | |
| | 被爆者団体 | 羽曳野市被爆者団体協議会 | | | | | |
| 【3】非核・平和に関する決議・意見書採択 | 採択主体 | 採択年月日 | 採択決議・意見書 | | | | |
| | 議会 | 平10年6月26日 | インド・パキスタンの核実験に抗議し、核兵器廃絶と恒久平和を求める決議 | | | | |
| | | | | | | | |
| 【4】非核・平和施策 | 非核都市宣言自治体連絡協議会 | | | 加盟 | | | |
| | 非核平和市民啓蒙・広報施策 | 非核平和関連資料館(常設) | | 名称 | | | |
| | | | | 所在地 | | | |
| | | 非核平和視聴覚教材・図書 | | | | | |
| | | 貸出料金 | 有料 | 貸出機関 | | | |
| | | | 無料 | 貸出機関 | | | |
| | 【視聴覚教材・図書】 * 図書館において非核平和に関する図書を閲覧・貸出をしています | | | | | | |
| 【広報施策】 HP: http://www.city.habikino.osaka.jp/ HP上の「交流事業」に「国際交流」項あり * 平和展&人権展で「羽曳野シティアピール」配付 | | | | | | | |
| 非核平和施策 | 【取組み・行事】 * 羽曳野市平和展&人権展(はびきの市民フェスティバル会場に併設) * 平和ゲートボール大会 * 市民フェスティバルにて「羽曳野シティアピール」を採択し、市民決議を実施 | | | | | | |
| 【5】国際友好施策 | 友好・姉妹都市 | ウィーン市ヒーツィング(第13区)(オーストリア) | | | | | |
| | 友好・連帯取組み | 教育・文化面などにおける市民交流 | | | | | |
| 【6】市民団体の非核平和の取組み | * 市民の各種関係団体で構成される市民フェスティバル実行委員会内に平和部門を設け、平和展&人権展の企画立案し、実施。 | | | | | | |

※未受給者=認定被爆者支給の医療特別手当や未認定者の健康管理手当などの支給のない被爆者、

羽曳野市 非核平和都市宣言

世界の平和と安全は、私たち人類の共通のねがいです。世界の誰もが不安や欠乏から免れ、平和のうちに生活し生存していく権利をもっています。

しかしながら、世界の現状は、私たちのねがいに反して人類を絶滅させてもまだあまりある核兵器が製造・拡散され、人類の生存に深刻な脅威を与えています。

私たちは、広島・長崎と二度の原爆の惨禍をうけ、そのなかから教訓を学び平和を希求する誇り得る憲法を持ち、戦争の放棄を誓っています。この地球から核兵器と戦争を永久になくすことは日本国民の重大な責務であります。

緑と文化あふれる羽曳野市は、平和を愛する市民の街です。私たちは、核兵器の廃絶・製造および使用の禁止を訴えて、ここに羽曳野市が非核平和都市となることを宣言するものです。

1983年9月24日 羽曳野市議会



☞ 羽曳野市
「非核平和宣言都市」標柱
陵南の森総合センター

わが町の非核・平和のデータガイドブック(被爆60年版)

| | | | | | | |
|---|---|---|--------------------------|---------------------|-----|--------------|
| 自治体概要 | 自治体名 | 門真市 | 役所所在地 | 門真市中町1-1 | | |
| | 人口 | 134963 | 最寄駅 | 京阪「門真市」駅 | | |
| | 担当課 | 市民生活課 | 電話 | 06-6902-1231 | FAX | 06-6905-3264 |
| 【1】非核平和都市宣言 | 宣言主体 | 宣言年月 | 宣言名 | | | |
| | 市町村 | 昭58年10月4日 | 非核平和都市宣言 | | | |
| | 議会 | 昭58年10月4日 | 非核平和都市宣言 | | | |
| 【2】被爆者援護関係 | 被爆者人数 | 122 | 被爆者援護施策 | 定期健診(春と秋の年2回、守口保健所) | | |
| | 認定被爆者 | 3 | | | | |
| | 被爆者団体 | 門真市原爆被害者の会 | | ※未受給者 10人 | | |
| 【3】非核・平和に関する決議・意見書採択 | 採択主体 | 採択年月日 | 採択決議・意見書 | | | |
| | 議会 | 昭57年3月29日 | 核兵器の全面撤廃と軍備縮小の推進に関する要望決議 | | | |
| | | | | | | |
| 【4】非核・平和施策 | 非核都市宣言自治体連絡協議会 | | | 未加盟 | | |
| | 非核平和市民啓蒙・広報施策 | 非核平和関連資料館(常設) | | 名称 | | |
| | | | | 所在地 | | |
| | | 非核平和視聴覚教材・図書 | | | | |
| | | 貸出料金 | 有料 | 貸出機関 | | |
| | | | 無料 | 貸出機関 門真市市民生活課 | | |
| | 【視聴覚教材・図書】 | | | | | |
| *ビデオ(VHS)約20本 「なっちゃんの赤い手袋」「100ばんめのサル」「火の海大阪」「対馬丸」 「夏服の少女たち」「そしてドンキーも死んだ」「戦争の傷あと」「この海その海あの大い」 「一分のすきもなく武装して」「地球凍結」「見上げればひまわり」など | | | | | | |
| 【広報施策】 HP: http://www.city.kadoma.osaka.jp/ | | | | | | |
| * 平和行進の対応 * 黙禱の呼びかけ(8/6・9) | | | | | | |
| 非核平和施策 | 【取組み・行事】 | | | | | |
| | * 非核平和学校の開設 平和資料館への社会見学(姫路市) | | | | | |
| 【5】国際友好施策 | 友好・姉妹都市 | アイントホーフェン市(オランダ) サン・ジョゼ・ドス・カンポス市(ブラジル) | | | | |
| | 友好・連帯取組み | | | | | |
| 【6】市民団体の非核平和の取組み | * 門真市原爆被害者の会 ピースフェスタ門真の開催 小学校で戦争体験について語り部活動 平和行進への協力 | | | | | |

※未受給者＝認定被爆者支給の医療特別手当や未認定者の健康管理手当などの支給のない被爆者、

門真市 非核平和都市宣言

1983年10月4日 門真市

恒久の平和は、世界人類共通の願いである。

しかるに、依然として核軍拡競争が続けられ、平和な社会の実現に脅威を与えているのみならず人類の生存さえも危機におとし入れようとする。

わが国は、憲法で平和主義を堅持しており、世界唯一の核被爆国として、その被害の恐ろしさ、被爆者の苦しみを全世界に向けて訴え、核兵器の完全廃絶に積極的な役割を果たさなければならない。

門真市は、世界のすべての国々が非核三原則を国是とし、戦争のない平和な社会を築くことを念願して、ここに「非核平和都市」を宣言する。



▲ 門真市 「非核平和宣言都市」標柱
市役所前

ピースフェスタ門真（2006年度）

●平和のための戦争展

ルミエールホール 展示室

「原爆と人間」パネル

原爆パネル・写真資料、

召集令状・軍服・携帯品等の兵役資料

戦時中の生活に関する品物

手紙・書籍など戦争体験を物語る書類

戦時中の教科書など教育に関する資料

大阪大空襲（資料、聞き取り）

戦時中の門真（門真町史、聞き取り）に関する資料

総理大臣幣原喜重郎に関する資料等

ビデオ（戦争と昭和）

●ピースステージ 29日（土）

レセプションホール

I部 平和コンサート

（門真なみはや高校ロック研究部）

～イマジン、光へ、未来（あした）～

II部 お話 高木静子（大阪市原爆被害者の会） 被爆体験

朗読詩「平和への願い」（門真市民グループ）

●特別展示「原爆被害者の油絵展」

～辛木行夫～

辛木行夫氏が、1945年8月、広島で被爆した当時のことを回想しつつ描いたものです。

▲ 今年の「ピースフェスタ門真」の紹介

わが町の非核・平和のデータガイドブック(被爆60年版)

| | | | | | | | |
|--|--|------------------------------|---------------------|---------------|-----|--------------|--|
| 自治体概要 | 自治体名 | 摂津市 | 役所所在地 | 摂津市三島1-1-1 | | | |
| | 人口 | 85350 | 最寄駅 | 大阪モノレール「摂津」駅 | | | |
| | 担当課 | 人権推進課 | 電話 | 06-6383-1111 | FAX | 06-6319-5970 | |
| 【1】非核平和都市宣言 | 宣言主体 | 宣言年月 | 宣言名 | | | | |
| | 市町村 | 昭58年3月30日 | 平和都市宣言(平成11年4月1日改正) | | | | |
| | 議会 | | | | | | |
| 【2】被爆者援護関係 | 被爆者人数 | 69 | 被爆者援護施策 | ※未受給者 3人 | | | |
| | 認定被爆者 | 0 | | | | | |
| | 被爆者団体 | | | | | | |
| 【3】非核・平和に関する決議・意見書採択 | 採択主体 | 採択年月日 | 採択決議・意見書 | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 【4】非核・平和施策 | 非核都市宣言自治体連絡協議会 | | | 未加盟 | | | |
| | 非核平和市民啓蒙・広報施策 | 非核平和関連資料館(常設) | | 名称 | | | |
| | | | | 所在地 | | | |
| | | 非核平和視聴覚教材・図書 | | | | | |
| | | 貸出料金 | 有料 | 貸出機関 | | | |
| | | | 無料 | 貸出機関 摂津市人権推進課 | | | |
| 【視聴覚教材・図書】 ビデオ「火の鳥と出会う旅」「ぼくの村にサーカスがきた」 「アフガン難民 平和を知らない子どもたち」「戦争の傷あと」 「はだしのゲン」「クロがいた夏」「黒い雨にうたれて」など | | | | | | | |
| 【広報施策】 HP: http://www.city.settsu.osaka.jp/ HP上に「人権・平和」項あり | | | | | | | |
| 非核平和施策 | 【取組み・行事】 * 平和月間(7~8月) 展示・映画会など(公民館) ピース映画会 平和の素晴らしさを、映画を介して考えてみませんか。 ●父と暮せば=8月5日(土)午後1時半~ ●チャーリーとチョコレート工場=8月6日(日)午後1時半~ ●さとうきび畑の唄=8月6日(日)午後1時半~ | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 【5】国際友好施策 | 友好・姉妹都市 | 蚌埠市(中国) バンダバーグ市(オーストラリア市) | | | | | |
| | 友好・連帯取組み | | | | | | |
| 【6】市民団体の非核平和の取組み | | | | | | | |

※未受給者=認定被爆者支給の医療特別手当や未認定者の健康管理手当などの支給のない被爆者、

摂津市 憲法を守り人間を尊重する平和都市宣言

1983年3月30日 摂津市

私たちは、憲法で戦争を放棄し、世界の恒久平和の実現に貢献することを誓っています。

しかしながら、世界各地では武力紛争が絶えず、とりわけ核兵器は、人類のみならず生命の宿るすべての生存を脅かし地球環境を破壊するものであり、核兵器の廃絶が強く求められています。

国際社会の新たな秩序と安定が求められている今日、国籍や民族、宗教の違いを認め合い、平和のうちに生存する権利並びに人間としての尊厳および幸福追求の権利が尊重されることが全人類の切実な願いになっています。

ここに、摂津市は国内外の平和を愛する人たちとともに非核・平和を訴え、この地球から核兵器をなくし、人間としてともに生きる喜びがあふれる社会の実現に積極的に取り組むことを決意し、憲法を守り人間を尊重する平和都市になることを宣言します。

(平成11年4月1日改正)



▲摂津市 「平和を呼ぶ手」市役所前



▲「平和の鐘」 平和公園

わが町の非核・平和のデータガイドブック(被爆60年版)

| | | | | | | |
|---|---|---|----------|------------------------|-----|--------------|
| 自治体概要 | 自治体名 | 高石市 | 役所所在地 | 高石市加茂4-1-1 | | |
| | 人口 | 61087 | 最寄駅 | 南海本線「高石」駅 JR阪和線「富木」駅 | | |
| | 担当課 | 人権推進課 | 電話 | 072-265-1001 | FAX | 072-263-6116 |
| 【1】非核平和都市宣言 | 宣言主体 | 宣言年月 | 宣言名 | | | |
| | 市町村 | 昭59年9月 | 非核平和都市宣言 | | | |
| | 議会 | 昭59年9月24日 | 非核平和都市宣言 | | | |
| 【2】被爆者援護関係 | 被爆者人数 | 44 | 被爆者援護施策 | 高石市難病患者見舞金支給要綱により見舞金支給 | | |
| | 認定被爆者 | 0 | | | | |
| | 被爆者団体 | 高石原爆被害者の会 | | ※未受給者 1人 | | |
| 【3】非核・平和に関する決議・意見書採択 | 採択主体 | 採択年月日 | 採択決議・意見書 | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| 【4】非核・平和施策 | 非核都市宣言自治体連絡協議会 | | | 加盟 | | |
| | 非核平和市民啓蒙・広報施策 | 非核平和関連資料館(常設) | | 名称 | | |
| | | | | 所在地 | | |
| | | 非核平和視聴覚教材・図書 | | | | |
| | | 貸出料金 | 有料 | 貸出機関 | | |
| | | | 無料 | 貸出機関 高石市人権推進課 | | |
| | | 【視聴覚教材・図書】 ビデオ・CD 約50本 *ドキュメント・ドラマ関係 「核の時代に生きる人間の記録」「ビキニの海は忘れない」「ヒロシマ母たちの祈り」 *アニメーション関係 「はだしのゲン」「コロがいた夏」「つるにのって」など | | | | |
| 【広報施策】 HP: http://www.city.takaishi.lg.jp/ 黙祷呼びかけ(8/6・9・15)を広報紙に掲載 懸垂幕「人類平和のため核兵器を廃絶させよう」掲示 | | | | | | |
| 非核平和施策 | 【取組み・行事】 *「非核平和展」(8月上旬3日間) 市民・児童・生徒からの「平和ハガキ」展示 反戦アニメ・ドキュメンタリー上映 広島・長崎原爆写真パネル展示 * 平和大行進などへの対応 * 「国連軍縮週間のつどい」などへのメッセージ * 「非核平和都市宣言」啓発塔の設置 * 黙祷の実施 * 広報紙「今年は戦後60年—平和のために語り継ごう」掲載 | | | | | |
| 【5】国際友好施策 | 友好・姉妹都市 | ロミタ市(米国) | | | | |
| | 友好・連帯取組み | 教育・文化・産業・経済の交流を通じて相互理解、国際親善を推進 ホームステイによる相互交流 | | | | |
| 【6】市民団体の非核平和の取組み | * 市民生協などによるピースリレー * 民主・リベラル泉州地域平和人権連帯会議による非核平和行進 | | | | | |

※未受給者＝認定被爆者支給の医療特別手当や未認定者の健康管理手当などの支給のない被爆者、

わが町の非核・平和のデータガイドブック(被爆60年版)

| | | | | | | | |
|---|--|---------------|----------|--------------|-----|--------------|--|
| 自治体概要 | 自治体名 | 藤井寺市 | 役所所在地 | 藤井寺市岡1-1-1 | | | |
| | 人口 | 66767 | 最寄駅 | 近鉄南大阪線「藤井寺」駅 | | | |
| | 担当課 | 人権政策室 | 電話 | 0729-39-1111 | FAX | 0729-52-9503 | |
| 【1】非核平和都市宣言 | 宣言主体 | 宣言年月 | 宣言名 | | | | |
| | 市町村 | | | | | | |
| | 議会 | 昭60年9月27日 | 平和都市宣言 | | | | |
| 【2】被爆者援護関係 | 被爆者人数 | 61 | 被爆者 | ※未受給者 3人 | | | |
| | 認定被爆者 | 0 | 援護施策 | | | | |
| | 被爆者団体 | 藤井寺市原爆被害者の会 | | | | | |
| 【3】非核・平和に関する決議・意見書採択 | 採択主体 | 採択年月日 | 採択決議・意見書 | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 【4】非核・平和施策 | 非核都市宣言自治体連絡協議会 | | | 未加盟 | | | |
| | 非核平和市民啓蒙・広報施策 | 非核平和関連資料館(常設) | | 名称 | | | |
| | | | | 所在地 | | | |
| | | 非核平和視聴覚教材・図書 | | | | | |
| | | 貸出料金 | 有料 | 貸出機関 | | | |
| | | | 無料 | 貸出機関 | | | |
| | | 【視聴覚教材・図書】 | | | | | |
| 【広報施策】 HP: http://www.city.fujiidera.osaka.jp/ HP上に「藤井寺市って?」の「友好都市」項あり | | | | | | | |
| 非核平和施策 | 【取組み・行事】 | | | | | | |
| | *「ピースメッセージ2005」(市役所市民ロビー 9/12~16) 「遠い日の記憶—中国引揚げ少年 漫画展—」 | | | | | | |
| 【5】国際友好施策 | 友好・姉妹都市 | 友好都市: 黄山市(中国) | | | | | |
| | 友好・連帯取組み | | | | | | |
| 【6】市民団体の非核平和の取組み | | | | | | | |

※未受給者＝認定被爆者支給の医療特別手当や未認定者の健康管理手当などの支給のない被爆者、

藤井寺市 「平和都市宣言」に関する決議

世界の恒久平和と安全は、人類共通の願望である。

しかしながら、近年の世界における核軍拡は、とどまるところを知らず、世界平和に深刻な脅威をもたらしていることは、全人類の等しく憂えるところである。

とくに、我が国は、世界最初の核被爆国として、再びその惨禍を絶対に繰り返させてはならない。

わが藤井寺市は、日本国憲法に掲げる恒久平和主義の理念を市民生活の中に反映し、継承させていくことが、地方自治推進の基本的条件の一つであり、これがなくしては、「緑とゆとり、健康で人間性あふれるまちづくり」を標榜する本市の目指すよりよき社会環境は望めない。

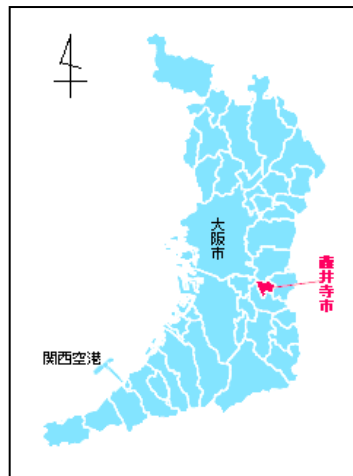
よって、藤井寺市は「非核三原則」の厳守を再認識するとともに核兵器の廃絶を全世界に向かって訴え、ここに本市を「平和都市」とすることを宣言する。

以上、決議する。

1985年9月27日 藤井寺市議会



▲藤井寺市 市役所前



△藤井寺市の位置

「広報ふじいでら」
平成17年10月号
掲載「平和展」

わが町の非核・平和のデータガイドブック(被爆60年版)

| | | | | | | | |
|----------------------|---|---|---------------------|---------------|-----|--------------|--|
| 自治体概要 | 自治体名 | 東大阪市 | 役所所在地 | 東大阪市荒本北50番地の4 | | | |
| | 人口 | 511642 | 最寄駅 | 近鉄「荒本」駅 | | | |
| | 担当課 | 人権啓発課 | 電話 | 06-4309-3156 | FAX | 06-4309-3823 | |
| 【1】非核平和都市宣言 | 宣言主体 | 宣言年月 | 宣言名 | | | | |
| | 市町村 | 昭60年11月1日 | 平和都市宣言 | | | | |
| | 議会 | | | | | | |
| 【2】被爆者援護関係 | 被爆者人数 | 398 | 被爆者援護施策 | 被爆者検診年2回 | | | |
| | 認定被爆者 | 7 | | | | | |
| | 被爆者団体 | 東大阪市原爆被害者の会 | | ※未受給者 58人 | | | |
| 【3】非核・平和に関する決議・意見書採択 | 採択主体 | 採択年月日 | 採択決議・意見書 | | | | |
| | 議会 | 1989年3月31日 | 被爆者援護対策の充実強化に関する意見書 | | | | |
| | 議会 | 1985年11月1日 | 平和都市宣言の議決 | | | | |
| | 議会 | 1983年3月28日 | 非核都市宣言に関する決議 | | | | |
| 【4】非核・平和施策 | 非核都市宣言自治体連絡協議会 | | | 加盟 | | | |
| | 非核平和市民啓蒙・広報施策 | 非核平和関連資料館(常設) | | 名称 | | | |
| | | | | 所在地 | | | |
| | | 非核平和視聴覚教材・図書 | | | | | |
| | | 貸出料金 | 有料 | 貸出機関 | | | |
| | | | 無料 | 貸出機関 人権推進課 | | | |
| | 【視聴覚教材・図書】 *ビデオ 45本目録あり *平和リーフレットの制作 *「伝えていこうこのことを」(被爆者語り部ビデオ制作) | | | | | | |
| | 【広報施策】 HP: http://www.city.higashiosaka.osaka.jp/ *ビデオライブラリー発行 *市政だよりで特集 | | | | | | |
| | 非核平和施策 | 【取組み・行事】 *「平和のつどい」◎平和アニメフェスティバル(市民会館 7/30) 映画「えっちゃんの戦争」 *平和資料展(府立中央図書館 8/10~15) 展示「学徒動員—小さな働き手たち—」被爆体験講話 *折り鶴セレモニー(幼稚園児作成 長崎に献納のため市長に手交7/30) *原爆被爆体験の語り部ビデオ作成 *市民ピースツアー(京都市立命館大学平和ミュージアムと高槻タチソ戦跡 11/13) *平和と人権のつどい(男女共同参画センター 12/4) *平和と人権展(児童文化スポーツセンター 12/10~11) | | | | | |
| | | | | | | | |
| 【5】国際友好施策 | 友好・姉妹都市 | グレンデール市(米国) ベルリン市ミッテ区(ドイツ) | | | | | |
| | 友好・連帯取組み | 派遣青年交換事業 親善訪問団の派遣・受け入れ | | | | | |
| 【6】市民団体の非核平和の取組み | * 東大阪市「平和と人権のつどい」実行委員会 * 東大阪市人権啓発協議会 * 東大阪市原爆被害者の会 などとの共催で各種事業を展開 | | | | | | |

※未受給者＝認定被爆者支給の医療特別手当や未認定者の健康管理手当などの支給のない被爆者、

東大阪市 「非核平和都市」に関する決議

1983年3月28日 東大阪市

真の恒久平和は、人類共通の願望である。

しかるに、近年、世界において軍備の拡張は依然として続けられ、世界平和に深刻な脅威をもたらしていることは、全人類のひとしく憂えるところである。

我が国は、世界唯一の核被爆国として、また、平和憲法の精神からも、再びあの広島・長崎の惨禍を絶対に繰り返させてはならない。

本市においても、日本国憲法に掲げられた恒久平和主義の理念を市民生活の中に生かし継承していくことが、地方自治の基本条件の一つである。

したがって、わが東大阪市は、非核三原則（造らず、持たず、持ち込ませず）が、完全に実施されることを願いつつ、あらゆる国のあらゆる核兵器を拒否するとともに、核保有国に対し、核兵器の廃絶を全世界に向かって訴えるものである。

以上決議する。



▲ 東大阪市 「平和の女神像」「平和の灯」
市民会館前

東大阪市
「人権作品集」第21集より



▲ 「非核平和都市宣言記念碑」
花園中央公園



わが町の非核・平和のデータガイドブック(被爆60年版)

| | | | | | | | |
|--|---|---------------|-------------|------------------------|-----|--------------|--|
| 自治体概要 | 自治体名 | 泉南市 | 役所所在地 | 泉南市樽井一丁目1番1号 | | | |
| | 人口 | 65810 | 最寄駅 | JR阪和線「和泉砂川」駅 南海本線「樽井」駅 | | | |
| | 担当課 | 人権推進課 | 電話 | 0724-83-0001 | FAX | 0724-82-0075 | |
| 【1】非核平和都市宣言 | 宣言主体 | 宣言年月 | 宣言名 | | | | |
| | 市町村 | 昭59年12月26日 | 非核平和都市宣言 | | | | |
| | 議会 | | | | | | |
| 【2】被爆者援護関係 | 被爆者人数 | 45 | 被爆者 援護施策 | ※未受給者 8人 | | | |
| | 認定被爆者 | 0 | | | | | |
| | 被爆者団体 | | | | | | |
| 【3】非核・平和に関する決議・意見書採択 | 採択主体 | 採択年月日 | 採択決議・意見書 | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 【4】非核・平和施策 | 非核都市宣言自治体連絡協議会 | | | 加盟 | | | |
| | 非核平和市民啓蒙・広報施策 | 非核平和関連資料館(常設) | | 名称 | | | |
| | | | | 所在地 | | | |
| | | 非核平和視聴覚教材・図書 | | | | | |
| | | 貸出料金 | 有料 | 貸出機関 | | | |
| | | | 無料 | 貸出機関 生涯学習課 | | | |
| | 【視聴覚教材・図書】 ビデオ「黒い雨にうたれて」他 | | | | | | |
| 【広報施策】 HP: http://www.city.sennan.osaka.jp/ * 広報紙に掲載 懸垂幕の掲示 * 「非核平和のつどい」チラシを市内学校へ配付 | | | | | | | |
| 非核平和施策 | 【取組み・行事】 □戦後60周年記念事業 「非核平和の集い」(8/20 あいぴあ泉南) アニメ映画「あした元気にな～れ」 8月「非核平和月間」 *ビデオ上映(8/1～15市役所玄関ロビー) * 非核平和図書コーナー(8/2～30 図書館) * 「パネル展示」(8/15～20 青少年センター) * 「お話し会(朗読)」(青少年センター 8/20) | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 【5】国際友好施策 | 友好・姉妹都市 | | | | | | |
| | 友好・連帯取組み | | | | | | |
| 【6】市民団体の非核平和の取組み | * 泉南市ABC委員会国際交流事業部 平和・国際交流の推進のため年に1回平和施策に関する事業を行う | | | | | | |

※未受給者＝認定被爆者支給の医療特別手当や未認定者の健康管理手当などの支給のない被爆者、

泉南市 「非核平和都市宣言」に関する決議

真の平和安全は、人類共通の願望である。

しかるに、近年、世界において軍備の拡張は依然として続けられ、世界平和に深刻な脅威をもたらしていることは、全人類のひとしく憂えるところである。

我が国は、世界唯一の核被爆国として、また、平和憲法の本質からも、再びあの広島・長崎の惨禍を絶対に繰り返させてはならない。

本市においても、日本国憲法に掲げられた恒久平和主義の理念を市政に生かし、継承していくことが、地方自治の基本条件の一つである。

したがって、わが泉南市は「非核三原則」の厳守を政府に強く要望するとともに、市民に対し核兵器廃絶の啓蒙活動を行いつつ核兵器の廃絶を全世界に向かって訴え、ここにわが泉南市を「非核平和都市」とすることを宣言する。

以上、決議する。

1984年12月26日 泉南市議会

戦後60周年記念事業

非核平和の集い

2005年8月20日(土)

とき 午後1時開演
ところ あいびあ泉南 大会議室

プログラム

1. カンカラ三線演奏会
2. 映画上映
3. 琉球民謡ショー
出演: 町田宗雄さん他

250万人が涙した前作
「うしろの正面だあれ」
を超える感動アニメーション:

一平和への願いを込めて、今あなたに伝えたい-

長編アニメーション映画・戦後60周年記念作品
あした元気になる!
～半分のさつまいも～

昭和20年3月10日未明・東京大空襲・10万人の命が奪われた!

TEL.0724-80-2855・FAX.0724-82-0075
E-mail: jinken@city.sennan.lg.jp

主催/ 泉南市・泉南市教育委員会・泉南市人権啓発推進協議会

▲ 泉南市「戦後60周年記念事業 非核平和の集い」
チラシ 8月20日 あいびあ泉南



▲ 泉南市「非核平和宣言都市」
標柱 市役所前

わが町の非核・平和のデータガイドブック(被爆60年版)

| | | | | | | | |
|---|---|---------------|--------------|---------------|-----|--------------|--|
| 自治体概要 | 自治体名 | 四條畷市 | 役所所在地 | 四條畷市中野本町1-1 | | | |
| | 人口 | 57525 | 最寄駅 | JR学研都市線「忍ヶ丘」駅 | | | |
| | 担当課 | 人権政策推進課 | 電話 | 072-877-2121 | FAX | 072-877-2074 | |
| 【1】非核平和都市宣言 | 宣言主体 | 宣言年月 | 宣言名 | | | | |
| | 市町村 | 昭59年3月23日 | 四條畷市非核平和都市宣言 | | | | |
| | 議会 | | | | | | |
| 【2】被爆者援護関係 | 被爆者人数 | 44 | 被爆者援護施策 | ※未受給者 8人 | | | |
| | 認定被爆者 | 0 | | | | | |
| | 被爆者団体 | はづき会 | | | | | |
| 【3】非核・平和に関する決議・意見書採択 | 採択主体 | 採択年月日 | 採択決議・意見書 | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 【4】非核・平和施策 | 非核都市宣言自治体連絡協議会 | | | 未加盟 | | | |
| | 非核平和市民啓蒙・広報施策 | 非核平和関連資料館(常設) | | 名称 | | | |
| | | | | 所在地 | | | |
| | | 非核平和視聴覚教材・図書 | | | | | |
| | | 貸出料金 | 有料 | 貸出機関 | | | |
| | | | 無料 | 貸出機関 | | | |
| | | 【視聴覚教材・図書】 | | | | | |
| 【広報施策】 HP: http://www.city.shijonawate.lg.jp/ HP上の「四條畷市の概要」に「都市宣言」項あり | | | | | | | |
| 非核平和施策 | 【取組み・行事】 | | | | | | |
| | □平和展「戦後60年を迎えて」(四條畷市市民総合センター 7/27~31) パネル展「遺品及び戦時中の日用品展示」「各国教科書比較」 紙芝居・ビデオ上映・戦中食試食会・映画「父と暮らせば」 * 広島平和ツアー(8/5~6) * 長崎・嬉野平和ツアー(9/25~27) | | | | | | |
| 【5】国際友好施策 | 友好・姉妹都市 | | | | | | |
| | 友好・連帯取組み | | | | | | |
| 【6】市民団体の非核平和の取組み | | | | | | | |

※未受給者＝認定被爆者支給の医療特別手当や未認定者の健康管理手当などの支給のない被爆者、

四條畷市 非核平和都市宣言

1984年3月23日 四條畷市

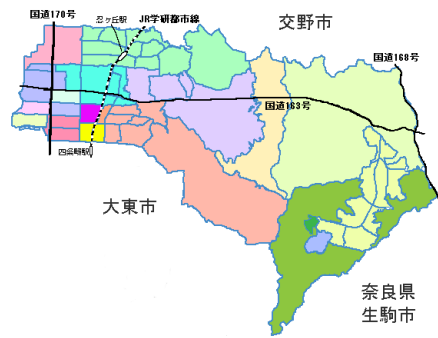
全世界の平和と安全の維持は、人類共通の願望である。

しかるに核軍備の拡張は依然として続けられ核戦争突発の危険性さえも高まっており、世界の平和に深刻な脅威をもたらしている。

わが国は、世界で唯一の核被爆国として再びあの広島・長崎の惨禍を繰り返させないために、核の恐ろしさを全世界に訴え、核兵器廃絶に積極的な役割を果たさなければならない。

私たちは、国際平和を希求する誇り得る憲法を持ち、戦争の永久放棄を誓っている。

四條畷市は、あらゆる国の戦争と核兵器の廃絶を求め、戦争のない平和な社会を築くことを念願してここに「非核平和都市」を宣言する。



△ 四條畷市の位置
四條畷市 HP より掲載

わが町の非核・平和のデータガイドブック(被爆60年版)

| | | | | | | | |
|---|--|---------------|-----------------|------------------------------|-----------------|--------------|--|
| 自治体概要 | 自治体名 | 交野市 | 役所所在地 | 交野市私部1丁目1-1 | | | |
| | 人口 | 79583 | 最寄駅 | 京阪交野線「交野」駅 | | | |
| | 担当課 | 人権政策室 | 電話 | 072-892-0121 | FAX | 072-891-5046 | |
| 【1】非核平和都市宣言 | 宣言主体 | 宣言年月 | 宣言名 | | | | |
| | 市町村 | 平13年11月3日 | 「非核・共生・非暴都市かたの」 | | | | |
| | 議会 | | | | | | |
| 【2】被爆者援護関係 | 被爆者人数 | 84 | 被爆者援護施策 | 原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律に基づく施策の実施 | | | |
| | 認定被爆者 | 1 | | ※未受給者 14人 | | | |
| | 被爆者団体 | 交野市原爆被害者の会 | | | | | |
| 【3】非核・平和に関する決議・意見書採択 | 採択主体 | 採択年月日 | 採択決議・意見書 | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 【4】非核・平和施策 | 非核都市宣言自治体連絡協議会 | | | 未加盟 | | | |
| | 非核平和市民啓蒙・広報施策 | 非核平和関連資料館(常設) | | 名称 | 戦後60年戦争遺物「飛燕」展示 | | |
| | | | | 所在地 | 交野市向井田2-5-1 | | |
| | | 非核平和視聴覚教材・図書 | | | | | |
| | | 貸出料金 | 有料 | 貸出機関 | | | |
| | | | 無料 | 貸出機関 | | | |
| | 【視聴覚教材・図書】 | | | | | | |
| 【広報施策】 HP: http://www.city.katano.osaka.jp/ HP上の「交野市の概要」に「姉妹都市」項あり * 広報紙8/15平和祈念式の特集記事 | | | | | | | |
| 非核平和施策 | 【取組み・行事】 | | | | | | |
| | * 平和祈念式(8/15) * 平和継承事業(戦争体験記)の小冊子作成 | | | | | | |
| 【5】国際友好施策 | 友好・姉妹都市 | コリングウッド市(カナダ) | | | | | |
| | 友好・連帯取組み | 派遣事業・受け入れ事業 | | | | | |
| 【6】市民団体の非核平和の取組み | * 交野市平和と人権を守る都市宣言を進める実行委員会 平和祈念式の企画・運営(市人権政策室と共催) | | | | | | |

※未受給者＝認定被爆者支給の医療特別手当や未認定者の健康管理手当などの支給のない被爆者、

交野市 「非核平和都市宣言」決議

真の平和安全は、人類共通の願望である。

しかるに、近年、世界において軍備の拡張は依然として続けられ世界平和に深刻な脅威をもたらしていることは、全人類のひとしく憂えるところである。

我が国は、世界唯一の核被爆国として、また日本国憲法の本質からも、再びあの広島・長崎の惨禍を絶対に繰り返させてはならない。

交野市は、日本国憲法に掲げられた恒久平和主義の理念を市政に生かし、継承していくことが、地方自治の基本条件である。

したがって、交野市は、非核三原則（作らず・持たず・持ち込ませず）の厳守を政府に要望するとともに、あらゆる国のあらゆる核兵器も交野市内に入り、製造・貯蔵・空中輸送・核部隊の通過を拒否するとともに、核保有国に対し核兵器の廃絶を全世界に向かって訴え、非核平和都市を宣言するものである。

以上、決議する。

1983年7月23日 交野市議会

特集① 平和について考えよう

平和祈念の夕べ ～伝えよう 平和への想い～



平和祈念の夕べ

とき 8月15日(月)午後7時～8時

ところ いきいきランド交野 平和モニュメント周辺

内容

▽祈りの灯り

▽小・中学生による「平和と人権を守る都市宣言」の朗読

▽ライブコンサート 合唱:交野市少年少女合唱団、演奏:山本優子さん(オカリナ)・田中靖二さん(ギター)

▽平和の鐘をつく、黙とう

主催 17年度平和祈念の夕べ実行委員会

平和祈念特別展

とき 8月14日(日)・15日(月)午前10時～午後5時

ところ いきいきランド交野1階 ロビー

内容 太平洋戦争の記録写真や市民の戦争体験記などの展示、平和祈念の折り鶴、平和の絵本コーナー

主催 市、17年度平和祈念の夕べ実行委員会

▲交野市 「広報かたの 平成17年8月1日号」より

わが町の非核・平和のデータガイドブック(被爆60年版)

| | | | | | | |
|----------------------------|---|-----------------|--------------|-----------------------|-----|--------------|
| 自治体概要 | 自治体名 | 大阪狭山市 | 役所所在地 | 大阪狭山市狭山1-2384-1 | | |
| | 人口 | 58144 | 最寄駅 | 南海高野線「大阪狭山市」駅 | | |
| | 担当課 | 人権広報グループ | 電話 | 072-366-0011 | FAX | 072-366-0051 |
| 【1】非核平和都市宣言 | 宣言主体 | 宣言年月 | 宣言名 | | | |
| | 市町村 | 1985.7 | 核兵器廃絶・平和都市宣言 | | | |
| | 議会 | | | | | |
| 【2】被爆者援護関係 | 被爆者人数 | 53 | 被爆者援護施策 | * 原子爆弾被爆者見舞金 | | |
| | 認定被爆者 | 0 | | * 「大阪狭山市原爆被爆者の会」補助金 | | |
| | 被爆者団体 | 大阪狭山市原爆被爆者の会 | | ※未受給者 5人 | | |
| 【3】非核・平和に関する決議・意見書採択 | 採択主体 | 採択年月日 | 採択決議・意見書 | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| 【4】非核・平和施策 | 非核都市宣言自治体連絡協議会 | | | 加盟 | | |
| | 非核平和市民啓蒙・広報施策 | 非核平和関連資料館(常設) | | 名称 | | |
| | | | | 所在地 | | |
| | | 非核平和視聴覚教材・図書 | | | | |
| | | 貸出料金 | 有料 | 貸出機関 | | |
| | | | 無料 | 貸出機関 大阪狭山市総務部人権広報グループ | | |
| | | 【視聴覚教材・図書】 | | | | |
| | * 平和に関するビデオ 37本 | | | | | |
| | * 広島・長崎原爆被害、沖縄戦、第二次世界大戦に関するもの多数 | | | | | |
| | 【広報施策】 HP: http://www.city.osakasayama.osaka.jp/ | | | | | |
| * 広報紙による事業及び趣旨の周知、宣言塔の設置など | | | | | | |
| * 黙祷の呼びかけ(8/6・9・15) | | | | | | |
| 非核平和施策 | 【取組み・行事】 | | | | | |
| | <input type="checkbox"/> 「平和を考える市民のつどい～シンク・ザ・ピース2005～」 テーマ「戦後60、あらためて戦争の悲惨さと平和の尊さを考える」 * 講演会「私の沖縄戦体験から平和を考える」 * 映画「ひめゆりの塔」 * 沖縄戦写真パネルの展示 * 平和を考える詩の展示 * 戦争体験談の作成・配付 <input type="checkbox"/> 人権週間事業「フェスタにんげんばんざい」(市立公民館12/3～4) * 中学生の平和学習壁新聞の展示 * 被爆写真パネル展示 * ビデオ上映会「黒い雨にうたれて」「夏服の少女」「はだしのゲン」など | | | | | |
| 【5】国際友好施策 | 友好・姉妹都市 | オンタリオ市(米国) | | | | |
| | 友好・連帯取組み | * 訪問団、学生の相互派遣など | | | | |
| 【6】市民団体の非核平和の取組み | * 大阪狭山市人権協会が上記のとおりくみ、行事を市と共催 * 平和行進への対応 | | | | | |

※未受給者＝認定被爆者支給の医療特別手当や未認定者の健康管理手当などの支給のない被爆者、 人口平成17年11月末現在(外国人含む)

狭山町(大阪狭山市) 核兵器廃絶・平和都市宣言

1985年7月4日 狭山町

真の恒久平和は、人類共通の願いである。

しかし、果てしない核軍備拡大競争は、全世界破滅の危機の招来を助長している。

平和なくしては、狭山町民の誇りと願いをこめた「町民憲章」や「田園都市の実現」を目標としたまちづくりも保障されない。

我が国は、世界で唯一の被爆国であり、地球上に再び「広島・長崎」の惨禍を繰り返してはならない。

我々は、「非核三原則」(作らず・持たず・持ち込ませず)の厳守並びにあらゆる国の核兵器廃絶と全面軍縮を求め、ここに平和を愛する町民の決意をこめ、我が郷土狭山町を「核兵器廃絶・平和都市」とすることを宣言する。

戦後60年、あらためて戦争の悲惨さと平和の尊さを考える

平和を考える市民のつどい

～シンク・ザ・ピース2005～

今年、第2次世界大戦終結、広島・長崎への原爆投下から60年の節目の年にあたります。今から60年前の第2次世界大戦末期、日本本土防衛の犠牲となり、沖縄では3ヶ月間にわたり日本で唯一の地上戦が行われ、人口の約3分の1にあたる12万人もの人々の命が奪われました。

中でも「ひめゆり」の愛称で親しまれていた沖縄師範学校女子部と県立第一高等女学校の生徒222人と教師18人は、陸軍病院に動員され、負傷兵の看護にありましたが、米軍に包囲される中、突然の解散命令、各自逃げ延びよという無謀な命令の中、実に136人が亡くなりました。

今回の「平和を考える市民のつどい」では、10年前に戦後50年を記念して制作された映画「ひめゆりの塔」の上映と、ひめゆり学徒隊の中で奇跡的に生存され、現在語り部として全国をまわっている宮良さんの講演を行います。あらためて戦争の悲惨さと平和の尊さを考えてみませんか。

と き 平成17(2005)年8月27日(土) 午後1時～4時30分(午後0時30分開場)
と ころ 大阪狭山市立公民館 3階 大集會室(今熊一丁目106)
参加費 無料

午後1時～3時
●映画「ひめゆりの塔」上映(1995年上映、戦後50年記念作品)
監督 神山 征二、出演 沢口 靖子・高嶋 政宏 ほか

午後3時10分～4時30分
●講演会「私の沖縄戦体験から平和を考える」
講師 宮良 ルリ(みやらるり)さん
(ひめゆり学徒隊生存者、ひめゆり平和祈念資料館資料委員・証言員)
手話通訳あり

●沖縄戦写真パネル展示
●「平和を考える詩」の展示(さやま詩話会)
●戦争体験談の配布

※映画上映・講演会時に保育あり(お菓子代実費必要)、当日申し込みできます。

問い合わせ 大阪狭山市人権広報グループ TEL 366-0011
FAX 366-0051

主催 大阪狭山市人権協会・大阪狭山市

▲ 大阪狭山市 「戦後60年 平和を考える市民のつどい～シンク・ザ・ピース2005～」シラシ



▲ 大阪狭山市「核兵器廃絶平和宣言」標柱 市役所前

わが町の非核・平和のデータガイドブック(被爆60年版)

| | | | | | | | |
|--|---|---------------------------|----------|---|-----|--------------|--|
| 自治体概要 | 自治体名 | 阪南市 | 役所所在地 | 阪南市尾崎町35-1 | | | |
| | 人口 | 59590 | 最寄駅 | 南海本線「尾崎」駅 | | | |
| | 担当課 | 市民の声を聞く課 | 電話 | 0724-71-5678 | FAX | 0724-73-3504 | |
| 【1】非核平和都市宣言 | 宣言主体 | 宣言年月 | 宣言名 | | | | |
| | 市町村 | 昭59. 12. 11 | 非核平和都市宣言 | | | | |
| | 議会 | | | | | | |
| 【2】被爆者援護関係 | 被爆者人数 | 43 | 被爆者援護施策 | 被爆者への病気治療、生活援護、その他の問題 解決することに努めるための助成金 | | | |
| | 認定被爆者 | 0 | | | | | |
| | 被爆者団体 | 阪南市原爆被爆の会 | | ※未受給者 4人 | | | |
| 【3】非核・平和に関する決議・意見書採択 | 採択主体 | 採択年月日 | 採択決議・意見書 | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 【4】非核・平和施策 | 非核都市宣言自治体連絡協議会 | | | 未加盟 | | | |
| | 非核平和市民啓蒙・広報施策 | 非核平和関連資料館(常設) | | 名称 | | | |
| | | | | 所在地 | | | |
| | | 非核平和視聴覚教材・図書 | | | | | |
| | | 貸出料金 | 有料 | 貸出機関 | | | |
| | | | 無料 | 貸出機関 | | | |
| | | 【視聴覚教材・図書】 | | | | | |
| 【広報施策】 HP: http://www.city.hannan.osaka.jp/ HP上に「市民ネットワーク・市民活動・NPO」がある | | | | | | | |
| 非核平和施策 | 【取組み・行事】 | | | | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> * 非核平和パネル展(市庁舎ロビー8/10~15) * 街頭啓発(市内ショッピングセンター前) * 黙祷(8/15) * 平和コンサート(地雷除去をテーマ 西鳥取公民館) * 映画会「ベアテの贈りもの」(サラダホール 10/31) | | | | | | |
| 【5】国際友好施策 | 友好・姉妹都市 | | | | | | |
| | 友好・連帯取組み | 阪南市国際交流協議会で国際交流活動を取り組んでいる | | | | | |
| 【6】市民団体の非核平和の取組み | | | | | | | |

※未受給者＝認定被爆者支給の医療特別手当や未認定者の健康管理手当などの支給のない被爆者、

わが町の非核・平和のデータガイドブック(被爆60年版)

| | | | | | | |
|--|--------------------------------|---|----------------------|---------------|------------|--------------|
| 自治体概要 | 自治体名 | 島本町 | 役所所在地 | 三島郡島本町桜井2-1-1 | | |
| | 人口 | 29,570 | 最寄駅 | 阪急京都線「水無瀬」駅 | | |
| | 担当課 | 人権推進室 | 電話 | 075-962-0372 | FAX | 075-962-0385 |
| 【1】非核平和都市宣言 | 宣言主体 | 宣言年月 | 宣言名 | | | |
| | 市町村 | | | | | |
| | 議会 | 昭62. 8 | 核兵器廃絶・平和都市宣言 | | | |
| 【2】被爆者援護関係 | 被爆者人数 | 30 | 被爆者 | ※未受給者 3人 | | |
| | 認定被爆者 | 0 | 援護施策 | | | |
| | 被爆者団体 | | | | | |
| 【3】非核・平和に関する決議・意見書採択 | 採択主体 | 採択年月日 | 採択決議・意見書 | | | |
| | 議会 | 昭62. 8. 27 | 「核兵器廃絶・平和都市宣言」に関する決議 | | | |
| | | | | | | |
| 【4】非核・平和施策 | 非核都市宣言自治体連絡協議会 | | | 加盟 | | |
| | 非核平和市民啓蒙・広報施策 | 非核平和関連資料館(常設) | | 名称 | 人権平和資料室 | |
| | | | | 所在地 | 三島郡桜井2-1-1 | |
| | | 非核平和視聴覚教材・図書 | | | | |
| | | 貸出料金 | 有料 | 貸出機関 | | |
| | | | 無料 | 貸出機関 | | |
| | 【視聴覚教材・図書】 * 図書・VHSテープ? DVD | | | | | |
| 【広報施策】 HP: http://www.shimamotocho.jp/ | | | | | | |
| 非核平和施策 | | 【取組み・行事】 * 毎年7月第一土曜日に「人権と平和の集い」事業実施 映画会など * 毎年8月に「人権・平和バスツアー」実施 ※島本町及び島本町人権啓発施策協議会の主催 | | | | |
| 【5】国際友好施策 | 友好・姉妹都市 | | | | | |
| | 友好・連帯取組み | | | | | |
| 【6】市民団体の非核平和の取組み | * 上記記載の島本町人権啓発施策協議会による活動 | | | | | |

※未受給者＝認定被爆者支給の医療特別手当や未認定者の健康管理手当などの支給のない被爆者、

島本町 核兵器廃絶・平和都市宣言に関する決議

世界の恒久的平和は、全人類の共通の願望である。

しかるに、近年核軍拡競争は、とどまるところを知らず、人類の生存そのものが脅かされている。

我が国は、世界唯一の核被爆国としてその被害の恐ろしさ、被爆者の苦しみを世界に向けて訴え、核兵器の完全廃絶に積極的な役割を果たさなければならない。

島本町は、平和を愛する文化都市として、世界のすべての国が「核兵器を持たず、作らず、持ち込ませず」の三原則を厳守し、そして、私たちの町の将来を担う子供たちの未来が永遠に戦争のない平和な社会で、豊かなくらしができるようお願い、ここに核兵器廃絶・平和都市を宣言する。

以上決議する。

1987年8月27日 島本町議会



▲ 島本町「核兵器廃絶・平和都市宣言の町」標語パネル
町役場正面壁面



▲ 「核兵器廃絶・平和都市宣言の町」
モニュメントとパネル
阪急「水無瀬」駅前



☞ 町の花「山吹」

わが町の非核・平和のデータガイドブック(被爆60年版)

| | | | | | | |
|--|---|---------------|----------|----------------------|-----|--------------|
| 自治体概要 | 自治体名 | 豊能町 | 役所所在地 | 豊能郡豊能町余野414-1 | | |
| | 人口 | 25,354 | 最寄駅 | 阪急宝塚線「池田」から阪急バス「余野」駅 | | |
| | 担当課 | 自治人権課 | 電話 | 072-739-3414 | FAX | 072-739-1980 |
| 【1】非核平和都市宣言 | 宣言主体 | 宣言年月 | 宣言名 | | | |
| | 市町村 | 昭60.9 | 非核平和都市宣言 | | | |
| | 議会 | | | | | |
| 【2】被爆者援護関係 | 被爆者人数 | 27 | 被爆者 | ※未受給者 1人 | | |
| | 認定被爆者 | 1 | 援護施策 | | | |
| | 被爆者団体 | | | | | |
| 【3】非核・平和に関する決議・意見書採択 | 採択主体 | 採択年月日 | 採択決議・意見書 | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| 【4】非核・平和施策 | 非核都市宣言自治体連絡協議会 | | | 未加盟 | | |
| | 非核平和市民啓蒙・広報施策 | 非核平和関連資料館(常設) | | 名称 | | |
| | | | | 所在地 | | |
| | | 非核平和視聴覚教材・図書 | | | | |
| | | 貸出料金 | 有料 | 貸出機関 | | |
| | | | 無料 | 貸出機関 | | |
| | | 【視聴覚教材・図書】 | | | | |
| 【広報施策】 HP: http://www.town.toyono.osaka.jp/ * ホームページと広報紙に非核平和都市宣言を掲載 | | | | | | |
| 非核平和施策 | 【取組み・行事】 | | | | | |
| | * 観光名所の「コスモスの里」周辺で開催の「ふれあいコスモスまつり」地雷の模型・パネル展示・アフガニスタンやイラク写真展などを実施 | | | | | |
| 【5】国際友好施策 | 友好・姉妹都市 | | | | | |
| | 友好・連帯取組み | | | | | |
| 【6】市民団体の非核平和の取組み | *「豊能九条の会」が設立 | | | | | |

※未受給者＝認定被爆者支給の医療特別手当や未認定者の健康管理手当などの支給のない被爆者、

豊能町 「非核平和都市宣言」に関する決議

世界の恒久平和は全人類の願望である。

しかるに、近年核軍拡競争は、とどまるところを知らず人類の生存そのものが脅かされている。

世界最初の核被爆国となった我が国は、再び「ヒロシマ、ナガサキ」の惨禍を繰り返させてはならない決意と責任を世界に示さなければならない。

我が豊能町においても、日本国憲法に掲げる恒久平和の原則を町民生活の中に生かし、継承させていくことが人間尊重の精神を育み、自然と文化、そしてよりよい生活環境を守ることになる。

よって、本町は国是である「非核三原則」の堅持を政府に強く求め、核兵器の廃絶を全世界に訴えるものである。

以上宣言する。

1985年9月4日 豊能町議会

ふれあい文化センターだより

目次

●[教育・進路相談](#)

●[ふれあいコスモスまつり開催](#)

●[戦没者追悼式、総合生活相談・人権相談](#)

●[10月のお知らせ](#)

豊能町戦没者追悼式

先の大戦における戦没者並びに多数の戦争受難者に対し、追悼の誠を捧げ、新たなる平和への誓いを込めて、戦没者追悼式を行います。ご遺族の方々並びに皆様方にはご参列くださいますようご案内します。

日 時 十月二十一日（金）
午後一時三十分から
（受付は、三十分前より）

場 所 ユーベルホール

※送迎バスを用意しますのでご利用ください。

役場本庁前 午後0時三十分

滝本訓導碑前 午後0時三十五分

問い合わせ 豊能町役場子育て健康福祉課

▲ 豊能町 「ふれあい文化センターだより」
「2005年10月号」より

わが町の非核・平和のデータガイドブック(被爆60年版)

| | | | | | | | |
|--|---|---------------|---------------------------|--------------|-----|--------------|--|
| 自治体概要 | 自治体名 | 能勢町 | 役所所在地 | 豊能郡能勢町宿野28番地 | | | |
| | 人口 | 13,451 | 最寄駅 | 能勢電鉄「山下」駅 | | | |
| | 担当課 | 人権総務課 | 電話 | 072-734-0479 | FAX | 072-734-1100 | |
| 【1】非核平和都市宣言 | 宣言主体 | 宣言年月 | 宣言名 | | | | |
| | 市町村 | 昭61.6.25 | 「恒久平和を希求し核兵器を廃絶する町」に関する宣言 | | | | |
| | 議会 | | | | | | |
| 【2】被爆者援護関係 | 被爆者人数 | 7 | 被爆者援護施策 | ※未受給者 2人 | | | |
| | 認定被爆者 | 0 | | | | | |
| | 被爆者団体 | | | | | | |
| 【3】非核・平和に関する決議・意見書採択 | 採択主体 | 採択年月日 | 採択決議・意見書 | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 【4】非核・平和施策 | 非核都市宣言自治体連絡協議会 | | | 未加盟 | | | |
| | 非核平和市民啓蒙・広報施策 | 非核平和関連資料館(常設) | | 名称 | | | |
| | | | | 所在地 | | | |
| | | 非核平和視聴覚教材・図書 | | | | | |
| | | 貸出料金 | 有料 | 貸出機関 | | | |
| | | | 無料 | 貸出機関 | | | |
| | | 【視聴覚教材・図書】 | | | | | |
| 【広報施策】 HP: http://www.town.nose.osaka.jp/ *「恒久平和を希求し核兵器を廃絶する町」に関する宣言の塔設置 | | | | | | | |
| 非核平和施策 | 【取組み・行事】 | | | | | | |
| | * 第12回能勢町人権と平和のつどい 「平和のつどい」(浄るリシアター 8/28) シンポジウム「沖縄修学旅行で学んだこと」 講演会「戦後60年沖縄から平和を問う」 真栄里泰山氏 「人権のつどい」(12月) | | | | | | |
| 【5】国際友好施策 | 友好・姉妹都市 | | | | | | |
| | 友好・連帯取組み | | | | | | |
| 【6】市民団体の非核平和の取組み | | | | | | | |

※未受給者＝認定被爆者支給の医療特別手当や未認定者の健康管理手当などの支給のない被爆者、

能勢町 「恒久平和を希求し核兵器を廃絶する町」に関する宣言

1986年6月25日 能勢町

戦後ゼロから出発した我が国は、40年を経過した。今や未曾有の成長を遂げ世界の経済大国にまでなった。日本が揺るぎない平和であったことを忘れてはならない。

片や、世界の多くの国々では戦火や飢餓に絶え間なく苦しめられているにもかかわらず近年、核軍備拡大競争は果てしなく続けられ、人類の生存に深刻な脅威を与えている。我が国は世界で唯一の被爆国であり、再び「広島・長崎」を繰り返してはならない。

恒久平和を希求する日本国憲法の理念を住民生活のなかに生かし継承していくことが、地方自治の増進に不可欠であり、これなくして能勢町の目指す「明るい住みよい町」の実現は望めない。

時あたかも能勢町は町制30周年を迎える。加えて本年は国際平和年。この節目のときに当り、あらゆる国のあらゆる核兵器を廃絶するとともに核を持たず、作らず、持ち込ませぬの三原則の堅持を強く政府に求めるものである。さらに住民に対しこれが啓蒙を図りつつ核兵器の廃絶を全世界に訴え、ここに本町は「恒久平和を希求し核兵器を廃絶する町」であることを宣言する。

第12回能勢町人権と平和のつどい

平和のつどい

町の「恒久平和を希求し核兵器を廃絶する町」に関する宣言の主旨に則り、平和施策の一つ「平和のつどい」を開催します。


「平和のつどい」は、シンポジウムと講演会の2部構成で行います。皆さん、恒久平和の尊さをどうおぼえませんか。ご来場をお待ちしています。(入場無料)

と き 8月28日(日) 午後5時30分開場
と ころ 浄るりシアター小ホール

シンポジウム 午後6時20分～
沖繩修学旅行で学んだこと。そして今、大切にしていること。
中郷県への修学旅行経験のある方に、そこで学んだことと大切にしていることについて語っていただき、知について皆さんとともに考えてみたいと思います。

パネラー：3名> 沖縄戦のフィルムを見る=那覇市で
・石田 佳世子さん(西中学校出身)
・村本 裕哉さん(東中学校出身)
・平田 祐輔さん(東中学校出身)

講演会 午後8時00分～
演題「戦後60年 沖縄から平和を問う」
ま え ざ と たい ざ ん
講師 真栄里泰山さん



【プロフィール】
94年生まれ。60歳。中央大学法学部卒。那覇市企画部市史編纂室、企画部長、経済部長などを経て、2005年3月、那覇市定年退職。
在。沖縄大学客員教授、「沖縄戦記録フィルム！フィート運動の会」運営委員、沖縄現代史の会主宰、自治体学会沖縄一ラム共同代表、那覇大戦後保存会理事、事務局長。
真栄里先生の講演会は、8月29日(日)午後7時から那覇市企画部市史編纂室で開催予定です。

▲ 能勢町 「第12回能勢町人権と平和のつどい」チラシ
8月28日 浄るりシアター



▲ 能勢町 「恒久平和を希求し、核兵器を廃絶する町」宣言標柱 自然休養村前

わが町の非核・平和のデータガイドブック(被爆60年版)

| | | | | | | | |
|---|----------------|---|-------------------------------|----------------------|-----|--------------|--|
| 自治体概要 | 自治体名 | 忠岡町 | 役所所在地 | 大阪府泉北郡忠岡町忠岡東1丁目34番1号 | | | |
| | 人口 | 18,245 | 最寄駅 | 南海本線「忠岡駅」 | | | |
| | 担当課 | 人権平和室 | 電話 | 0725-22-1122 | FAX | 0725-22-0364 | |
| 【1】非核平和都市宣言 | 宣言主体 | 宣言年月 | 宣言名 | | | | |
| | 市町村 | 1985年3月11日 | 非核平和都市宣言 | | | | |
| | 議会 | 1985年3月11日 | 非核平和都市宣言 | | | | |
| 【2】被爆者援護関係 | 被爆者人数 | 14 | 被爆者 | 無 | | | |
| | 認定被爆者 | 0 | 援護施策 | | | | |
| | 被爆者団体 | 無 | | ※未受給者 1人 | | | |
| 【3】非核・平和に関する決議・意見書採択 | 採択主体 | 採択年月日 | 採択決議・意見書 | | | | |
| | 町議会 | 1995年6月28日 | 「憲法の平和原則を守り核兵器廃絶と世界平和確立を誓う決議」 | | | | |
| | 町議会 | 1995年9月11日 | 中国・フランス抗議「核実験の無条件停止と核兵器廃絶」 | | | | |
| | 町議会 | 1995年9月29日 | 中国・フランスなどの核実験の全面禁止を求める決議 | | | | |
| 【4】非核・平和施策 | 非核都市宣言自治体連絡協議会 | | | 加盟 | | | |
| | 非核平和市民啓蒙・広報施策 | 非核平和関連資料館(常設) | | 名称 | | | |
| | | | | 所在地 | | | |
| | | 非核平和視聴覚教材・図書 | | | | | |
| | | 貸出料金 | 有料 | 貸出機関 | | | |
| | | | 無料 | 貸出機関 忠岡町図書館 | | | |
| 【視聴覚教材・図書】 *「十六地蔵物語」 | | | | | | | |
| 【広報施策】 HP: http://www.town.tadaoka.osaka.jp/ * 毎年「ピース大阪」で写真や絵を借り、役場にて「パネル展」、翌月町広報掲載、また街頭啓発の様子なども掲載 | | | | | | | |
| 非核平和施策 | | 【取組み・行事】 * 平和行進メッセージ * 「ピースおおさか」見学会(8月9日) * 終戦記念日平和祈念事業(町長メッセージ) * 啓発事業(「懸垂幕の掲示」「非核平和図書コーナー」設置) | | | | | |
| 【5】国際友好施策 | 友好・姉妹都市 | オーストラリア・ピットウォーター | | | | | |
| | 友好・連帯取組み | 友好都市として毎年、泉州国際市民マラソンに2名を優待し、隔年青少年海外派遣します | | | | | |
| 【6】市民団体の非核平和の取組み | | | | | | | |

※未受給者＝認定被爆者支給の医療特別手当や未認定者の健康管理手当などの支給のない被爆者、

忠岡町 非核平和都市宣言

1985年3月11日 忠岡町

全世界の平和と安全は、全人類の共通の念願でありよりよい生活を築き、守り維持していくための基本理念である。

しかるに、依然として核軍拡競争が続けられ、平和な社会の実現に脅威を与えているのみならず、人類の生存さえも危機におとし入れようとする。我が国は、憲法で平和主義を堅持しており、世界唯一の核被爆国として、その被害の恐ろしさ、被爆者の苦しみを全世界に向けて訴え核兵器の完全廃絶に積極的な役割を果たさなければならない。

忠岡町は、平和を愛する人たちの住む町として核兵器の廃絶、製造設備及び手段の廃棄を訴えて、ここに「非核平和都市」を宣言する。



▼ 「平和のモニュメント」趣旨



わが町の非核・平和のデータガイドブック(被爆60年版)

| | | | | | | | |
|--|---|------------------------------|--------------------|---------------|-----|--------------|--|
| 自治体概要 | 自治体名 | 熊取町 | 役所所在地 | 泉南郡熊取町野田1-1-1 | | | |
| | 人口 | 44,092 | 最寄駅 | JR阪和線「熊取」駅 | | | |
| | 担当課 | 人権推進室 | 電話 | 0724-52-1001 | FAX | 0724-52-7103 | |
| 【1】非核平和都市宣言 | 宣言主体 | 宣言年月 | 宣言名 | | | | |
| | 市町村 | 昭59.12.19 | 核兵器の廃絶と軍縮を願う平和都市宣言 | | | | |
| | 議会 | | | | | | |
| 【2】被爆者援護関係 | 被爆者人数 | 23 | 被爆者 | ※未受給者 4人 | | | |
| | 認定被爆者 | 0 | 援護施策 | | | | |
| | 被爆者団体 | 泉佐野原爆被害者協議会 | | | | | |
| 【3】非核・平和に関する決議・意見書採択 | 採択主体 | 採択年月日 | 採択決議・意見書 | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 【4】非核・平和施策 | 非核都市宣言自治体連絡協議会 | | | 未加盟 | | | |
| | 非核平和市民啓蒙・広報施策 | 非核平和関連資料館(常設) | | 名称 | | | |
| | | | | 所在地 | | | |
| | | 非核平和視聴覚教材・図書 | | | | | |
| | | 貸出料金 | 有料 | 貸出機関 | | | |
| | | | 無料 | 貸出機関 | | | |
| | | 【視聴覚教材・図書】 | | | | | |
| 【広報施策】 HP: http://www.town.kumatori.lg.jp/ HP上の「教育・交流:人権」に「国際交流」項あり * 人権啓発広報紙「しあわせへの道」記事掲載 | | | | | | | |
| 非核平和施策 | 【取組み・行事】 | | | | | | |
| | * 人権平和パネル・絵画展 広島・長崎被爆写真パネルと町内小学生が描いた人権平和に関する絵画の展示 * 講演会・バスツアー・映画会を隔年で実施 | | | | | | |
| 【5】国際友好施策 | 友好・姉妹都市 | 姉妹都市 ミルドラ市(オーストラリア) | | | | | |
| | 友好・連帯取組み | 国際交流青少年受け入れ事業 国際交流青少年派遣事業 | | | | | |
| 【6】市民団体の非核平和の取組み | | | | | | | |

※未受給者＝認定被爆者支給の医療特別手当や未認定者の健康管理手当などの支給のない被爆者、

熊取町 核兵器の廃絶と軍縮を願う平和都市宣言

1984年12月19日 熊取町

原子力の研究、開発及び利用は、平和の目的に限り行われるべきものであり、いやしくも人の身体、生命の危険を招くような目的のためにおこなわれてはならないものである。

しかるに、核兵器が登場して以来今日まで、様々な核兵器廃絶の運動が展開されてきたにもかかわらず、核軍拡の傾向は止まるところがない。このことは、人類にとって深刻かつ重大な脅威であり、人類の英知を寄せ、その廃絶にあらゆる努力をすべきものである。

日本国憲法においては、恒久の平和と全人類の平和的生存権が確認されているところであるが、わが熊取町においても、この理念を町民生活の中にはぐくみ、また、将来にわたって継承していく必要がある。なぜなら人々の安全と生存が保障されてはじめて町民憲章という豊かですみよいまちづくりの実現があるからである。

よって、「非核三原則」（核兵器を作らず、持たず、持ち込ませず）が完全に実施されることを政府に強く求めるとともに、熊取町を核兵器の廃絶と軍縮を願う平和都市とすることを宣言する。



▲ 熊取町 「核兵器の廃絶と軍縮を願う平和都市宣言」パネル 町役場前



わが町の非核・平和のデータガイドブック(被爆60年版)

| | | | | | | | |
|---|--------------------------|---------------|-------------|----------------|-----|--------------|--|
| 自治体概要 | 自治体名 | 田尻町 | 役所所在地 | 泉南郡田尻町嘉祥寺375-1 | | | |
| | 人口 | 7,290 | 最寄駅 | 南海本線「吉見ノ里」駅 | | | |
| | 担当課 | 人権推進室 | 電話 | 0724-66-5019 | FAX | 0724-66-8725 | |
| 【1】非核平和都市宣言 | 宣言主体 | 宣言年月 | 宣言名 | | | | |
| | 市町村 | 1985.9.26 | 田尻町非核平和都市宣言 | | | | |
| | 議会 | | | | | | |
| 【2】被爆者援護関係 | 被爆者人数 | 4 | 被爆者援護施策 | ※未受給者 0人 | | | |
| | 認定被爆者 | 0 | | | | | |
| | 被爆者団体 | 泉佐野原爆被害者協議会 | | | | | |
| 【3】非核・平和に関する決議・意見書採択 | 採択主体 | 採択年月日 | 採択決議・意見書 | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 【4】非核・平和施策 | 非核都市宣言自治体連絡協議会 | | | 未加盟 | | | |
| | 非核平和市民啓蒙・広報施策 | 非核平和関連資料館(常設) | | 名称 | | | |
| | | | | 所在地 | | | |
| | | 非核平和視聴覚教材・図書 | | | | | |
| | | 貸出料金 | 有料 | 貸出機関 | | | |
| | | | 無料 | 貸出機関 | | | |
| | | 【視聴覚教材・図書】 | | | | | |
| 【広報施策】 HP: http://www.town.tajiri.osaka.jp/ * 町報にて非核平和の啓発 | | | | | | | |
| 非核平和施策 | 【取組み・行事】 | | | | | | |
| | * 戦争写真展 * 町立学校などで平和学習 | | | | | | |
| 【5】国際友好施策 | 友好・姉妹都市 | | | | | | |
| | 友好・連帯取組み | | | | | | |
| 【6】市民団体の非核平和の取組み | | | | | | | |

※未受給者＝認定被爆者支給の医療特別手当や未認定者の健康管理手当などの支給のない被爆者、

田尻町 「非核平和都市宣言」に関する決議

世界の恒久平和は全人類の願望である。

しかるに、近年核軍拡競争は、とどまるところを知らず人類の生存そのものが脅かされている。

世界最初の核被爆国となった我が国は、再び「ヒロシマ・ナガサキ」の惨禍を繰り返させてはならない決意と責任を世界に示さなければならない。

我が田尻町においても、日本国憲法に掲げる恒久平和の原則を町民生活の中に生かし、継承させていくことが人間尊重の精神を育み、自然と文化、そしてよりよい生活を守ることになる。

よって、本町は国是である「非核三原則」の堅持を政府に強く求め、さらに町民に対し、核兵器廃絶の啓蒙を行いつつ、核兵器の廃絶を全世界に向かって訴え、ここに本町を「非核平和都市」とすることを宣言する。

1985年9月26日 田尻町議会



▲田尻町 「非核平和宣言都市」表示板
田尻町保健所前

人権のひろば Human Rights

田尻町非核平和都市宣言 (昭和60年9月26日)

**『大好きな家族や友だちが消えてしまう戦争なんか
この世に存在してはいけないう思います』**

～8月15日は終戦の日、今年は戦後60年～

21世紀は「平和の世紀」と言われています。20世紀が「戦争の世紀」であったことへの反省と、地球上のすべての人びとのしあわせへの願いを込めて、こう呼ばれています。
今月の人権の広場は、田尻町立中学校の3年生が沖縄への修学旅行で取り組んだ平和学習の様子を中学生の感想文とともにお届けします。

事前学習

修学旅行の行程に合わせて、生徒59名が16のテーマに分かれて事前調査し、総合学習で延べ10時間をかけ、調査研究内容を模造紙にまとめた(8月に公民館にて掲示予定)。資料収集のため取り寄せた本は150冊を超え、また、全校生徒で折り鶴(1500羽を三つ)を作り、慰霊式で献納しました。

平和学習の行程 6月20日(月)

沖縄那覇空港～小坂の塔(慰霊式)～対馬丸記念館(見学)～ガマ(見学)～ひめゆりの塔(慰霊式)～ひめゆり資料館(見学)～平和公園(平和祈念式)～智恵先(語り部からの聞き取り調査)



ガマでの体験

最初は隣りていくのに精一杯だったけど、いきなり足がガクガクしてきて、ちよっと頭も痛くなってきた。ここで沢山の人がなくなったんだと改めて思いました。そうしたら無意識に涙がでてきました。



ひめゆり資料館での見学

ひめゆり学後援の本当に悲しくもない話を聞いた。一人ひとりの遺影を見たとき、みんな私たちの方に向けて「戦争はあかんよ」と言っているような感じがした。



戦争体験者の話を聞く

軍国主義の教育の怖さがわかった。戦争をしない「国民主権の国」だったら(ガマで起こった自決のような)、家族が殺し合うこともなかったし、家族がなくなってしまうようなことも無かったのにも思いました。



ひめゆりの塔での慰霊式

軍国主義の教育の怖さがわかった。戦争をしない「国民主権の国」だったら(ガマで起こった自決のような)、家族が殺し合うこともなかったし、家族がなくなってしまうようなことも無かったのにも思いました。

(平和学習を通して)
60年前、日本で唯一の地上戦をした、あの沖縄に行き、慰霊式や見学をしている当時の様子などを目で見て、耳で聞いてきて本当に戦争のおそろしさやむごさなどを改めて感じた。ガマの中に入りなどの貴重な体験をして、肌で感じて初めてわかることがいっぱいあった。そして「戦争はしてはいけない」という思いが伝わってきた。でも戦争はしたらあかんというけど具体的にどうすればいいのかわからない。私は今平和に生きていることに幸せを感じ、一生懸命頑張ることだと思ふ。(中略)そしてみんな仲良くすることだと思ふ。みんな仲良くして、小さなケンカやイジメなどをおこさないようにしたいと思ふ。この沖縄戦があったことを決して忘れず、何でも一生懸命がんばり、今生きていること、食べられること、家があることなど、あたり前のように思うことすべてに感謝したい。

▲ 「広報紙 2005年8月号」
「人権のひろば」より

わが町の非核・平和のデータガイドブック(被爆60年版)

| | | | | | | |
|----------------------|--|---------------------------|--------------------------|----------------|-----|--------------|
| 自治体概要 | 自治体名 | 岬町 | 役所所在地 | 泉南郡岬町深日2000-1 | | |
| | 人口 | 19178 | 最寄駅 | 南海本線多奈川線「深日港」駅 | | |
| | 担当課 | 秘書政策課 | 電話 | 0724-92-2001 | FAX | 0724-92-5814 |
| 【1】非核平和都市宣言 | 宣言主体 | 宣言年月 | 宣言名 | | | |
| | 市町村 | 1984.12.12 | 非核平和都市宣言 | | | |
| | 議会 | 1984.12.12 | 非核平和都市宣言に関する決議 | | | |
| 【2】被爆者援護関係 | 被爆者人数 | 9 | 被爆者援護施策 | ※未受給者 0人 | | |
| | 認定被爆者 | 0 | | | | |
| | 被爆者団体 | 岬町原爆被害者の会 | | | | |
| 【3】非核・平和に関する決議・意見書採択 | 採択主体 | 採択年月日 | 採択決議・意見書 | | | |
| | 町長 | 1995.8.31 | 中国核実験遺憾「核実験の無期限停止と核兵器廃絶」 | | | |
| | 町長 | 1995.8.31 | フランス核実験遺憾「核実験の中止と核兵器廃絶」 | | | |
| | | | | | | |
| 【4】非核・平和施策 | 非核都市宣言自治体連絡協議会 | | | 未加盟 | | |
| | 非核平和市民啓蒙・広報施策 | 非核平和関連資料館(常設) | | 名称 | | |
| | | | | 所在地 | | |
| | | 非核平和視聴覚教材・図書 | | | | |
| | | 貸出料金 | 有料 | 貸出機関 | | |
| | | | 無料 | 貸出機関 | | |
| | | 【視聴覚教材・図書】 | | | | |
| | 【広報施策】 HP: http://www.town.misaki.osaka.jp/ * 町封筒に印刷 | | | | | |
| | 非核平和施策 | 【取組み・行事】 | | | | |
| | | * 平和パネル展 * 平和行進へのメッセージ | | | | |
| 【5】国際友好施策 | 友好・姉妹都市 | | | | | |
| | 友好・連帯取組み | | | | | |
| 【6】市民団体の非核平和の取組み | | | | | | |

※未受給者＝認定被爆者支給の医療特別手当や未認定者の健康管理手当などの支給のない被爆者、

岬町 「非核平和都市宣言」に関する決議

真の恒久平和は、人類共通の念願である。
しかしながら、近年核軍備拡大競争は果てしなく続けられ、人類の生存に深刻な脅威を与えている。

わが国は、世界で唯一の被爆国であり、再び「広島、長崎」を絶対に繰り返させてはならない。

わが岬町においても、日本国憲法に掲げる恒久平和主義の理念を町民生活の中に生かし継承させていくことが、地方自治の基本条件の一つであり、これをなくしては岬町のめざすよりよき社会環境は望めない。

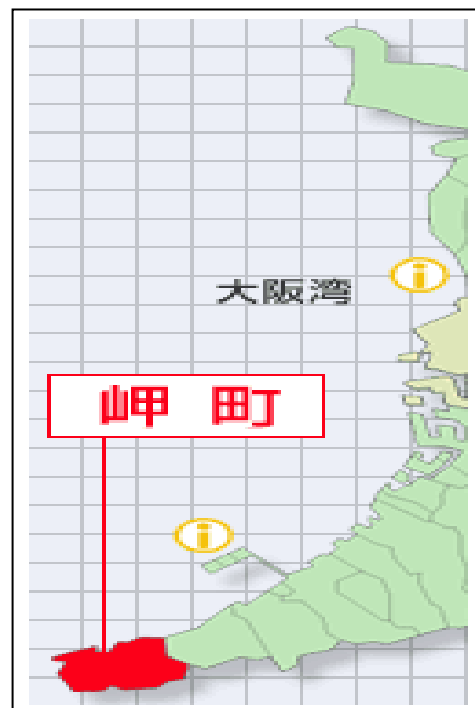
よって岬町は、あらゆる国のあらゆる核兵器を拒否するとともに、国是である非核三原則（作らず、持たず、持ち込ませず）の厳守を政府に強く求めるものである。さらに町民に対し、核兵器廃絶の啓蒙を行いつつ、核兵器の廃絶を全世界に訴え、ここに本町を「非核平和都市」とすることを宣言する。

以上決議する。

1984年12月12日 岬町議会



▲ 岬町 「恒久平和を望みます」碑
町役場前



△岬町の位置
岬町HPより掲載

わが町の非核・平和のデータガイドブック(被爆60年版)

| | | | | | | |
|--|---------------------------------------|---------------|--|---------------|-----|--------------|
| 自治体概要 | 自治体名 | 太子町 | 役所所在地 | 南河内郡太子町大字山田88 | | |
| | 人口 | 14,683 | 最寄駅 | 金剛バス「六枚橋」 | | |
| | 担当課 | 住民生活課 | 電話 | 0721-98-0300 | FAX | 0721-98-4514 |
| 【1】非核平和都市宣言 | 宣言主体 | 宣言年月 | 宣言名 | | | |
| | 市町村 | 昭60. 12. | 非核平和都市宣言 | | | |
| | 議会 | | | | | |
| 【2】被爆者援護関係 | 被爆者人数 | 6 | 被爆者 | ※未受給者 4人 | | |
| | 認定被爆者 | 0 | 援護施策 | | | |
| | 被爆者団体 | | | | | |
| 【3】非核・平和に関する決議・意見書採択 | 採択主体 | 採択年月日 | 採択決議・意見書 | | | |
| | 議会 | 平7. 9. | 中国及びフランスの核実験に対する嚴重抗議並びに一切の核実験の中止を求める決議 | | | |
| | | 平7. 9. | 中国及びフランスの核実験の全面禁止を求める意見書 | | | |
| 【4】非核・平和施策 | 非核都市宣言自治体連絡協議会 | | | 加盟 | | |
| | 非核平和市民啓蒙・広報施策 | 非核平和関連資料館(常設) | | 名称 | | |
| | | | | 所在地 | | |
| | | 非核平和視聴覚教材・図書 | | | | |
| | | 貸出料金 | 有料 | 貸出機関 | | |
| | | | 無料 | 貸出機関 | | |
| | | 【視聴覚教材・図書】 | | | | |
| 【広報施策】 HP: http://www.town.taishi.osaka.jp/ | | | | | | |
| 非核平和施策 | 【取組み・行事】 | | | | | |
| | * 長崎修学旅行時における「平和セレモニー」 * 平和行進メッセージ | | | | | |
| 【5】国際友好施策 | 友好・姉妹都市 | | | | | |
| | 友好・連帯取組み | | | | | |
| 【6】市民団体の非核平和の取組み | | | | | | |

※未受給者＝認定被爆者支給の医療特別手当や未認定者の健康管理手当などの支給のない被爆者、

太子町「非核平和都市宣言」に関する決議

世界の恒久平和は全人類の願望である。

しかるに、近年核軍拡競争は、とどまるところを知らず人類の生存そのものが脅かされている。

世界最初の核被爆国となった我が国は、再び「ヒロシマ・ナガサキ」の惨禍を繰り返させてはならない決意と責任を世界に示さなければならない。

我が太子町においても、日本国憲法に掲げる恒久平和の原則を町民生活の中に生かし、継承させていくことが人間尊重の精神をはぐくみ、自然と文化、そしてよりよい生活環境を守ることになる。

よって、本町は国是である「非核三原則」の堅持を政府に強く求め、核兵器の廃絶を全世界に訴えるものである。

以上、宣言する。

1985年12月17日 太子町議会



太子町「非核平和宣言都市」掲示板
町役場前



わが町の非核・平和のデータガイドブック(被爆60年版)

| | | | | | | |
|--|----------------|--|------------------|----------------------|-----|--------------|
| 自治体概要 | 自治体名 | 河南町 | 役所所在地 | 河南町大字白木1359-6 | | |
| | 人口 | 16890 | 最寄駅 | 近鉄「富田林」駅金剛バス「河南町役場前」 | | |
| | 担当課 | 人権男女共同社会室 | 電話 | 0721-93-2500 | FAX | 0721-93-4691 |
| 【1】非核平和都市宣言 | 宣言主体 | 宣言年月 | 宣言名 | | | |
| | 市町村 | | | | | |
| | 議会 | | | | | |
| 【2】被爆者援護関係 | 被爆者人数 | 7 | 被爆者 | ※未受給者 0人 | | |
| | 認定被爆者 | 0 | 援護施策 | | | |
| | 被爆者団体 | | | | | |
| 【3】非核・平和に関する決議・意見書採択 | 採択主体 | 採択年月日 | 採択決議・意見書 | | | |
| | 議会 | 平1. 6. 19 | 「非核平和都市宣言」に関する決議 | | | |
| | | | | | | |
| 【4】非核・平和施策 | 非核都市宣言自治体連絡協議会 | | | 未加盟 | | |
| | 非核平和市民啓蒙・広報施策 | 非核平和関連資料館(常設) | | 名称 | | |
| | | | | 所在地 | | |
| | | 非核平和視聴覚教材・図書 | | | | |
| | | 貸出料金 | 有料 | 貸出機関 | | |
| | | | 無料 | 貸出機関 町役場・河南町人権を守る会 | | |
| 【視聴覚教材・図書】 *ビデオ「ヒロシマに一番電車が走った」「火垂の墓」など | | | | | | |
| 【広報施策】 HP: http://www.town.kanan.osaka.jp/ * 広報紙「かなん」 * 人権啓発冊子「あかるいわがまち」に啓発記事掲載 | | | | | | |
| 非核平和施策 | | 【取組み・行事】 * 平和を考えるパネル展「大阪に残る戦争の傷あと」(女性センター 8/12~16) * 平和ビデオ上映会「火垂の墓」「ヒロシマに一番電車が走った」(やまなみホール 8/14) * 平和を考える町民の集い「在日コリアンから人権」(ぷくぷくドーム 8/28) * 平和バスツアー「姫路市平和資料館」見学(10/27) * 人権啓発冊子「あかるいわがまち」(平和の尊さ啓発記事 3月号) | | | | |
| 【5】国際友好施策 | 友好・姉妹都市 | | | | | |
| | 友好・連帯取組み | | | | | |
| 【6】市民団体の非核平和の取組み | | | | | | |

※未受給者＝認定被爆者支給の医療特別手当や未認定者の健康管理手当などの支給のない被爆者、

河南町 非核平和都市に関する決議

真の恒久平和は、人類共通の念願であり、一昨年には米ソ間の I N F（中距離核戦力）全廃条約が締結されました。

しかしながら、その対象は核兵器（ミサイル）の一部分にすぎず、核戦争ノ起きる危険性が残り、人類の平和と生存に深刻な脅威を与えている。

わが国は、世界で唯一の被爆国であり、二度と「ヒロシマ・ナガサキ」を繰り返させてはならない。わが河南町においても、日本国憲法に掲げる恒久平和主義の理念を町民生活の中に生かし継承させていくことが、地方自治の基本条件の一つであると考えます。

よって河南町は、国是である「非核三原則」が、完全に実施されることを願うとともに、核兵器の廃絶を訴え、ここに本町を「非核平和都市」とすることを宣言する。

以上、決議する。

1989年6月19日 河南町議会



▲河南町 「非核平和都市宣言の町」標柱
町役場前

▲ 「平和を考える町民の集い」
(8月28日 ぷくぷくドーム) チラシ

わが町の非核・平和のデータガイドブック(被爆60年版)

| | | | | | | |
|--|----------------|--|---------------------------|-----------------------|------|--------------|
| 自治体概要 | 自治体名 | 千早赤阪村 | 役所所在地 | 大阪府南河内郡千早赤阪村大字水分180番地 | | |
| | 人口 | 6,802 | 最寄駅 | 近鉄南大阪線「富田林駅」 | | |
| | 担当課 | 総務課 | 電話 | 0721-72-0081 | FAX | 0721-72-1880 |
| 【1】非核平和都市宣言 | 宣言主体 | 宣言年月 | 宣言名 | | | |
| | 市町村 | | | | | |
| | 議会 | S.60年3月 | 「非核平和都市宣言に関する決議」 | | | |
| 【2】被爆者援護関係 | 被爆者人数 | 7 | 被爆者援護施策 | ※未受給者 2人 | | |
| | 認定被爆者 | 0 | | | | |
| | 被爆者団体 | | | | | |
| 【3】非核・平和に関する決議・意見書採択 | 採択主体 | 採択年月日 | 採択決議・意見書 | | | |
| | 議会 | H.15年3月24日 | 「米・英国によるイラク攻撃の即時中止を求める決議」 | | | |
| | 議会 | H.10年6月9日 | 「パキスタンの核実験に抗議する決議」 | | | |
| | 議会 | H.10年6月9日 | 「インドの核実験に抗議する決議」 | | | |
| 【4】非核・平和施策 | 非核都市宣言自治体連絡協議会 | | | 未加盟 | | |
| | 非核平和市民啓蒙・広報施策 | 非核平和関連資料館(常設) | | 名称 | | |
| | | | | 所在地 | | |
| | | 非核平和視聴覚教材・図書 | | | | |
| | | 貸出料金 | 有料 | | 貸出機関 | |
| | | | 無料 | | 貸出機関 | |
| 【視聴覚教材・図書】 | | | | | | |
| 【広報施策】 HP: http://www.vill.chihayaakasaka.osaka.jp/ * 非核平和都市宣言懸垂幕の掲出 * 広報紙による啓蒙活動 | | | | | | |
| 非核平和施策 | | 【取組み・行事】 * 被爆60年2005年原水爆禁止国民平和大行進への接待及びメッセージ * 平和写真パネル展の実施 | | | | |
| 【5】国際友好施策 | 友好・姉妹都市 | | | | | |
| | 友好・連帯取組み | | | | | |
| 【6】市民団体の非核平和の取組み | | | | | | |

※未受給者＝認定被爆者支給の医療特別手当や未認定者の健康管理手当などの支給のない被爆者、

千早赤坂村 非核平和都市宣言に関する決議

真の恒久平和は、人類共通の念願である。

しかるに、米・ソ超核大国による核軍拡競争は拡大均衡をめざすという口実でますます激化し、世界の平和と安全に重大な脅威と危機をもたらしている。

我が国は、世界で唯一の被爆国であり、再び「広島・長崎」を絶対に繰り返させてはならない。

わが千早赤坂村においても日本国憲法に掲げる恒久平和主義の理念を村民生活の中に生かし継承させていくことが、地方自治の基本条件の一つであり、これをなくしては、千早赤坂村のめざす、よりよい社会環境は望めない。

よって、村はあらゆる国のあらゆる核兵器を拒否するとともに、国是である非核三原則（作らず・持たず・持ち込ませず）の厳守を政府に強く求めるものである。

さらに、村民に対し核兵器廃絶の啓蒙を行い、あわせて核兵器の廃絶を全世界に向かって訴え、ここに本村を「非核平和都市」とすることを宣言する。

1985年3月22日 千早赤坂村議会



▲ 千早赤坂村「非核平和都市宣言」懸垂幕掲示 村役場壁面



▲ 千早赤坂村 「広報ちはやあかさか」平成17年8月号・平和写真パネル展と非核平和都市宣言 を掲載